



本ドキュメントは Cypress (サイプレス) 製品に関する情報が記載されております。本ドキュメントには、「MB」から始まるシリーズ名、品名およびオーダ型格が記載されておりますが、これらはすべて「CY」から始まるシリーズ名、品名およびオーダ型格として、新規および既存のお客様に引き続き提供してまいります。

オーダ型格の調べ方について

1. www.cypress.com/pcn にアクセスしてください。
2. SEARCH PCNS フィールドに、オーダ型格などのキーワードを入力し、「Apply」をクリックしてください。
3. 該当するタイトル(Title)をクリックしてください。
4. 「Affected Parts List」ファイルを開いてください。
当該ファイルに記載されている各種変更情報をご利用ください。

詳しいお問い合わせ先

Cypress 製品およびそのソリューションの詳細につきましては、お近くの営業所へお問い合わせください。

サイプレスについて

サイプレスは、世界で最も革新的な車載や産業機器、スマート家電、民生機器および医療機器製品向けに、最先端の組み込みシステム ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。サイプレスのマイクロコントローラーや、アナログ IC、ワイヤレスおよび USB ベースのコネクティビティ ソリューション、高い信頼性と高性能を提供するメモリ製品は、各種機器メーカーの差異化製品の開発と早期市場参入を支援します。サイプレスは、ベストクラスのサポートと開発リソースをグローバルに提供することで、彼らが従来市場を破壊しまったく新しい製品カテゴリを歴史的なスピードで市場投入できるよう支援します。詳細はサイプレスのウェブサイト (japan.cypress.com) をご覧ください。

MB95710L/770L シリーズは、コンパクトな命令体系に加えて、豊富な周辺機能を内蔵した汎用ワンチップマイクロコントローラです。

特長

■ F²MC-8FX CPU コア

- コントローラに最適な命令体系
 - 乗除算命令
 - 16 ビット演算
 - ビットテストによるブランチ命令
 - ビット操作命令など

■ クロック

- 選択可能なメインクロックソース
 - メイン 発振クロック (最大 16.25 MHz, 最大マシクロック周波数: 8.125 MHz)
 - 外部クロック (最大 32.5 MHz, 最大マシクロック周波数: 16.25 MHz)
 - メイン CR クロック (4 MHz ±2%)
 - メイン CR PLL クロック
 - PLL 通倍率が 2 の場合, メイン CRPLL クロックの周波数は 8 MHz ±2% になります。
 - PLL 通倍率が 2.5 の場合, メイン CR PLL クロックの周波数は 10 MHz ±2% になります。
 - PLL 通倍率が 3 の場合, メイン CRPLL クロックの周波数は 12 MHz ±2% になります。
 - PLL 通倍率が 4 の場合, メイン CRPLL クロックの周波数は 16 MHz ±2% になります。
 - メイン PLL クロック (最大 16.25 MHz, 最大マシクロック周波数: 16.25 MHz)
- 選択可能なサブクロックソース
 - サブ発振 クロック (32.768 kHz)
 - 外部クロック (32.768 kHz)
 - サブ CR クロック (標準: 100 kHz, 最小: 50 kHz, 最大: 150 kHz)

■ タイマ

- 8/16 ビット複合タイマ × 2 チャンネル
- 8/16 ビット PPG × 2 チャンネル
- 16 ビットリロードタイマ × 1 チャンネル
- イベントカウンタ × 1 チャンネル
- タイムベースタイマ × 1 チャンネル
- 時計カウンタ × 1 チャンネル
- 時計プリスケラ × 1 チャンネル

■ UART/SIO × 3 チャンネル

- 全二重ダブルバッファ
- クロック非同期 (UART) のシリアルデータ転送およびクロック同期 (SIO) のシリアルデータ転送が可能

■ I²C バスインタフェース × 1 チャンネル

- ウェイクアップ機能内蔵

■ 外部割込み × 8 チャンネル

- エッジ検出による割込み (立上りエッジ, 立下りエッジおよび両エッジから選択可能)

- 各種の低消費電力 (スタンバイ) モードからの解除としても使用可能

■ 8/12 ビット A/D コンバータ × 8 チャンネル

- 8 ビットまたは 12 ビット分解能の選択可能

■ LCD コントローラ (LCDC)

- MB95F714E/F714L/F716E/F716L/F718E/F718L では, LCD 出力は 40 SEG × 4 COM と 36 SEG × 8 COM から選択可能
- MB95F774E/F774L/F776E/F776L/F778E/F778L では, LCD 出力は 32 SEG × 4 COM と 28 SEG × 8 COM から選択可能
- 内部分割抵抗 (抵抗値は, 10kΩ または 100kΩ から選択可能)
- LCD モジュールフレーム周波数に同期した割込み
- プリンキング機能
- 反転表示機能

■ 低消費電力 (スタンバイ) モード

- スタンバイモードは下記の 4 つあります。
 - ストップモード
 - スリープモード
 - 時計モード
 - タイムベースタイマモード

■ I/O ポート

- MB95F714E/F716E/F718E (ポート数: 75)
 - 汎用入出力ポート (CMOS I/O): 71 本
 - 汎用入出力ポート (N-ch オープンドレイン): 4 本
- MB95F714L/F716L/F718L (ポート数: 74)
 - 汎用入出力ポート (CMOS I/O): 71 本
 - 汎用入出力ポート (N-ch オープンドレイン): 3 本
- MB95F774E/F776E/F778E (ポート数: 59)
 - 汎用入出力ポート (CMOS I/O): 55 本
 - 汎用入出力ポート (N-ch オープンドレイン): 4 本
- MB95F774L/F776L/F778L (ポート数: 58)
 - 汎用入出力ポート (CMOS I/O): 55 本
 - 汎用入出力ポート (N-ch オープンドレイン): 3 本

■ オンチップデバッグ

- 1 線式シリアル制御
- シリアル書込みサポート (非同期モード)

■ ハードウェア / ソフトウェアウォッチドッグタイマ

- ハードウェアウォッチドッグタイマ内蔵
- ソフトウェアウォッチドッグタイマ内蔵

■ パワーオンリセット

- 電源が投入されると, パワーオンリセットが発生します。

■ 低電圧検出回路

- (MB95F714E/F716E/F718E/F774E/F776E/F778E にのみ搭載)
- 低電圧検出機能内蔵

■ コンパレータ × 1 チャンネル

- クロックスーパーバイザカウンタ
 - クロックスーパーバイザカウンタ機能内蔵
- デュアルオペレーションフラッシュメモリ
 - 書込み/消去動作・読み込み動作は、異なったバンク (上位バンク/下位バンク) で同時に行えます。
- フラッシュメモリセキュリティ機能
 - フラッシュメモリ内容を保護

Contents

特長.....	1
1. 品種構成	5
1.1 MB95710L シリーズ	5
1.2 MB95770L シリーズ	8
2. パッケージと品種対応.....	10
3. 品種間の相違点と品種選択時の注意事項	10
4. 端子配列図	11
5. 端子機能説明 (MB95710L シリーズ)	13
6. 端子機能説明 (MB95770L シリーズ)	19
7. 入出力回路形式.....	24
8. 取扱上のご注意.....	28
8.1 設計上の注意事項	28
8.2 パッケージ実装上の注意事項	29
8.3 使用環境に関する注意事項	30
9. デバイス使用上の注意	31
10. 端子接続について	31
11. ブロックダイアグラム (MB95710L シリーズ)	33
12. ブロックダイアグラム (MB95770L シリーズ)	34
13. CPUコア	35
14. メモリ空間	36
15. 特定用途の領域.....	38
16. I/Oマップ (MB95710L シリーズ)	39
17. I/Oマップ (MB95770L シリーズ)	45
18. I/Oポート (MB95710L シリーズ)	51
18.1 ポート 0	52
18.2 ポート 1	56
18.3 ポート 2	60
18.4 ポート 4	63
18.5 ポート 5	65
18.6 ポート 6	67
18.7 ポート 9	70
18.8 ポート A	72
18.9 ポート B	75
18.10 ポート C	77
18.11 ポート E	80
18.12 ポート F	83
18.13 ポート G	85
19. I/Oポート (MB95770L シリーズ)	88
19.1 ポート 0	89
19.2 ポート 1	93
19.3 ポート 2	97

19.4 ポート 6	100
19.5 ポート 9	102
19.6 ポート A	104
19.7 ポート B	107
19.8 ポート C	109
19.9 ポート E	111
19.10 ポート F	114
19.11 ポート G	116
20. 割込み要因のテーブル	119
21. 各モードにおける端子状態	120
22. 電気的特性	125
22.1 絶対最大定格	125
22.2 推奨動作条件	127
22.3 直流規格	128
22.4 交流規格	132
22.5 A/D コンバータ	148
22.6 フラッシュメモリ書込み / 消去特性	152
23. 特性例	153
24. マスクオプション	159
25. オーダ型格	160
26. パッケージ・外形寸法図	161
27. 本版での主な変更内容	165
改訂履歴	166
セールス , ソリューションおよび法律情報	167

1. 品種構成

1.1 MB95710L シリーズ

項目 \ 品種	MB95F714E	MB95F716E	MB95F718E	MB95F714L	MB95F716L	MB95F718L
分類	フラッシュメモリ品					
クロックスーパーバイザカウンタ	メインクロックとサブクロックの発振を監視					
フラッシュメモリ 容量	20 K バイト	36 K バイト	60 K バイト	20 K バイト	36 K バイト	60 K バイト
RAM 容量	512 バイト	1 K バイト	2 K バイト	512 バイト	1 K バイト	2 K バイト
パワーオンリセット	あり					
低電圧検出リセット	あり			なし		
リセット入力	ソフトウェア選択			専用のリセット入力あり		
CPU 機能	<ul style="list-style-type: none">基本命令数 : 136 命令命令ビット長 : 8 ビット命令長 : 1 ～ 3 バイトデータビット長 : 1, 8, 16 ビット長最小命令実行時間 : 61.5 ns (マシニングクロック周波数 = 16.25 MHz)割込み処理時間 : 0.6 μs (マシニングクロック周波数 = 16.25 MHz)					
汎用入出力	<ul style="list-style-type: none">I/O ポート : 75 本CMOS I/O : 71 本N-ch オープンドレイン : 4 本			<ul style="list-style-type: none">I/O ポート : 74 本CMOS I/O : 71 本N-ch オープンドレイン : 3 本		
タイムベースタイマ	インターバル時間 : 0.256 ms ～ 8.3 s (外部クロック周波数 = 4 MHz)					
ハードウェア / ソフトウェアウォッチドッグタイマ	<ul style="list-style-type: none">リセット発生周期 メイン発振クロック 10 MHz 時:105 ms (最小)サブ CR クロックをソフトウェアウォッチドッグタイマのソースクロックとして使用可能					
ワイルドレジスタ	3 バイト分のデータ置換え可能					
8/12 ビット A/D コンバータ	8 チャンネル					
	8 ビットまたは 12 ビット分解能の選択が可能					
8/16 ビット複合タイマ	2 チャンネル					
	<ul style="list-style-type: none">タイマは 8 ビットタイマ×2 チャンネルまたは 16 ビットタイマ×1 チャンネルとして構成可能インターバルタイマ機能, PWC 機能, PWM 機能およびインプットキャプチャ機能内蔵カウントクロック : 内部クロック (7 種類) および外部クロックから選択可能方形波出力可能					
外部割込み	8 チャンネル					
	<ul style="list-style-type: none">エッジ検出による割込み (立上りエッジ, 立下りエッジまたは両エッジから選択可能)スタンバイモードからの解除としても使用可能					
オンチップデバッグ	<ul style="list-style-type: none">1 線式シリアル制御シリアル書込みをサポート (非同期モード)					

項目 \ 品種	MB95F714E	MB95F716E	MB95F718E	MB95F714L	MB95F716L	MB95F718L
UART/SIO	3 チャンネル • UART/SIO でのデータ転送可能 • 全二重ダブルバッファ、可変データ長 (5/6/7/8 ビット)、ボーレートジェネレータ内蔵、エラー検出機能 • NRZ 方式転送フォーマット • LSB ファースト / MSB ファーストのデータ転送が使用可能 • クロック非同期 (UART) またはクロック同期 (SIO) のシリアルデータ転送が使用可能					
I ² C バスインタフェース	1 チャンネル • マスタ / スレーブ送受信 • バスエラー機能、アービトレーション機能、転送方向検出機能、ウェイクアップ機能、スタートコンディションの繰返し発生および検出機能					
8/16 ビット PPG	2 チャンネル • 各チャンネルにつき 8 ビットタイマ×2 チャンネルまたは、16 ビットタイマ×1 チャンネルとして使用可能 • カウンタ動作クロック：8 種類のクロックソースから選択可能					
16 ビットリロードタイマ	1 チャンネル • 2 つのクロックモードとカウンタ動作モードが使用可能 • 方形波出力可能 • カウントクロック：内部クロック 7 種類および外部クロックから選択可能 • 2 つのカウンタ動作モード：リロードモード、ワンショットモード					
イベントカウンタ	• 16 ビットリロードタイマと 8/16 ビット複合タイマ ch. 1 を設定することで、イベントカウンタ機能が実行できます。 • イベントカウンタ機能を使用する場合、16 ビットリロードタイマと 8/16 ビット複合タイマ ch. 1 は使用できません。					
LCD コントローラ (LCDC)	• COM 出力：4 または 8 (最大) から選択可能 • SEG 出力：36 または 40 (最大) から選択可能 - COM 出力数が 4 の場合、最大 SEG 出力数が 40 になり、160 画素 (4×40) まで表示可能 - COM 出力数が 8 の場合、最大 SEG 出力数が 36 になり、288 画素 (8×36) まで表示可能 • LCD 駆動電源 (バイアス) 端子：5 (最大)					
時計カウンタ	• デューティ LCD モード • LCD スタンバイモード • ブリンキング機能 • 内部分割抵抗 (抵抗値は、10 kΩ または 100 kΩ から選択可能) • LCD モジュールフレーム周波数に同期した割込み • 反転表示機能					
時計プリスケアラ	• カウンタクロック：4 種類のクロックソース (125 ms, 250 ms, 500 ms, 1 s) から選択可能 • カウンタ値は 0 から 63 まで設定可能 (クロックソースを 1 秒に、カウンタ値を 60 に設定した場合、1 分間カウント可能)					
コンパレータ	8 種類のインターバル時間から選択可能					
フラッシュメモリ	• 自動プログラミング (Embedded Algorithm) および書込み / 消去 / 消去一時停止 / 消去再開コマンドをサポート • アルゴリズム完了を示すフラグ • フラッシュメモリ内容を保護するフラッシュセキュリティ機能					
書込み / 消去回数		1000	10000	100000		
データ保持時間		20 年間	10 年間	5 年間		

項目 \ 品種	MB95F714E	MB95F716E	MB95F718E	MB95F714L	MB95F716L	MB95F718L
スタンバイモード	スタンバイモードは下記の4つあります。 ・ストップモード ・スリープモード ・時計モード ・タイムベースタイマモード					
パッケージ	LQH080					
	-	-	LQJ080	-	-	-

1.2 MB95770L シリーズ

項目	品 種	MB95F774E	MB95F776E	MB95F778E	MB95F774L	MB95F776L	MB95F778L
分類	フラッシュメモリ品						
クロックスーパーバイザカウンタ	メインクロックとサブクロックの発振を監視						
フラッシュメモリ 容量	20 K バイト	36 K バイト	60 K バイト	20 K バイト	36 K バイト	60 K バイト	
RAM 容量	512 バイト	1 K バイト	2 K バイト	512 バイト	1 K バイト	2 K バイト	
パワーオンリセット	あり						
低電圧検出リセット	あり				なし		
リセット入力	ソフトウェア選択				専用のリセット入力あり		
CPU 機能	<ul style="list-style-type: none">基本命令数 : 136 命令命令ビット長 : 8 ビット命令長 : 1 ～ 3 バイトデータビット長 : 1, 8, 16 ビット長最小命令実行時間 : 61.5 ns (マシニングクロック周波数 = 16.25 MHz)割込み処理時間 : 0.6 μs (マシニングクロック周波数 = 16.25 MHz)						
汎用入出力	<ul style="list-style-type: none">I/O ポート : 59 本CMOS I/O : 55 本N-ch オープンドレイン : 4 本				<ul style="list-style-type: none">I/O ポート : 58 本CMOS I/O : 55 本N-ch オープンドレイン : 3 本		
タイムベースタイマ	インターバル時間 : 0.256 ms ～ 8.3 s (外部クロック周波数 = 4 MHz)						
ハードウェア / ソフトウェアウォッチドッグタイマ	<ul style="list-style-type: none">リセット発生周期 メイン発振クロック 10 MHz 時: 105 ms (最小)サブ CR クロックをソフトウェアウォッチドッグタイマのソースクロックとして使用可能						
ワイルドレジスタ	3 バイト分のデータ置換え可能						
8/12 ビット A/D コンバータ	8 チャンネル						
	8 ビットまたは 12 ビット分解能の選択が可能						
8/16 ビット複合タイマ	2 チャンネル						
	<ul style="list-style-type: none">タイマは 8 ビットタイマ×2 チャンネルまたは 16 ビットタイマ×1 チャンネルとして構成可能インターバルタイマ機能, PWC 機能, PWM 機能およびインプットキャプチャ機能内蔵カウントクロック : 内部クロック (7 種類) および外部クロックから選択可能方形波出力可能						
外部割込み	8 チャンネル						
	<ul style="list-style-type: none">エッジ検出による割込み (立上りエッジ, 立下りエッジまたは両エッジから選択可能)スタンバイモードからの解除としても使用可能						
オンチップデバッグ	<ul style="list-style-type: none">1 線式シリアル制御シリアル書込みをサポート (非同期モード)						
UART/SIO	3 チャンネル						
	<ul style="list-style-type: none">UART/SIO でのデータ転送可能全二重ダブルバッファ, 可変データ長 (5/6/7/8 ビット), ボーレートジェネレータ内蔵, エラー検出機能NRZ 方式転送フォーマットLSB ファースト / MSB ファーストのデータ転送が使用可能クロック非同期 (UART) またはクロック同期 (SIO) のシリアルデータ転送が使用可能						

項目 \ 品種	MB95F774E	MB95F776E	MB95F778E	MB95F774L	MB95F776L	MB95F778L
I ² C バスインタフェース	1 チャンネル					
	・ マスタ / スレーブ送受信 ・ バスエラー機能, アービトレーション機能, 転送方向検出機能, ウェイクアップ機能, スタートコンディションの繰返し発生および検出機能					
8/16 ビット PPG	2 チャンネル					
	・ 各チャンネルにつき 8 ビットタイマ×2 チャンネルまたは, 16 ビットタイマ×1 チャンネルとして使用可能 ・ カウンタ動作クロック : 8 種類のクロックソースから選択可能					
16 ビットリロードタイマ	1 チャンネル					
	・ 2 つのクロックモードとカウンタ動作モードが使用可能 ・ 方形波出力可能 ・ カウントクロック : 内部クロック 7 種類および外部クロックから選択可能 ・ 2 つのカウンタ動作モード : リロードモード, ワンショットモード					
イベントカウンタ	・ 16 ビットリロードタイマと 8/16 ビット複合タイマ ch. 1 を設定することで, イベントカウンタ機能が実行できます。 ・ イベントカウンタ機能を使用する場合, 16 ビットリロードタイマと 8/16 ビット複合タイマ ch. 1 は使用できません。					
LCD コントローラ (LCDC)	・ COM 出力 : 4 または 8 (最大) から選択可能 ・ SEG 出力 : 28 または 32 (最大) から選択可能 - COM 出力数が 4 の場合, 最大 SEG 出力数が 32 になり, 128 画素 (4×32) まで表示可能 - COM 出力数が 8 の場合, 最大 SEG 出力数が 28 になり, 224 画素 (8×28) まで表示可能 ・ LCD 駆動電源 (バイアス) 端子 : 4 (最大)					
	・ デューティ LCD モード ・ LCD スタンバイモード ・ プリンキング機能 ・ 内部分割抵抗 (抵抗値は, 10 kΩ または 100 kΩ から選択可能) ・ LCD モジュールフレーム周波数に同期した割込み ・ 反転表示機能					
時計カウンタ	・ カウンタクロック : 4 種類のクロックソース (125 ms, 250 ms, 500 ms, 1 s) から選択可能 ・ カウンタ値は 0 から 63 まで設定可能 (クロックソースを 1 秒に, カウンタ値を 60 に設定した場合, 1 分間カウント可能)					
時計 プリスケーラ	8 種類のインターバル時間から選択可能					
コンパレータ	1 チャンネル					
フラッシュ メモリ	・ 自動プログラミング (Embedded Algorithm) および書込み / 消去 / 消去一時停止 / 消去再開コマンドをサポート ・ アルゴリズム完了を示すフラグ ・ フラッシュメモリ内容を保護するフラッシュセキュリティ機能					
	書込み / 消去回数		1000	10000	100000	
	データ保持時間		20 年間	10 年間	5 年間	
スタンバイ モード	スタンバイモードは下記の 4 つあります。 ・ ストップモード ・ スリープモード ・ 時計モード ・ タイムベースタイマモード					
パッケージ	LQD064 LQG064					

2. パッケージと品種対応

パッケージ \ 品種	MB95F714E	MB95F716E	MB95F718E	MB95F714L	MB95F716L	MB95F718L
LQH080	○	○	○	○	○	○
LQJ080	-	-	○	-	-	-

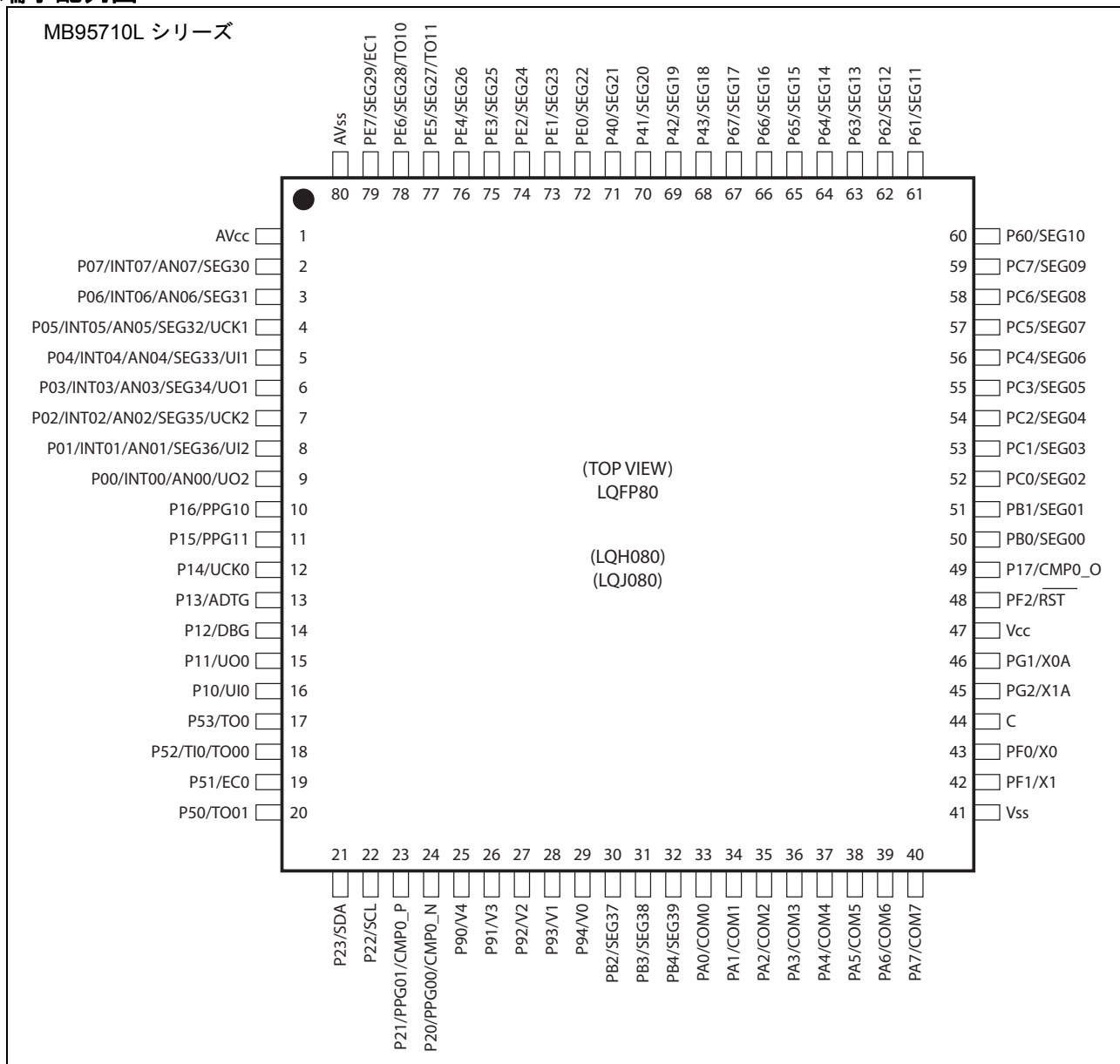
パッケージ \ 品種	MB95F774E	MB95F776E	MB95F778E	MB95F774L	MB95F776L	MB95F778L
LQD064	○	○	○	○	○	○
LQG064	○	○	○	○	○	○

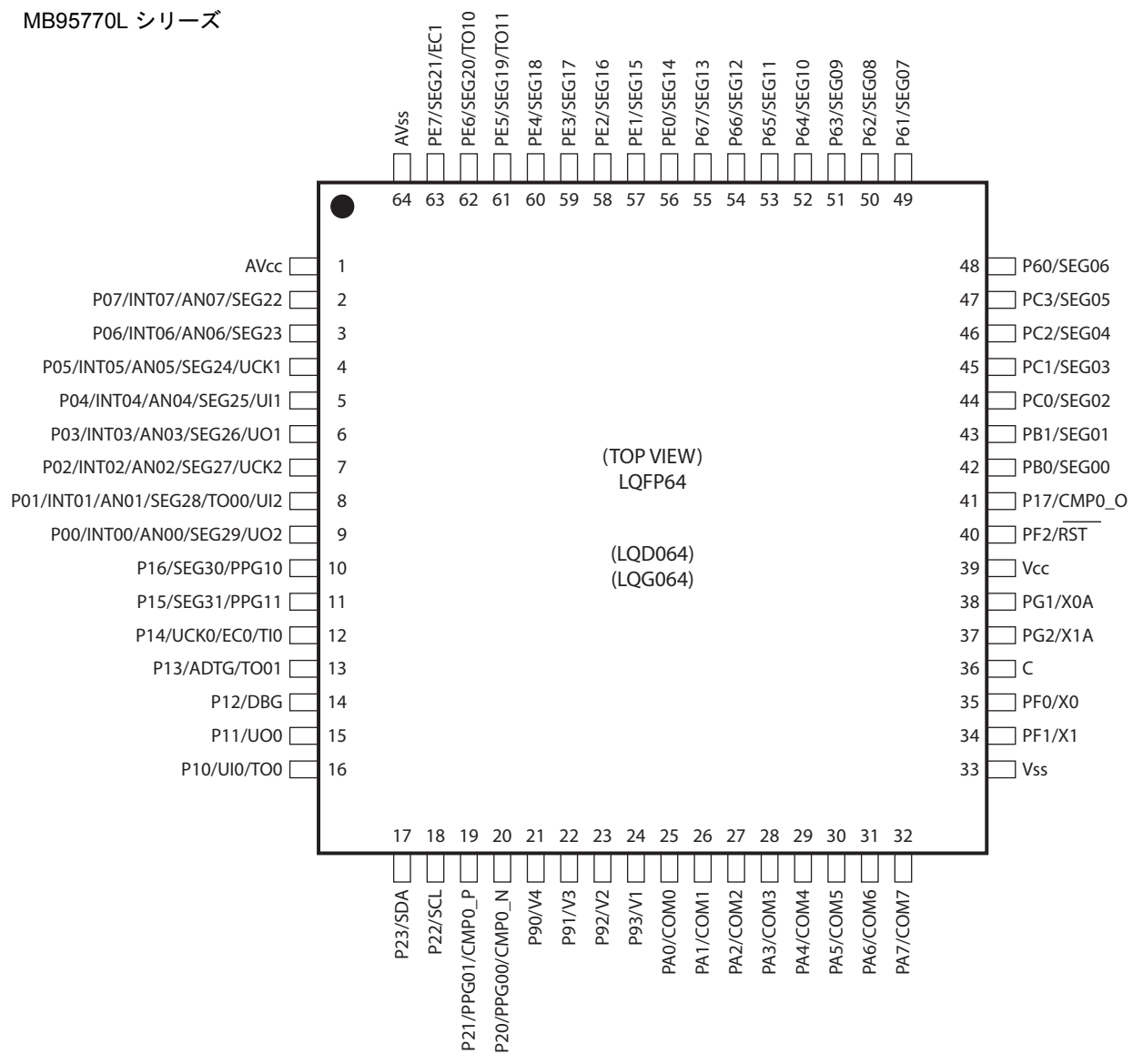
○ : 使用可能

3. 品種間の相違点と品種選択時の注意事項

- 消費電流
オンチップデバッグ機能を使用する場合は、フラッシュメモリのプログラム / 消去の消費電流を考慮してください。
消費電流の詳細は、「22. 電気的特性」を参照してください。
- パッケージ
各パッケージの詳細は、「2. パッケージと品種対応」および「26. パッケージ・外形寸法図」を参照してください。
- 動作電圧
動作電圧は、オンチップデバッグ機能を使用するか使用しないかによって異なります。
動作電圧の詳細は、「22. 電気的特性」を参照してください。
- オンチップデバッグ機能
オンチップデバッグ機能を使用する場合は、 V_{CC} , V_{SS} および 1 本のシリアルケーブルを評価ツールに接続してください。接続方法については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」の「第 26 章 シリアル書き込み接続例」を参照してください。

4. 端子配列図



MB95770L シリーズ


5. 端子機能説明 (MB95710L シリーズ)

端子番号	端子名	入出力 回路形式 *1	機能	入出力形式			
				入力	出力	OD*2	PU*3
1	AV _{CC}	—	8/12 ビット A/D コンバータとコンパレータ電源端子	—	—	—	—
2	P07	S	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT07		外部割込み入力端子				
	AN07		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG30		LCDC SEG30 出力端子				
3	P06	S	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT06		外部割込み入力端子				
	AN06		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG31		LCDC SEG31 出力端子				
4	P05	S	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT05		外部割込み入力端子				
	AN05		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG32		LCDC SEG32 出力端子				
	UCK1		UART/SIO ch. 1 クロック入出力端子				
5	P04	V	汎用入出力ポート	CMOS/ アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT04		外部割込み入力端子				
	AN04		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG33		LCDC SEG33 出力端子				
	UI1		UART/SIO ch. 1 データ入力端子				
6	P03	S	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT03		外部割込み入力端子				
	AN03		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG34		LCDC SEG34 出力端子				
	UO1		UART/SIO ch. 1 データ出力端子				
7	P02	S	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT02		外部割込み入力端子				
	AN02		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG35		LCDC SEG35 出力端子				
	UCK2		UART/SIO ch. 2 クロック入出力端子				
8	P01	V	汎用入出力ポート	CMOS/ アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT01		外部割込み入力端子				
	AN01		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG36		LCDC SEG36 出力端子				
	UI2		UART/SIO ch. 2 データ入力端子				

端子番号	端子名	入出力 回路形式 *1	機能	入出力形式			
				入力	出力	OD*2	PU*3
9	P00	W	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT00		外部割込み入力端子				
	AN00		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	UO2		UART/SIO ch. 2 データ出力端子				
10	P16	Y	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	—
	PPG10		8/16 ビット PPG ch. 1 出力端子				
11	P15	Y	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	—
	PPG11		8/16 ビット PPG ch. 1 出力端子				
12	P14	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	UCK0		UART/SIO ch. 0 クロック入出力端子				
13	P13	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	ADTG		8/12 ビット A/D コンバータトリガ入力端子				
14	P12	D	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	○	—
	DBG		DBG 入力端子				
15	P11	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	UO0		UART/SIO ch. 0 データ出力端子				
16	P10	G	汎用入出力ポート	CMOS	CMOS	—	○
	UI0		UART/SIO ch. 0 データ入力端子				
17	P53	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	TO0		16 ビットリロードタイマ ch. 0 出力端子				
18	P52	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	TI0		16 ビットリロードタイマ ch. 0 入力端子				
	TO00		8/16 ビット複合タイマ ch. 0 出力端子				
19	P51	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	EC0		8/16 ビット複合タイマ ch. 0 クロック入力端子				
20	P50	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	TO01		8/16 ビット複合タイマ ch. 0 出力端子				
21	P23	I	汎用入出力ポート	CMOS	CMOS	○	—
	SDA		I ² C バスインタフェース ch. 0 データ入出力端子				
22	P22	I	汎用入出力ポート	CMOS	CMOS	○	—
	SCL		I ² C バスインタフェース ch. 0 クロック入出力端子				
23	P21	T	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS	—	○
	PPG01		8/16 ビット PPG ch. 0 出力端子				
	CMP0_P		コンパレータ ch. 0 非反転アナログ入力 (正入力) 端子				

端子番号	端子名	入出力 回路形式 *1	機能	入出力形式			
				入力	出力	OD*2	PU*3
24	P20	T	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS	—	○
	PPG00		8/16 ビット PPG ch. 0 出力端子				
	CMP0_N		コンパレータ ch. 0 反転アナログ入力 (負入力) 端子				
25	P90	R	汎用入出力ポート	ヒステリシス /LCD 電源	CMOS/ LCD 電源	—	—
	V4		LCD 駆動電源端子				
26	P91	R	汎用入出力ポート	ヒステリシス /LCD 電源	CMOS/ LCD 電源	—	—
	V3		LCD 駆動電源端子				
27	P92	R	汎用入出力ポート	ヒステリシス /LCD 電源	CMOS/ LCD 電源	—	—
	V2		LCD 駆動電源端子				
28	P93	R	汎用入出力ポート	ヒステリシス /LCD 電源	CMOS/ LCD 電源	—	—
	V1		LCD 駆動電源端子				
29	P94	R	汎用入出力ポート	ヒステリシス /LCD 電源	CMOS/ LCD 電源	—	—
	V0		LCD 駆動電源端子				
30	PB2	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG37		LCDC SEG37 出力端子				
31	PB3	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG38		LCDC SEG38 出力端子				
32	PB4	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG39		LCDC SEG39 出力端子				
33	PA0	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM0		LCDC COM0 出力端子				
34	PA1	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM1		LCDC COM1 出力端子				
35	PA2	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM2		LCDC COM2 出力端子				
36	PA3	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM3		LCDC COM3 出力端子				
37	PA4	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM4		LCDC COM4 出力端子				
38	PA5	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM5		LCDC COM5 出力端子				
39	PA6	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM6		LCDC COM6 出力端子				
40	PA7	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM7		LCDC COM7 出力端子				
41	V _{SS}	—	電源端子 (GND)	—	—	—	—

端子番号	端子名	入出力 回路形式 *1	機能	入出力形式			
				入力	出力	OD*2	PU*3
42	PF1	B	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	—
	X1		メインクロック用入出力発振端子				
43	PF0	B	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	—
	X0		メインクロック用入力発振端子				
44	C	—	バイパスコンデンサ接続端子	—	—	—	—
45	PG2	C	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	X1A		サブクロック用入出力発振端子				
46	PG1	C	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	X0A		サブクロック用入力発振端子				
47	V _{CC}	—	電源端子	—	—	—	—
48	PF2	A	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	○	—
	RST		リセット端子 MB95F714L/F716L/F718L ではリセット専用端子となります。				
49	P17	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	CMP0_O		コンパレータ ch. 0 デジタル出力端子				
50	PB0	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG00		LCDC SEG00 出力端子				
51	PB1	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG01		LCDC SEG01 出力端子				
52	PC0	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG02		LCDC SEG02 出力端子				
53	PC1	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG03		LCDC SEG03 出力端子				
54	PC2	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG04		LCDC SEG04 出力端子				
55	PC3	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG05		LCDC SEG05 出力端子				
56	PC4	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG06		LCDC SEG06 出力端子				
57	PC5	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG07		LCDC SEG07 出力端子				
58	PC6	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG08		LCDC SEG08 出力端子				
59	PC7	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG09		LCDC SEG09 出力端子				
60	P60	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG10		LCDC SEG10 出力端子				
61	P61	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG11		LCDC SEG11 出力端子				

端子番号	端子名	入出力 回路形式 *1	機能	入出力形式			
				入力	出力	OD*2	PU*3
62	P62	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG12		LCDC SEG12 出力端子				
63	P63	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG13		LCDC SEG13 出力端子				
64	P64	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG14		LCDC SEG14 出力端子				
65	P65	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG15		LCDC SEG15 出力端子				
66	P66	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG16		LCDC SEG16 出力端子				
67	P67	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG17		LCDC SEG17 出力端子				
68	P43	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG18		LCDC SEG18 出力端子				
69	P42	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG19		LCDC SEG19 出力端子				
70	P41	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG20		LCDC SEG20 出力端子				
71	P40	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG21		LCDC SEG21 出力端子				
72	PE0	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG22		LCDC SEG22 出力端子				
73	PE1	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG23		LCDC SEG23 出力端子				
74	PE2	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG24		LCDC SEG24 出力端子				
75	PE3	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG25		LCDC SEG25 出力端子				
76	PE4	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG26		LCDC SEG26 出力端子				
77	PE5	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG27		LCDC SEG27 出力端子				
	TO11		8/16 ビット複合タイマ ch. 1 出力端子				
78	PE6	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG28		LCDC SEG28 出力端子				
	TO10		8/16 ビット複合タイマ ch. 1 出力端子				
79	PE7	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG29		LCDC SEG27 出力端子				
	EC1		8/16 ビット複合タイマ ch. 1 クロック入力端子				

端子番号	端子名	入出力 回路形式 *1	機能	入出力形式			
				入力	出力	OD*2	PU*3
80	AV _{SS}	—	8/12 ビット A/D コンバータとコンパレータ電 源端子 (GND)	—	—	—	—

○ : 使用可能

*1: 入出力回路形式については「7. 入出力回路形式」を参照してください。

*2: N-ch オープンドレイン

*3: プルアップ

6. 端子機能説明 (MB95770L シリーズ)

端子番号	端子名	入出力 回路形式 *1	機能	入出力形式			
				入力	出力	OD*2	PU*3
1	AV _{CC}	—	8/12 ビット A/D コンバータとコンパレータ電源端子	—	—	—	—
2	P07	S	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT07		外部割込み入力端子				
	AN07		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG22		LCDC SEG22 出力端子				
3	P06	S	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT06		外部割込み入力端子				
	AN06		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG23		LCDC SEG23 出力端子				
4	P05	S	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT05		外部割込み入力端子				
	AN05		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG24		LCDC SEG24 出力端子				
	UCK1		UART/SIO ch. 1 クロック入出力端子				
5	P04	V	汎用入出力ポート	CMOS/ アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT04		外部割込み入力端子				
	AN04		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG25		LCDC SEG25 出力端子				
	UI1		UART/SIO ch. 1 データ入力端子				
6	P03	S	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT03		外部割込み入力端子				
	AN03		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG26		LCDC SEG26 出力端子				
	UO1		UART/SIO ch. 1 データ出力端子				
7	P02	S	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT02		外部割込み入力端子				
	AN02		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG27		LCDC SEG27 出力端子				
	UCK2		UART/SIO ch. 2 クロック入出力端子				
8	P01	V	汎用入出力ポート	CMOS/ アナログ	CMOS/ LCD	—	—
	INT01		外部割込み入力端子				
	AN01		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG28		LCDC SEG28 出力端子				
	TO00		8/16 ビット複合タイマ ch. 0 出力端子				
	UI2		UART/SIO ch. 2 データ入力端子				

端子番号	端子名	入出力回路形式 *1	機能	入出力形式			
				入力	出力	OD*2	PU*3
9	P00	S	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS / LCD	—	—
	INT00		外部割込み入力端子				
	AN00		8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子				
	SEG29		LCDC SEG29 出力端子				
	UO2		UART/SIO ch. 2 データ出力端子				
10	P16	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS / LCD	—	—
	SEG30		LCDC SEG30 出力端子				
	PPG10		8/16 ビット PPG ch. 1 出力端子				
11	P15	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS / LCD	—	—
	SEG31		LCDC SEG31 出力端子				
	PPG11		8/16 ビット PPG ch. 1 出力端子				
12	P14	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	UCK0		UART/SIO ch. 0 クロック入出力端子				
	EC0		8/16 ビット複合タイマ ch. 0 クロック入力端子				
	TI0		16 ビットリロードタイマ ch. 0 入力端子				
13	P13	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	ADTG		8/12 ビット A/D コンバータトリガ入力端子				
	TO01		8/16 ビット複合タイマ ch. 0 出力端子				
14	P12	D	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	○	—
	DBG		DBG 入力端子				
15	P11	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	UO0		UART/SIO ch. 0 データ出力端子				
16	P10	G	汎用入出力ポート	CMOS	CMOS	—	○
	UI0		UART/SIO ch. 0 データ入力端子				
	TO0		16 ビットリロードタイマ ch. 0 出力端子				
17	P23	I	汎用入出力ポート	CMOS	CMOS	○	—
	SDA		I ² C バスインタフェース ch. 0 データ入出力端子				
18	P22	I	汎用入出力ポート	CMOS	CMOS	○	—
	SCL		I ² C バスインタフェース ch. 0 クロック入出力端子				
19	P21	T	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS	—	○
	PPG01		8/16 ビット PPG ch. 0 出力端子				
	CMP0_P		コンパレータ ch. 0 非反転アナログ入力 (正入力) 端子				
20	P20	T	汎用入出力ポート	ヒステリシス / アナログ	CMOS	—	○
	PPG00		8/16 ビット PPG ch. 0 出力端子				
	CMP0_N		コンパレータ ch. 0 反転アナログ入力 (負入力) 端子				

端子番号	端子名	入出力 回路形式 *1	機能	入出力形式			
				入力	出力	OD*2	PU*3
21	P90	R	汎用入出力ポート	ヒステリシス /LCD 電源	CMOS/ LCD 電源	—	—
	V4		LCD 駆動電源端子				
22	P91	R	汎用入出力ポート	ヒステリシス /LCD 電源	CMOS/ LCD 電源	—	—
	V3		LCD 駆動電源端子				
23	P92	R	汎用入出力ポート	ヒステリシス /LCD 電源	CMOS/ LCD 電源	—	—
	V2		LCD 駆動電源端子				
24	P93	R	汎用入出力ポート	ヒステリシス /LCD 電源	CMOS/ LCD 電源	—	—
	V1		LCD 駆動電源端子				
25	PA0	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM0		LCDC COM0 出力端子				
26	PA1	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM1		LCDC COM1 出力端子				
27	PA2	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM2		LCDC COM2 出力端子				
28	PA3	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM3		LCDC COM3 出力端子				
29	PA4	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM4		LCDC COM4 出力端子				
30	PA5	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM5		LCDC COM5 出力端子				
31	PA6	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM6		LCDC COM6 出力端子				
32	PA7	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	COM7		LCDC COM7 出力端子				
33	V _{SS}	—	電源端子 (GND)	—	—	—	—
34	PF1	B	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	—
	X1		メインクロック用入出力発振端子				
35	PF0	B	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	—
	X0		メインクロック用入力発振端子				
36	C	—	バイパスコンデンサ接続端子	—	—	—	—
37	PG2	C	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	X1A		サブクロック用入出力発振端子				
38	PG1	C	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	X0A		サブクロック用入力発振端子				
39	V _{CC}	—	電源端子	—	—	—	—

端子番号	端子名	入出力 回路形式 *1	機能	入出力形式			
				入力	出力	OD*2	PU*3
40	PF2	A	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	○	—
	RST		リセット端子 MB95F774L/F776L/F778L ではリセット専用端子となります。				
41	P17	H	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS	—	○
	CMP0_O		コンパレータ ch. 0 デジタル出力端子				
42	PB0	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG00		LCDC SEG00 出力端子				
43	PB1	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG01		LCDC SEG01 出力端子				
44	PC0	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG02		LCDC SEG02 出力端子				
45	PC1	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG03		LCDC SEG03 出力端子				
46	PC2	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG04		LCDC SEG04 出力端子				
47	PC3	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG05		LCDC SEG05 出力端子				
48	P60	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG06		LCDC SEG06 出力端子				
49	P61	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG07		LCDC SEG07 出力端子				
50	P62	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG08		LCDC SEG08 出力端子				
51	P63	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG09		LCDC SEG09 出力端子				
52	P64	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG10		LCDC SEG10 出力端子				
53	P65	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG11		LCDC SEG11 出力端子				
54	P66	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG12		LCDC SEG12 出力端子				
55	P67	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG13		LCDC SEG13 出力端子				
56	PE0	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG14		LCDC SEG14 出力端子				
57	PE1	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG15		LCDC SEG15 出力端子				
58	PE2	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG16		LCDC SEG16 出力端子				

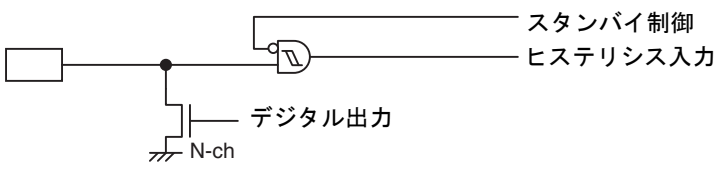
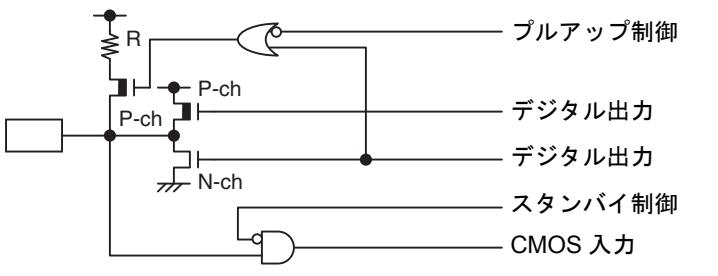
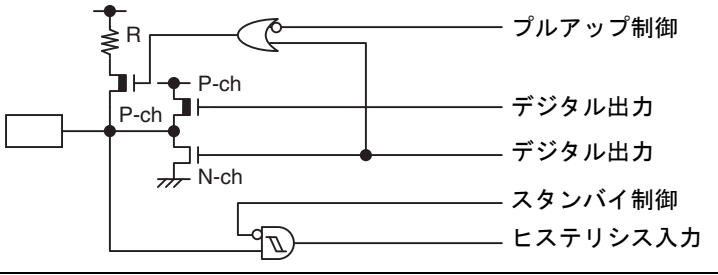
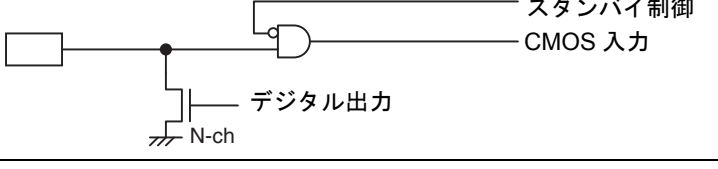
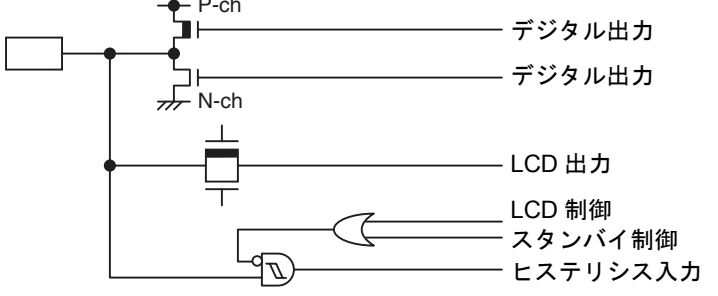
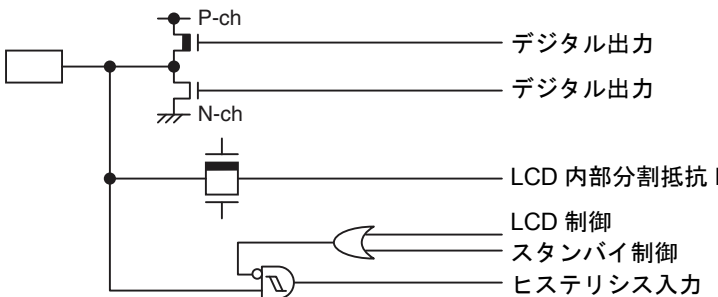
端子番号	端子名	入出力回路形式 *1	機能	入出力形式			
				入力	出力	OD*2	PU*3
59	PE3	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG17		LCDC SEG17 出力端子				
60	PE4	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG18		LCDC SEG18 出力端子				
61	PE5	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG19		LCDC SEG19 出力端子				
	TO11		8/16 ビット複合タイマ ch. 1 出力端子				
62	PE6	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG20		LCDC SEG20 出力端子				
	TO10		8/16 ビット複合タイマ ch. 1 出力端子				
63	PE7	M	汎用入出力ポート	ヒステリシス	CMOS/ LCD	—	—
	SEG21		LCDC SEG21 出力端子				
	EC1		8/16 ビット複合タイマ ch. 1 クロック入力端子				
64	AV _{SS}	—	8/12 ビット A/D コンバータとコンパレータ電源端子 (GND)	—	—	—	—

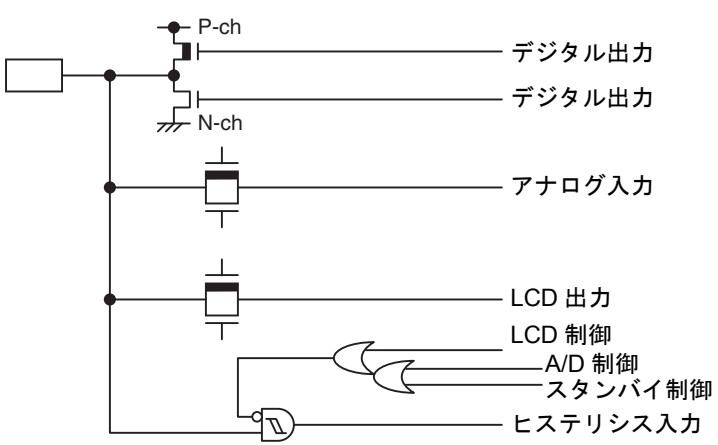
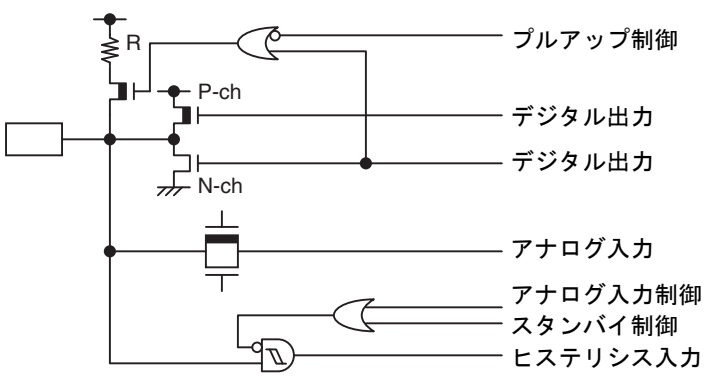
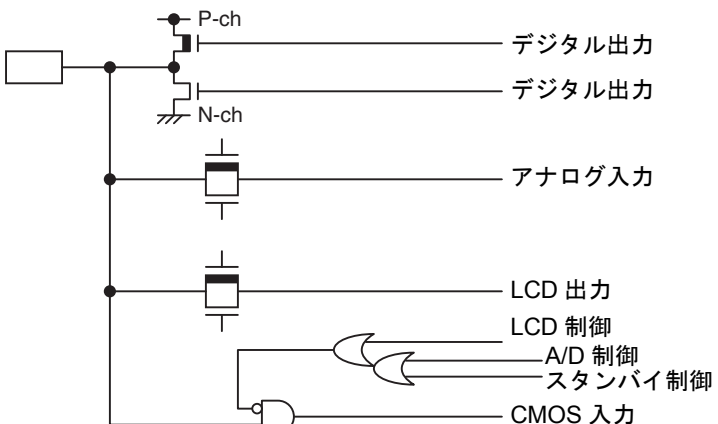
○ : 使用可能

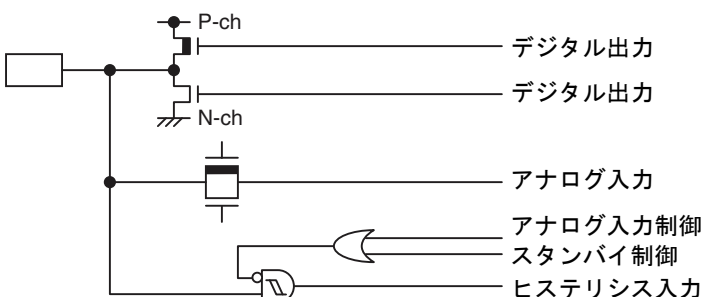

*1: 入出力回路形式については「7. 入出力回路形式」を参照してください。

*2: N-ch オープンドレイン

*3: プルアップ

分類	回路	備考
D	 <p>スタンバイ制御 ヒステリシス入力 デジタル出力 N-ch</p>	<ul style="list-style-type: none"> • N-ch オープンドレイン出力 • ヒステリシス入力
G	 <p>プルアップ制御 デジタル出力 デジタル出力 スタンバイ制御 CMOS 入力 P-ch N-ch</p>	<ul style="list-style-type: none"> • CMOS 出力 • CMOS 入力 • プルアップ制御あり
H	 <p>プルアップ制御 デジタル出力 デジタル出力 スタンバイ制御 ヒステリシス入力 P-ch N-ch</p>	<ul style="list-style-type: none"> • CMOS 出力 • ヒステリシス入力 • プルアップ制御あり
I	 <p>スタンバイ制御 CMOS 入力 デジタル出力 N-ch</p>	<ul style="list-style-type: none"> • N-ch オープンドレイン出力 • CMOS 入力
M	 <p>デジタル出力 デジタル出力 LCD 出力 LCD 制御 スタンバイ制御 ヒステリシス入力 P-ch N-ch</p>	<ul style="list-style-type: none"> • CMOS 出力 • LCD 出力 • ヒステリシス入力
R	 <p>デジタル出力 デジタル出力 LCD 内部分割抵抗 I/O LCD 制御 スタンバイ制御 ヒステリシス入力 P-ch N-ch</p>	<ul style="list-style-type: none"> • CMOS 出力 • LCD 電源 • ヒステリシス入力

分類	回路	備考
S	 <p>デジタル出力</p> <p>デジタル出力</p> <p>アナログ入力</p> <p>LCD 出力</p> <p>LCD 制御</p> <p>A/D 制御</p> <p>スタンバイ制御</p> <p>ヒステリシス入力</p>	<ul style="list-style-type: none"> CMOS 出力 LCD 出力 ヒステリシス入力 アナログ入力
T	 <p>プルアップ制御</p> <p>デジタル出力</p> <p>デジタル出力</p> <p>アナログ入力</p> <p>アナログ入力制御</p> <p>スタンバイ制御</p> <p>ヒステリシス入力</p>	<ul style="list-style-type: none"> CMOS 出力 ヒステリシス入力 アナログ入力 プルアップ制御あり
V	 <p>デジタル出力</p> <p>デジタル出力</p> <p>アナログ入力</p> <p>LCD 出力</p> <p>LCD 制御</p> <p>A/D 制御</p> <p>スタンバイ制御</p> <p>CMOS 入力</p>	<ul style="list-style-type: none"> CMOS 出力 CMOS 入力 LCD 出力 アナログ入力

分類	回路	備考
W	 <p>デジタル出力</p> <p>デジタル出力</p> <p>アナログ入力</p> <p>アナログ入力制御</p> <p>スタンバイ制御</p> <p>ヒステリシス入力</p>	<ul style="list-style-type: none"> CMOS 出力 ヒステリシス入力 アナログ入力
Y	 <p>デジタル出力</p> <p>デジタル出力</p> <p>スタンバイ制御</p> <p>ヒステリシス入力</p>	<ul style="list-style-type: none"> CMOS 出力 ヒステリシス入力

8. 取扱上のご注意

半導体デバイスは、ある確率で故障します。また、半導体デバイスの故障は、使用される条件（回路条件、環境条件など）によっても大きく左右されます。

以下に、半導体デバイスをより信頼性の高い状態で使用していただくために、注意・配慮しなければならない事項について説明します。

8.1 設計上の注意事項

ここでは、半導体デバイスを使用して電子機器の設計を行う際に注意すべき事項について述べます。

• 絶対最大定格の遵守

半導体デバイスは、過剰なストレス（電圧、電流、温度など）が加わると破壊する可能性があります。この限界値を定めたものが絶対最大定格です。従って、定格を一項目でも超えることのないようご注意ください。

• 推奨動作条件の遵守

推奨動作条件は、半導体デバイスの正常な動作を保証する条件です。電気的特性の規格値は、全てこの条件の範囲内で保証されます。常に推奨動作条件下で使用してください。この条件を越えて使用すると、信頼性に悪影響を及ぼすことがあります。

本資料に記載されていない項目、使用条件、論理組み合わせでの使用は、保証していません。記載されている以外の条件での使用をお考えの場合は、必ず事前に営業部門までご相談ください。

• 端子の処理と保護

半導体デバイスには、電源および各種入出力端子があります。これらに対して以下の注意が必要です。

(1) 過電圧・過電流の防止

各端子に最大定格を超える電圧・電流が印加されると、デバイスの内部に劣化が生じ、著しい場合には破壊に至ります。機器の設計の際には、このような過電圧・過電流の発生を防止してください。

(2) 出力端子の保護

出力端子を電源端子または他の出力端子とショートしたり、大きな容量負荷を接続すると大電流が流れる場合があります。この状態が長時間続くとデバイスが劣化しますので、このような接続はしないようにしてください。

(3) 未使用入力端子の処理

インピーダンスの非常に高い入力端子は、オープン状態で使用すると動作が不安定になる場合があります。適切な抵抗を介して電源端子やグランド端子に接続してください。

• ラッチアップ

半導体デバイスは、基板上にP型とN型の領域を形成することにより構成されます。外部から異常な電圧が加えられた場合、内部の寄生PNPN接合（サイリスタ構造）が導通して、数百mAを超える大電流が電源端子に流れ続けることがあります。これをラッチアップと呼びます。この現象が起きるとデバイスの信頼性を損ねるだけでなく、破壊に至り発熱・発煙・発火の恐れもあります。これを防止するために、以下の点にご注意ください。

(1) 最大定格以上の電圧が端子に加わることが無いようにしてください。異常なノイズ、サージ等にも注意してください。

(2) 電源投入シーケンスを考慮し、異常な電流が流れないようにしてください。

• 安全等の規制と規格の遵守

世界各国では、安全や、電磁妨害等の各種規制と規格が設けられています。お客様が機器を設計するに際しては、これらの規制と規格に適合するようお願いいたします。

・ フェイル・セーフ設計

半導体デバイスは、ある確率で故障が発生します。半導体デバイスが故障しても、結果的に人身事故、火災事故、社会的な損害を生じさせないよう、お客様は、装置の冗長設計、延焼対策設計、過電流防止設計、誤動作防止設計などの安全設計をお願いします。

・ 用途に関する注意

本資料に記載された製品は、通常の産業用、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途に使用されることを意図して設計・製造されています。極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、社会的に重大な影響を与えかつ直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御をいう）、ならびに極めて高い信頼性が要求される用途（海底中継器、宇宙衛星をいう）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。当社は、これらの用途に当該製品が使用されたことにより発生した損害などについては、責任を負いかねますのでご了承ください。

8.2 パッケージ実装上の注意事項

パッケージには、リード挿入形と表面実装形があります。いずれの場合も、はんだ付け時の耐熱性に関する品質保証は、当社の推奨する条件での実装に対してのみ適用されます。実装条件の詳細については営業部門までお問い合わせください。

・ リード挿入形

リード挿入形パッケージのプリント板への実装方法は、プリント板へ直接はんだ付けする方法とソケットを使用してプリント板に実装する方法とがあります。

プリント板へ直接はんだ付けする場合は、プリント板のスルーホールにリード挿入後、噴流はんだによるフローはんだ方法（ウェーブソルダーリング法）が一般的に使用されます。この場合、はんだ付け実装時には、通常最大定格の保存温度を上回る熱ストレスがリード部分に加わります。当社の実装推奨条件で実装してください。

ソケット実装方法でご使用になる場合、ソケットの接点の表面処理と IC のリードの表面処理が異なるとき、長時間経過後、接触不良を起こすことがあります。このため、ソケットの接点の表面処理と IC のリードの表面処理の状態を確認してから実装することをお勧めします。

・ 表面実装形

表面実装形パッケージは、リード挿入形と比較して、リードが細く薄いため、リードが変形し易い性質をもっています。また、パッケージの多ピン化に伴い、リードピッチも狭く、リード変形によるオープン不良や、はんだブリッジによるショート不良が発生しやすいため、適切な実装技術が必要となります。

当社ははんだリフロー方法を推奨し、製品ごとに実装条件のランク分類を実施しています。当社推奨のランク分類に従って実装してください。

・ 鉛フリーパッケージ

BGA パッケージの Sn-Ag-Cu 系ボール品を Sn-Pb 共晶はんだにて実装した場合、使用状況により接合強度が低下することがありますのでご注意ください。

・ 半導体デバイスの保管について

プラスチックパッケージは樹脂でできているため、自然の環境に放置することにより吸湿します。吸湿したパッケージに実装時の熱が加わった場合、界面剥離発生による耐湿性の低下やパッケージクラックが発生することがあります。以下の点にご注意ください。

- (1) 急激な温度変化のある所では製品に水分の結露が起こります。このような環境を避けて、温度変化の少ない場所に保管してください。
- (2) 製品の保管場所はドライボックスの使用を推奨します。相対湿度70 %RH 以下、温度5℃～30℃で保管をお願いします。
ドライパッケージを開封した場合には湿度40%～70%RHを推奨いたします。
- (3) 当社では必要に応じて半導体デバイスの梱包材として防湿性の高いアルミラミネート袋を用い、乾燥剤としてシリカゲルを使用しております。半導体デバイスはアルミラミネート袋に入れて密封して保管してください。

(4) 腐食性ガスの発生する場所や塵埃の多い所は避けてください。

- **ベーキングについて**

吸湿したパッケージはベーキング (加熱乾燥) を実施することにより除湿することが可能です。ベーキングは、当社の推奨する条件で実施してください。

条件: 125 °C/24 時間

- **静電気**

半導体デバイスは静電気による破壊を起こしやすいため、以下の点についてご注意ください。

- (1) 作業環境の相対湿度は40 % ~ 70 %RH にしてください。
除電装置 (イオン発生装置) の使用なども必要に応じて検討してください。
- (2) 使用するコンベア, 半田槽, 半田ゴテ, および周辺付帯設備は大地に接地してください。
- (3) 人体の帯電防止のため、指輪または腕輪などから高抵抗 (1 MΩ 程度) で大地に接地したり、導電性の衣服・靴を着用し、床に導電マットを敷くなど帯電電荷を最小限に保つようにしてください。
- (4) 治具, 計器類は, 接地または帯電防止化を実施してください。
- (5) 組立完了基板の収納時, 発泡スチロールなどの帯電し易い材料の使用は避けてください。

8.3 使用環境に関する注意事項

半導体デバイスの信頼性は、先に述べました周囲温度とそれ以外の環境条件にも依存します。ご使用にあたっては、以下の点にご注意ください。

- (1) 湿度環境

高湿度環境下での長期の使用は、デバイス自身だけでなくプリント基板等にもリーク性の不具合が発生する場合があります。高湿度が想定される場合は、防湿処理を施す等の配慮をお願いします。

- (2) 静電気放電

半導体デバイスの直近に高電圧に帯電したものが存在すると、放電が発生し誤動作の原因となることがあります。このような場合、帯電の防止または放電の防止の処置をお願いします。

- (3) 腐食性ガス, 塵埃, 油

腐食性ガス雰囲気中や、塵埃、油等がデバイスに付着した状態で使用すると、化学反応によりデバイスに悪影響を及ぼす場合があります。このような環境下でご使用の場合は、防止策についてご検討ください。

- (4) 放射線・宇宙線

一般のデバイスは、設計上、放射線、宇宙線にさらされる環境を想定しておりません。したがって、これらを遮蔽してご使用ください。

- (5) 発煙・発火

樹脂モールド型のデバイスは、不燃性ではありません。発火物の近くでは、ご使用にならないでください。発煙・発火しますと、その際に毒性を持ったガスが発生する恐れがあります。

その他、特殊な環境下でのご使用をお考えの場合は、営業部門にご相談ください。

9. デバイス使用上の注意

• ラッチアップの防止

使用に際して、印加する電圧が最大定格電圧を超えないようにしてください。

CMOS IC では、中耐圧端子でも高耐圧端子でもない入出力端子に V_{CC} より高い電圧や V_{SS} より低い電圧が印加された場合、または「22. 電气的特性」の「22.1 絶対最大定格」に示す電源電圧の定格範囲外の電圧が V_{CC} 端子または V_{SS} 端子に印加された場合、ラッチアップ現象が発生することがあります。

ラッチアップ現象が発生すると電源電流が激増し、素子が熱破壊する恐れがあります。

• 供給電圧の安定化

供給電圧は、安定させてください。

電源電圧が急激に変動すると、たとえ変動が V_{CC} 電源電圧の動作保証範囲内であっても、誤動作を生じることがあります。

電圧安定化の基準として、商用周波数 (50 Hz / 60 Hz) での V_{CC} リプル変動 (P-P 値) は、標準 V_{CC} 値の 10% 以下に、また電源の切換え時などの瞬時変化においては、過渡変動率が 0.1 V/ms 以下になるよう電圧変動を抑えてください。

• 外部クロック使用時の注意

外部クロック使用時において、パワーオンリセット、サブクロックモードまたはストップモード解除時には、発振安定待ち時間が発生します。

10. 端子接続について

• 未使用端子の処理

入力に用いる未使用端子を開放のままにしておくと、誤動作およびラッチアップ現象による永久破壊の原因になることがあります。使用していない入力端子は 2 k Ω 以上の抵抗を介してプルアップまたはプルダウンの処理をしてください。使用していない入出力端子は、出力状態に設定して開放とするか、入力状態に設定して入力端子と同じ処理をしてください。使用していない出力端子は、開放としてください。

• 電源端子

不要輻射の低減、グランドレベルの上昇によるストロブ信号の誤動作の防止、総出力電流規格を遵守などのために、必ず V_{CC} 端子と V_{SS} 端子をデバイスの外部で電源とグランドに接続してください。また、電流供給源と V_{CC} 端子および V_{SS} 端子は低インピーダンスで接続してください。

本デバイスに近い位置で、 V_{CC} 端子と V_{SS} 端子の間に 1.0 μ F 程度のセラミックコンデンサをバイパスコンデンサとして接続することをお勧めいたします。

• DBG 端子

DBG 端子を 2 k Ω 以上の外部のプルアップ抵抗に接続してください。

パワーオン後、リセット出力が解除されるまでの間、DBG 端子が “L” レベルのままにならないようにしてください。

DBG 端子はデバッグモード時に通信端子となります。実際のプルアップ抵抗値は、使用するツールや配線長に依存するため、ツールのドキュメントに従ってプルアップ抵抗を選択してください。

• \overline{RST} 端子

\overline{RST} 端子を 2 k Ω 以上の外部のプルアップ抵抗に接続してください。

ノイズによってデバイスが意図せずにリセットモードに入るのを防止するため、プリント基板のレイアウトを設計するときは、 \overline{RST} 端子とプルアップ抵抗間の配線距離、および V_{CC} 端子とプルアップ抵抗間の配線距離を最小限にしてください。

パワーオン後、PF2/ \overline{RST} 端子はリセット入出力端子として機能します。また、リセット出力は SYSC レジスタの RSTOE ビットによって許可でき、リセット入力機能または汎用入出力機能は SYSC レジスタの RSTEN ビットによって選択できます。

• アナログ電源

AV_{CC} 端子は常に V_{CC} 端子と同電位で使用してください。 $V_{CC} > AV_{CC}$ の場合には、AN00 ~ AN07 を通して電流が流れる場合があります。

• 8/12 ビット A/D コンバータの電源端子処理

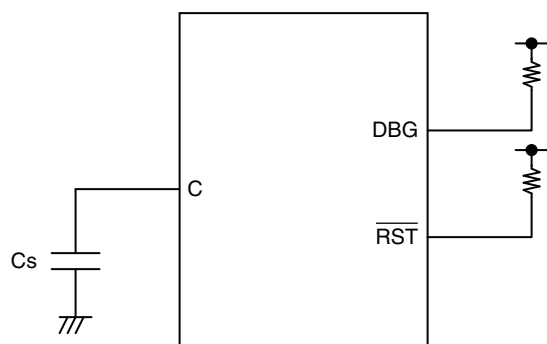
8/12 ビット A/D コンバータを使用しない場合でも、 $AV_{CC} = V_{CC}$ 、 $AV_{SS} = V_{SS}$ となるように接続してください。

AV_{CC} 端子にノイズが乗っていると、精度を低下させる原因となる可能性があります。そこで、 $0.1\ \mu\text{F}$ 程度のセラミックコンデンサをバイパスコンデンサとして、本デバイス周辺の AV_{CC} 端子と AV_{SS} 端子間に接続してください。

• C 端子

セラミックコンデンサまたは同程度の周波数特性のコンデンサを使用してください。 V_{CC} 端子のバイパスコンデンサは C_S 以上の容量値のコンデンサを使用してください。バイパスコンデンサ C_S への接続は下図を参照してください。ノイズによってデバイスが意図せずに不明なモードに入るのを防止するため、プリント基板のレイアウトを設計するときは、C 端子から C_S への距離および C_S から V_{SS} 端子への距離を最小限にしてください。

• DBG / $\overline{\text{RST}}$ / C 端子接続図

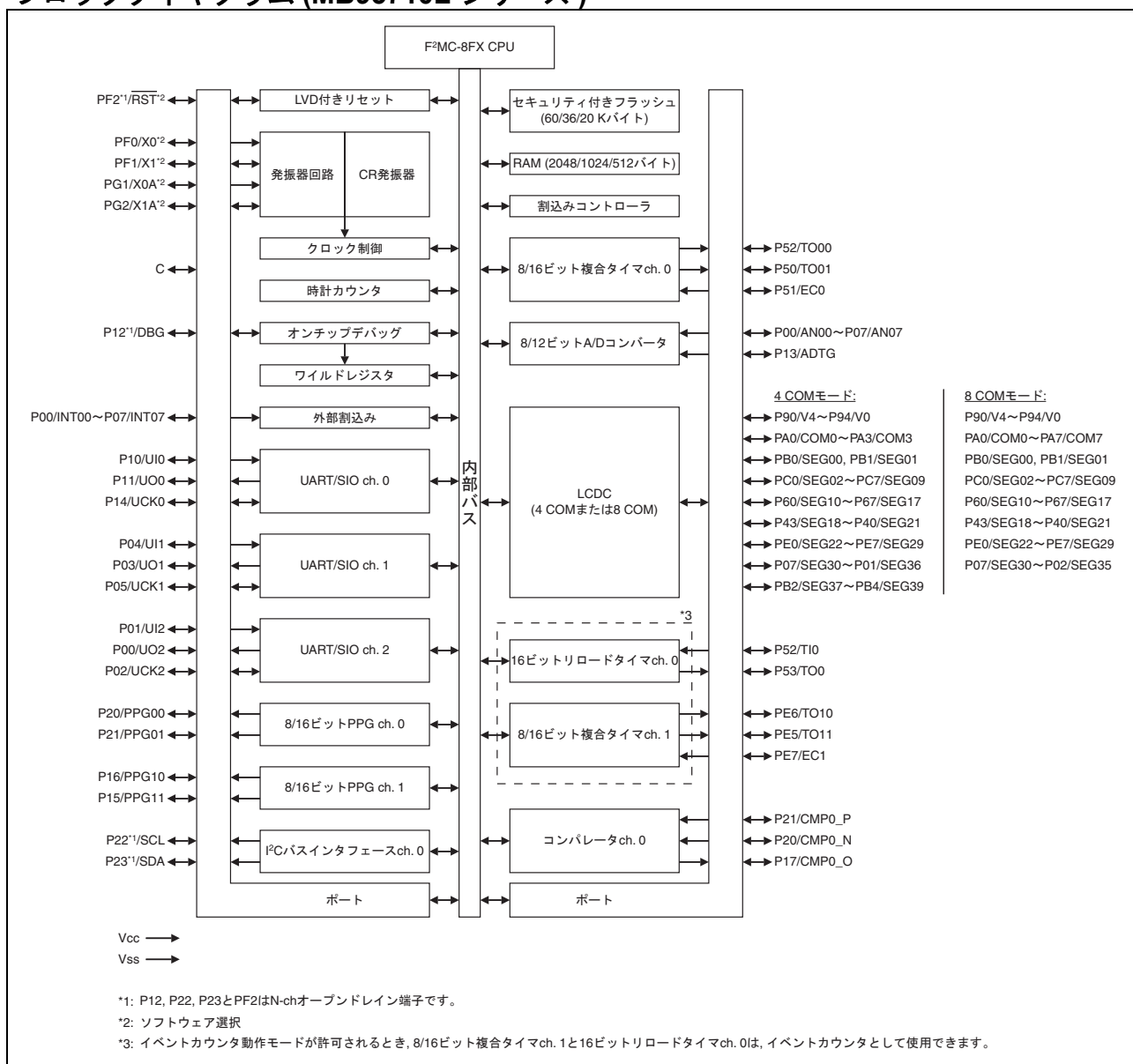


• シリアル通信に関する注意事項

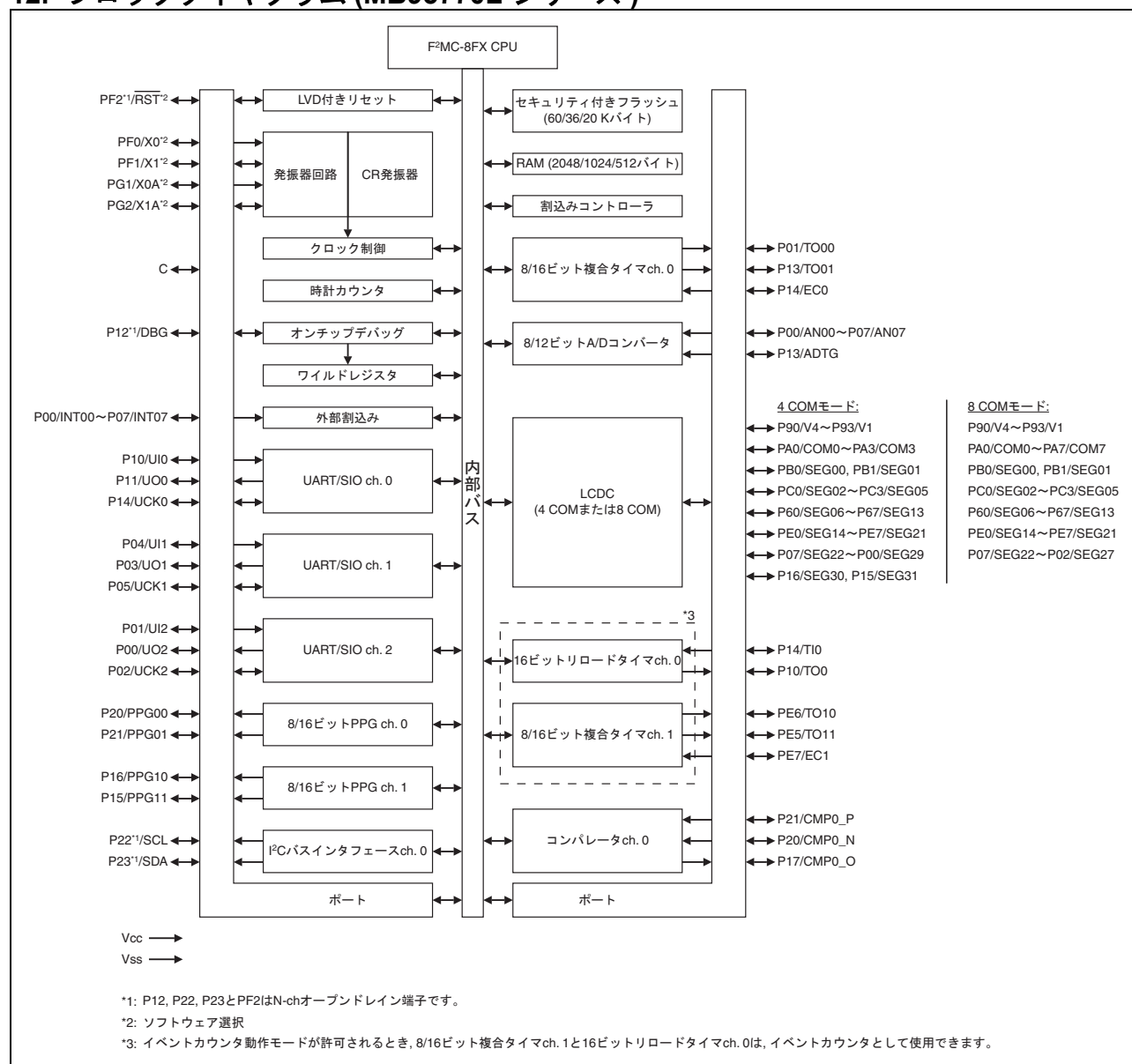
シリアル通信においては、ノイズなどにより間違ったデータを受信する可能性があります。そのため、ノイズを抑えるボードの設計をしてください。

また、万が一ノイズなどの影響により誤ったデータを受信した場合を考慮し、データの最終部にチェックサムなどを付加してエラー検出を行ってください。エラーが検出された場合には、再送を行うなどの処理をしてください。

11. ブロックダイアグラム (MB95710L シリーズ)



12. ブロックダイアグラム (MB95770L シリーズ)

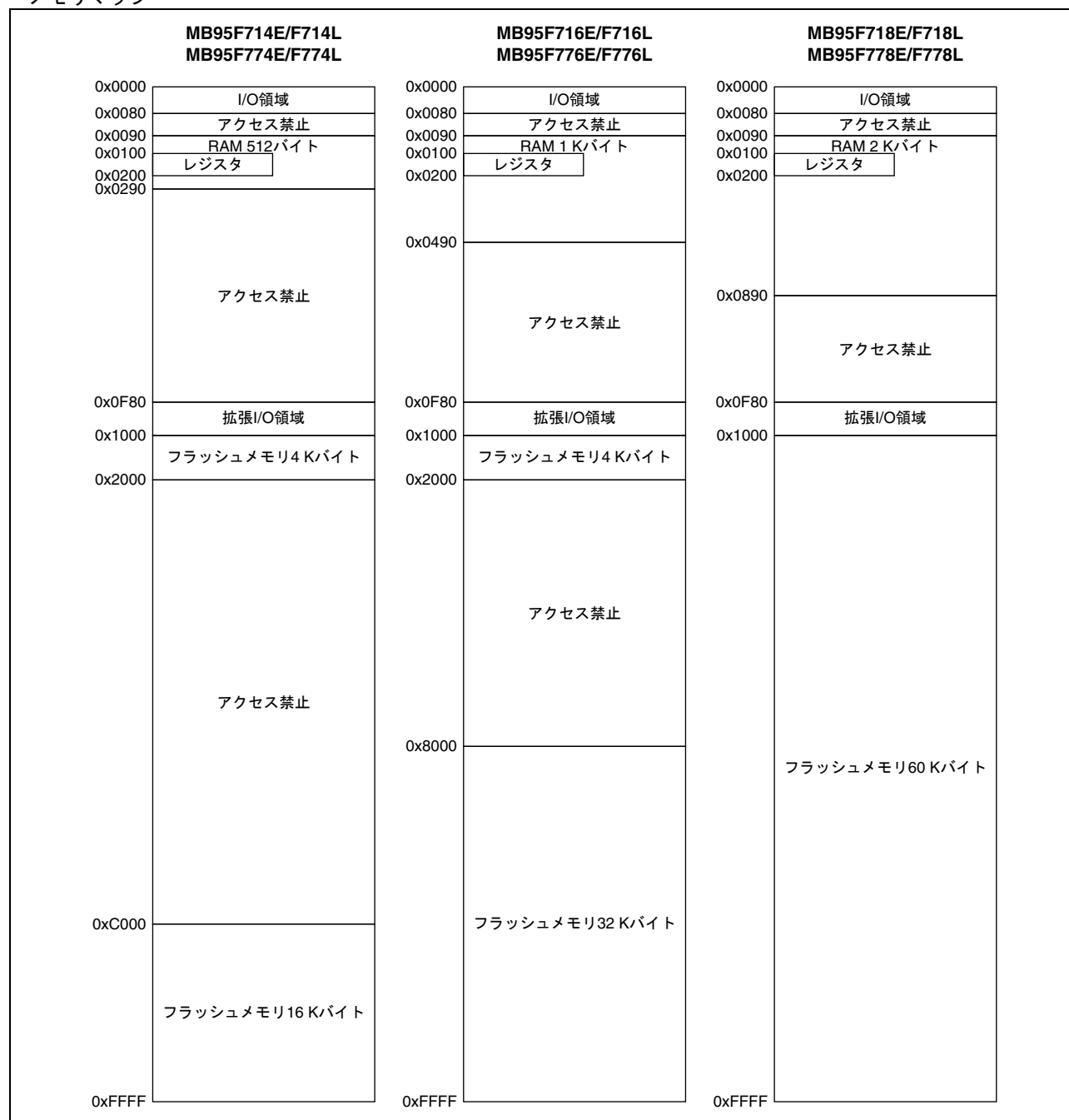


13. CPU コア

- メモリ空間

MB95710L/770L シリーズのメモリ空間は 64 K バイト で、I/O 領域、拡張 I/O 領域、データ領域とプログラム領域によって構成されます。メモリ空間の中には汎用レジスタ、ベクタテーブルなど特定の用途に使用される領域があります。MB95710L/770L シリーズのメモリマップを以下に示します。

- メモリマップ

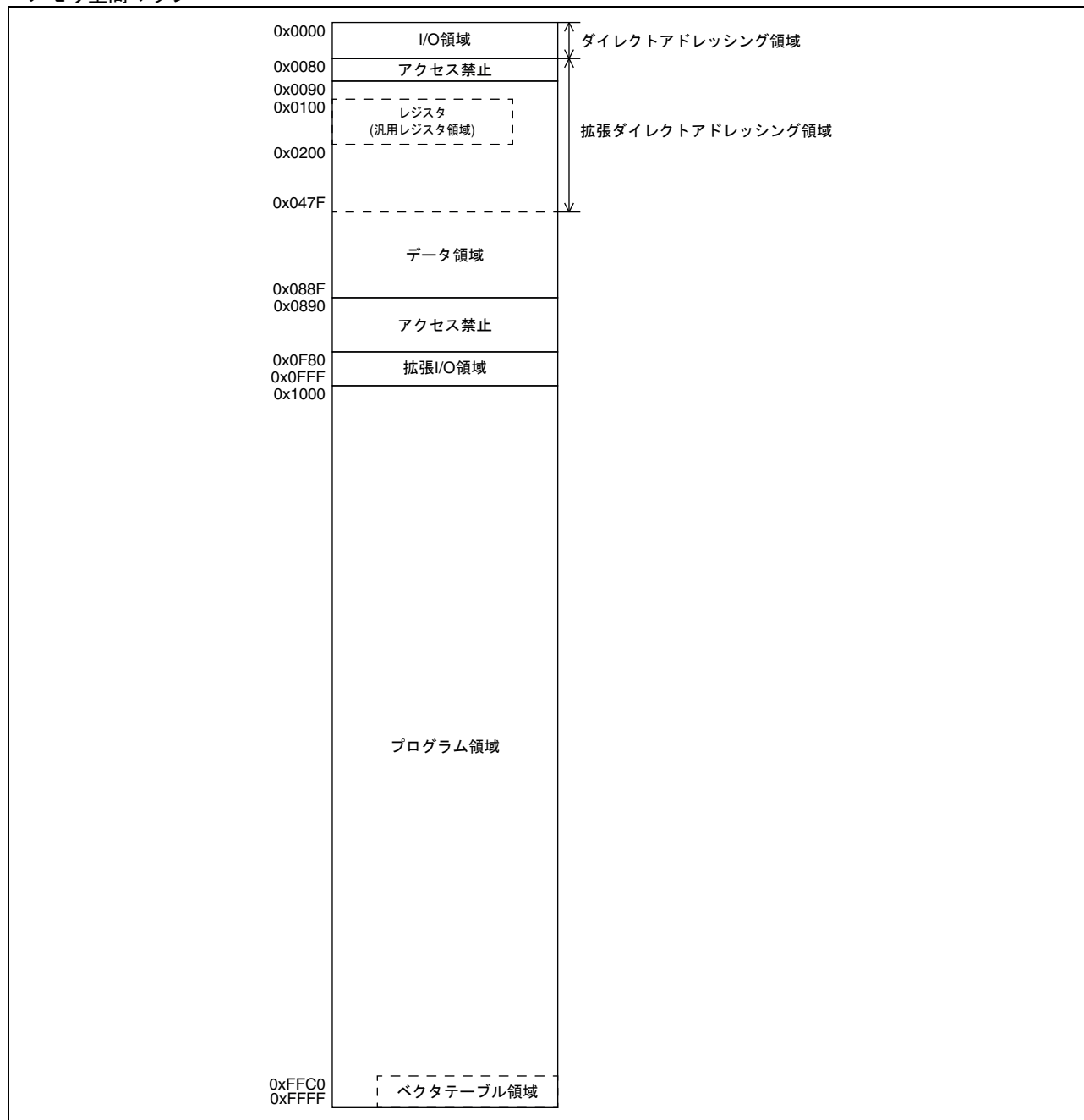


14. メモリ空間

MB95710L/770L シリーズのメモリ空間は 64K バイトで、I/O 領域、拡張 I/O 領域、データ領域、プログラム領域によって構成されています。メモリ空間には、汎用レジスタやベクタテーブルなど、特定の用途に使用される領域があります。

- **I/O 領域 (アドレス : 0x0000 ~ 0x007F)**
 - この領域には、内蔵する周辺機能の制御レジスタ、データレジスタが配置されています。
 - I/O 領域はメモリ空間の一部に割り当てられているため、メモリにアクセスする場合と同様にアクセスできます。また、ダイレクトアドレッシング命令を用いることで、より高速にアクセスできます。
- **拡張 I/O 領域 (アドレス : 0x0F80 ~ 0x0FFF)**
 - この領域には、内蔵する周辺機能の制御レジスタ、データレジスタなどが配置されています。
 - 拡張 I/O 領域はメモリ空間の一部に割り当てられているメモリにアクセスする場合と同様にアクセスできます。
- **データ領域**
 - 内部データ領域としてスタティック RAM がデータ領域内に内蔵されています。
 - 内部 RAM 容量は、品種によって異なります。
 - RAM 領域のアドレス 0x0090 ~ 0x00FF は、ダイレクトアドレッシング命令を用いることで、高速にアクセスできます。
 - MB95F716E/F716L/F718E/F718L/F776E/F776L/F778E/F778L のアドレス 0x0090 ~ 0x047F は、拡張ダイレクトアドレッシング領域です。ダイレクトバンクポインタの設定により、ダイレクトアドレッシング命令による高速アクセスが可能となります。
 - MB95F714E/F714L/F774E/F774L のアドレス 0x0090 ~ 0x028F は、拡張ダイレクトアドレッシング領域です。ダイレクトバンクポインタの設定により、ダイレクトアドレッシング命令による高速アクセスが可能となります。
 - 0x0100 ~ 0x01FF は、汎用レジスタ領域として使用できます。
- **プログラム領域**
 - 内部プログラム領域としてフラッシュメモリが内蔵されています。
 - フラッシュメモリ容量は、品種によって異なります。
 - 0xFFC0 ~ 0xFFFF は、ベクタテーブルとして使用します。
 - 0xFFBB ~ 0xFFBF は、不揮発性レジスタのデータ保存に使用します。

• メモリ空間マップ



15. 特定用途の領域

特定の用途の領域には、汎用レジスタ領域とベクタテーブル領域があります。

- 汎用レジスタ領域 (アドレス: 0x0100 ~ 0x01FF)
 - 8ビットの演算や転送などに使用する補助的レジスタが配置されています。
 - RAM領域の一部に割り当てられており、通常のRAMとしても使用できます。
 - 汎用レジスタとして使用すると、汎用レジスタアドレッシングによって、短い命令で高速にアクセスできます。
- 不揮発性レジスタデータ領域 (アドレス: 0xFFBB ~ 0xFFBF)
 - 0xFFBB ~ 0xFFBFまでの領域は不揮発性レジスタのデータの保存用として使用します。詳細は、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」の「第28章 不揮発性レジスタ (NVR) の機能」を参照してください。
- ベクタテーブル領域 (アドレス: 0xFFC0 ~ 0xFFFF)
 - ベクタコール命令 (CALLV)、割り込みおよびリセットのベクタテーブルとして使用します。
 - フラッシュメモリ領域の最上部に割り当てられており、それぞれのベクタテーブルのアドレスに対応する処理ルーチンの開始アドレスをデータとして設定します。

「20. 割り込み要因のテーブル」は、ベクタコール命令、割り込みおよびリセットに対応して参照されるベクタテーブルのアドレスを示します。

詳細は「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」の「第4章 リセット」、「第5章 割り込み」および「付録」の「A.2 特殊な命令について ■ 特殊な命令について ● CALLV #vct」を参照してください。

- ダイレクトバンクポインタとアクセス領域

ダイレクトバンクポインタ (DP[2:0])	オペランドで指定された dir	アクセス領域
0bXXX (マッピングに影響しません)	0x0000 ~ 0x007F	0x0000 ~ 0x007F
0b000 (初期値)	0x0090 ~ 0x00FF	0x0090 ~ 0x00FF
0b001	0x0080 ~ 0x00FF	0x0100 ~ 0x017F
0b010		0x0180 ~ 0x01FF
0b011		0x0200 ~ 0x027F
0b100		0x0280 ~ 0x02FF *
0b101		0x0300 ~ 0x037F
0b110		0x0380 ~ 0x03FF
0b111		0x0400 ~ 0x047F

*: MB95F714E/F714L/F774E/F774L では、メモリの容量制限により、使用可能なアクセス領域は“0x028F”までとなります。

16. I/O マップ (MB95710L シリーズ)

アドレス	レジスタ略称	レジスタ名称	R/W	初期値
0x0000	PDR0	ポート 0 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0001	DDR0	ポート 0 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0002	PDR1	ポート 1 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0003	DDR1	ポート 1 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0004	—	(使用禁止)	—	—
0x0005	WATR	発振安定待ち時間設定レジスタ	R/W	0b11111111
0x0006	PLLC	PLL 制御レジスタ	R/W	0b000X0000
0x0007	SYCC	システムクロック制御レジスタ	R/W	0bXXX11011
0x0008	STBC	スタンバイ制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0009	RSRR	リセット要因レジスタ	R/W	0b000XXXXX
0x000A	TBTC	タイムベースタイマ制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x000B	WPCR	時計プリスケラ制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x000C	WDTC	ウォッチドッグタイマ制御レジスタ	R/W	0b00XX0000
0x000D	SYCC2	システムクロック制御レジスタ 2	R/W	0bXXXXX0011
0x000E	PDR2	ポート 2 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x000F	DDR2	ポート 2 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0010, 0x0011	—	(使用禁止)	—	—
0x0012	PDR4	ポート 4 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0013	DDR4	ポート 4 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0014	PDR5	ポート 5 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0015	DDR5	ポート 5 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0016	PDR6	ポート 6 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0017	DDR6	ポート 6 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0018 ～ 0x001B	—	(使用禁止)	—	—
0x001C	PDR9	ポート 9 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x001D	DDR9	ポート 9 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x001E	PDRA	ポート A データレジスタ	R/W	0b00000000
0x001F	DDRA	ポート A 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0020	PDRB	ポート B データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0021	DDRB	ポート B 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0022	PDRC	ポート C データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0023	DDRC	ポート C 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0024, 0x0025	—	(使用禁止)	—	—
0x0026	PDRE	ポート E データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0027	DDRE	ポート E 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0028	PDRF	ポート F データレジスタ	R/W	0b00000000

アドレス	レジスタ略称	レジスタ名称	R/W	初期値
0x0029	DDRF	ポート F 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x002A	PDRG	ポート G データレジスタ	R/W	0b00000000
0x002B	DDRG	ポート G 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x002C	—	(使用禁止)	—	—
0x002D	PUL1	ポート 1 プルアップレジスタ	R/W	0b00000000
0x002E	PUL2	ポート 2 プルアップレジスタ	R/W	0b00000000
0x002F, 0x0030	—	(使用禁止)	—	—
0x0031	PUL5	ポート 5 プルアップレジスタ	R/W	0b00000000
0x0032 ～ 0x0034	—	(使用禁止)	—	—
0x0035	PULG	ポート G プルアップレジスタ	R/W	0b00000000
0x0036	T01CR1	8/16 ビット複合タイマ 01 ステータス制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x0037	T00CR1	8/16 ビット複合タイマ 00 ステータス制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x0038	T11CR1	8/16 ビット複合タイマ 11 ステータス制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x0039	T10CR1	8/16 ビット複合タイマ 10 ステータス制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x003A	PC01	8/16 ビット PPG01 制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x003B	PC00	8/16 ビット PPG00 制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x003C	PC11	8/16 ビット PPG11 制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x003D	PC10	8/16 ビット PPG10 制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x003E	TMCSRHO	16 ビットリロードタイマ制御ステータスレジスタ (上位) ch. 0	R/W	0b00000000
0x003F	TMCSRL0	16 ビットリロードタイマ制御ステータスレジスタ (下位) ch. 0	R/W	0b00000000
0x0040 ～ 0x0047	—	(使用禁止)	—	—
0x0048	EIC00	外部割込み回路制御レジスタ ch. 0/ch. 1	R/W	0b00000000
0x0049	EIC10	外部割込み回路制御レジスタ ch. 2/ch. 3	R/W	0b00000000
0x004A	EIC20	外部割込み回路制御レジスタ ch. 4/ch. 5	R/W	0b00000000
0x004B	EIC30	外部割込み回路制御レジスタ ch. 6/ch. 7	R/W	0b00000000
0x004C, 0x004D	—	(使用禁止)	—	—
0x004E	LVDC	LVD 制御レジスタ	R/W	0b00000100
0x004F	LCDCC2	LCDC 制御レジスタ 2	R/W	0b00010100
0x0050	CMR0	コンパレータ制御レジスタ ch. 0	R/W	0b00000001
0x0051 ～ 0x0055	—	(使用禁止)	—	—
0x0056	SMC10	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 1 ch. 0	R/W	0b00000000
0x0057	SMC20	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 2 ch. 0	R/W	0b00100000
0x0058	SSR0	UART/SIO シリアルステータスアンドデータレジスタ ch. 0	R/W	0b00000001
0x0059	TDR0	UART/SIO シリアル出力データレジスタ ch. 0	R/W	0b00000000

アドレス	レジスタ略称	レジスタ名称	R/W	初期値
0x005A	RDR0	UART/SIO シリアル入力データレジスタ ch. 0	R	0b00000000
0x005B	SMC11	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 1 ch. 1	R/W	0b00000000
0x005C	SMC21	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 2 ch. 1	R/W	0b00100000
0x005D	SSR1	UART/SIO シリアルステータスアンドデータレジスタ ch. 1	R/W	0b00000001
0x005E	TDR1	UART/SIO シリアル出力データレジスタ ch. 1	R/W	0b00000000
0x005F	RDR1	UART/SIO シリアル入力データレジスタ ch. 1	R	0b00000000
0x0060	IBCR00	I ² C バス制御レジスタ 0 ch. 0	R/W	0b00000000
0x0061	IBCR10	I ² C バス制御レジスタ 1 ch. 0	R/W	0b00000000
0x0062	IBSR0	I ² C バスステータスレジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0063	IDDR0	I ² C データレジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0064	IAAR0	I ² C アドレスレジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0065	ICCR0	I ² C クロック制御レジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0066	SMC12	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 1 ch. 2	R/W	0b00000000
0x0067	SMC22	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 2 ch. 2	R/W	0b00100000
0x0068	SSR2	UART/SIO シリアルステータスアンドデータレジスタ ch. 2	R/W	0b00000001
0x0069	TDR2	UART/SIO シリアル出力データレジスタ ch. 2	R/W	0b00000000
0x006A	RDR2	UART/SIO シリアル入力データレジスタ ch. 2	R	0b00000000
0x006B	ADC3	8/12 ビット A/D コンバータ制御レジスタ 3	R/W	0b01111100
0x006C	ADC1	8/12 ビット A/D コンバータ制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x006D	ADC2	8/12 ビット A/D コンバータ制御レジスタ 2	R/W	0b00000000
0x006E	ADDH	8/12 ビット A/D コンバータデータレジスタ (上位)	R/W	0b00000000
0x006F	ADDL	8/12 ビット A/D コンバータデータレジスタ (下位)	R/W	0b00000000
0x0070	WCSR	時計カウンタ制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0071	FSR2	フラッシュメモリステータスレジスタ 2	R/W	0b00000000
0x0072	FSR	フラッシュメモリステータスレジスタ	R/W	0b000X0000
0x0073	SWRE0	フラッシュメモリセクタ書き込み制御レジスタ 0	R/W	0b00000000
0x0074	FSR3	フラッシュメモリステータスレジスタ 3	R	0b000XXXXX
0x0075	FSR4	フラッシュメモリステータスレジスタ 4	R/W	0b00000000
0x0076	WREN	ワイルドレジスタアドレス比較許可レジスタ	R/W	0b00000000
0x0077	WROR	ワイルドレジスタデータテスト設定レジスタ	R/W	0b00000000
0x0078	—	レジスタバンクポインタ (RP) とダイレクトバンクポインタ (DP) のミラー	—	—
0x0079	ILR0	割込みレベル設定レジスタ 0	R/W	0b11111111
0x007A	ILR1	割込みレベル設定レジスタ 1	R/W	0b11111111
0x007B	ILR2	割込みレベル設定レジスタ 2	R/W	0b11111111
0x007C	ILR3	割込みレベル設定レジスタ 3	R/W	0b11111111
0x007D	ILR4	割込みレベル設定レジスタ 4	R/W	0b11111111
0x007E	ILR5	割込みレベル設定レジスタ 5	R/W	0b11111111
0x007F	—	(使用禁止)	—	—
0x0F80	WRARH0	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (上位) ch. 0	R/W	0b00000000
0x0F81	WRARL0	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (下位) ch. 0	R/W	0b00000000

アドレス	レジスタ略称	レジスタ名称	R/W	初期値
0x0F82	WRDR0	ワイルドレジスタデータ設定レジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0F83	WRARH1	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (上位) ch. 1	R/W	0b00000000
0x0F84	WRARL1	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (下位) ch. 1	R/W	0b00000000
0x0F85	WRDR1	ワイルドレジスタデータ設定レジスタ ch. 1	R/W	0b00000000
0x0F86	WRARH2	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (上位) ch. 2	R/W	0b00000000
0x0F87	WRARL2	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (下位) ch. 2	R/W	0b00000000
0x0F88	WRDR2	ワイルドレジスタデータ設定レジスタ ch. 2	R/W	0b00000000
0x0F89 ～ 0x0F91	—	(使用禁止)	—	—
0x0F92	T01CR0	8/16 ビット複合タイマ 01 ステータス制御レジスタ 0	R/W	0b00000000
0x0F93	T00CR0	8/16 ビット複合タイマ 00 ステータス制御レジスタ 0	R/W	0b00000000
0x0F94	T01DR	8/16 ビット複合タイマ 01 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0F95	T00DR	8/16 ビット複合タイマ 00 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0F96	TMCR0	8/16 ビット複合タイマ 00/01 タイマモード制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0F97	T11CR0	8/16 ビット複合タイマ 11 ステータス制御レジスタ 0	R/W	0b00000000
0x0F98	T10CR0	8/16 ビット複合タイマ 10 ステータス制御レジスタ 0	R/W	0b00000000
0x0F99	T11DR	8/16 ビット複合タイマ 11 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0F9A	T10DR	8/16 ビット複合タイマ 10 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0F9B	TMCR1	8/16 ビット複合タイマ 10/11 タイマモード制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0F9C	PPS01	8/16 ビット PPG01 周期設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0F9D	PPS00	8/16 ビット PPG00 周期設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0F9E	PDS01	8/16 ビット PPG01 デューディ設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0F9F	PDS00	8/16 ビット PPG00 デューディ設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0FA0	PPS11	8/16 ビット PPG11 周期設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0FA1	PPS10	8/16 ビット PPG10 周期設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0FA2	PDS11	8/16 ビット PPG11 デューディ設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0FA3	PDS10	8/16 ビット PPG10 デューディ設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0FA4	PPGS	8/16 ビット PPG 起動レジスタ	R/W	0b00000000
0x0FA5	REVC	8/16 ビット PPG 出力反転レジスタ	R/W	0b00000000
0x0FA6	TMRH0	16 ビットリロードタイマタイマレジスタ (上位) ch. 0	R/W	0b00000000
	TMRLRH0	16 ビットリロードタイマリロードレジスタ (上位) ch. 0		
0x0FA7	TMRL0	16 ビットリロードタイマタイマレジスタ (下位) ch. 0	R/W	0b00000000
	TMRLRL0	16 ビットリロードタイマリロードレジスタ (下位) ch. 0		
0x0FA8	PSSR0	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータプリスケラ選択レジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0FA9	BRSR0	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータボーレート設定レジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0FAA	PSSR1	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータプリスケラ選択レジスタ ch. 1	R/W	0b00000000
0x0FAB	BRSR1	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータボーレート設定レジスタ ch. 1	R/W	0b00000000

アドレス	レジスタ略称	レジスタ名称	R/W	初期値
0x0FAC	PSSR2	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータプリスケール選択レジスタ ch. 2	R/W	0b00000000
0x0FAD	BRSR2	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータボーレート設定レジスタ ch. 2	R/W	0b00000000
0x0FAE	—	(使用禁止)	—	—
0x0FAF	AIDRL	A/D 入力禁止レジスタ (下位)	R/W	0b00000000
0x0FB0	LCDCC1	LCDC 制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x0FB1	—	(使用禁止)	—	—
0x0FB2	LCDCE1	LCDC 許可レジスタ 1	R/W	0b00111110
0x0FB3	LCDCE2	LCDC 許可レジスタ 2	R/W	0b00000000
0x0FB4	LCDCE3	LCDC 許可レジスタ 3	R/W	0b00000000
0x0FB5	LCDCE4	LCDC 許可レジスタ 4	R/W	0b00000000
0x0FB6	LCDCE5	LCDC 許可レジスタ 5	R/W	0b00000000
0x0FB7	LCDCE6	LCDC 許可レジスタ 6	R/W	0b00000000
0x0FB8	LCDCE7	LCDC 許可レジスタ 7	R/W	0b00000000
0x0FB9	LCDCB1	LCDC ブリンキング設定レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x0FBA	LCDCB2	LCDC ブリンキング設定レジスタ 2	R/W	0b00000000
0x0FBB, 0x0FBC	—	(使用禁止)	—	—
0x0FBD ～ 0x0FE0	LCDRAM	LCDC ディスプレイ RAM (36 バイト)	R/W	0b00000000
0x0FE1	—	(使用禁止)	—	—
0x0FE2	EVCR	イベントカウンタ制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0FE3	WCDR	時計カウンタデータレジスタ	R/W	0b00111111
0x0FE4	CRTH	メイン CR クロックトリミングレジスタ (上位)	R/W	0b000XXXXX
0x0FE5	CRTL	メイン CR クロックトリミングレジスタ (下位)	R/W	0b000XXXXX
0x0FE6	SYSC2	システム構成レジスタ 2	R/W	0b00000000
0x0FE7	CRTDA	メイン CR クロック温度依存補正レジスタ	R/W	0b000XXXXX
0x0FE8	SYSC	システム構成レジスタ	R/W	0b00111111
0x0FE9	CMCR	クロック監視制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0FEA	CMDR	クロック監視データレジスタ	R	0b00000000
0x0FEB	WDTH	ウォッチドッグタイマ選択 ID レジスタ (上位)	R	0bXXXXXXXX
0x0FEC	WDTL	ウォッチドッグタイマ選択 ID レジスタ (下位)	R	0bXXXXXXXX
0x0FED, 0x0FEE	—	(使用禁止)	—	—
0x0FEF	WICR	割込み端子選択回路制御レジスタ	R/W	0b01000000
0x0FF0 ～ 0x0FFF	—	(使用禁止)	—	—

- R/W についての説明

R/W : リード/ライト可能

R : リードオンリ

- 初期値についての説明

0 : このビットの初期値は“0”です。

1 : このビットの初期値は“1”です。

X : このビットの初期値は不定です。

(注意事項) 「(使用禁止)」のアドレスへの書込みは行わないでください。「(使用禁止)」のアドレスを読み出した場合は不定値が読み出されます。

17. I/O マップ (MB95770L シリーズ)

アドレス	レジスタ略称	レジスタ名称	R/W	初期値
0x0000	PDR0	ポート 0 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0001	DDR0	ポート 0 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0002	PDR1	ポート 1 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0003	DDR1	ポート 1 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0004	—	(使用禁止)	—	—
0x0005	WATR	発振安定待ち時間設定レジスタ	R/W	0b11111111
0x0006	PLLC	PLL 制御レジスタ	R/W	0b000X0000
0x0007	SYCC	システムクロック制御レジスタ	R/W	0bXXX11011
0x0008	STBC	スタンバイ制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0009	RSRR	リセット要因レジスタ	R/W	0b000XXXXX
0x000A	TBTC	タイムベースタイマ制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x000B	WPCR	時計プリスケラ制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x000C	WDTC	ウォッチドッグタイマ制御レジスタ	R/W	0b00XX0000
0x000D	SYCC2	システムクロック制御レジスタ 2	R/W	0bXXXXX0011
0x000E	PDR2	ポート 2 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x000F	DDR2	ポート 2 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0010 ～ 0x0015	—	(使用禁止)	—	—
0x0016	PDR6	ポート 6 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0017	DDR6	ポート 6 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0018 ～ 0x001B	—	(使用禁止)	—	—
0x001C	PDR9	ポート 9 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x001D	DDR9	ポート 9 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x001E	PDRA	ポート A データレジスタ	R/W	0b00000000
0x001F	DDRA	ポート A 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0020	PDRB	ポート B データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0021	DDRB	ポート B 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0022	PDRC	ポート C データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0023	DDRC	ポート C 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0024, 0x0025	—	(使用禁止)	—	—
0x0026	PDRE	ポート E データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0027	DDRE	ポート E 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x0028	PDRF	ポート F データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0029	DDRF	ポート F 方向レジスタ	R/W	0b00000000
0x002A	PDRG	ポート G データレジスタ	R/W	0b00000000
0x002B	DDRG	ポート G 方向レジスタ	R/W	0b00000000

アドレス	レジスタ略称	レジスタ名称	R/W	初期値
0x002C	—	(使用禁止)	—	—
0x002D	PUL1	ポート 1 プルアップレジスタ	R/W	0b00000000
0x002E	PUL2	ポート 2 プルアップレジスタ	R/W	0b00000000
0x002F ～ 0x0034	—	(使用禁止)	—	—
0x0035	PULG	ポート G プルアップレジスタ	R/W	0b00000000
0x0036	T01CR1	8/16 ビット複合タイマ 01 ステータス制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x0037	T00CR1	8/16 ビット複合タイマ 00 ステータス制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x0038	T11CR1	8/16 ビット複合タイマ 11 ステータス制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x0039	T10CR1	8/16 ビット複合タイマ 10 ステータス制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x003A	PC01	8/16 ビット PPG01 制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x003B	PC00	8/16 ビット PPG00 制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x003C	PC11	8/16 ビット PPG11 制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x003D	PC10	8/16 ビット PPG10 制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x003E	TMCSRH0	16 ビットリロードタイマ制御ステータスレジスタ (上位) ch. 0	R/W	0b00000000
0x003F	TMCSRL0	16 ビットリロードタイマ制御ステータスレジスタ (下位) ch. 0	R/W	0b00000000
0x0040 ～ 0x0047	—	(使用禁止)	—	—
0x0048	EIC00	外部割込み回路制御レジスタ ch. 0/ch. 1	R/W	0b00000000
0x0049	EIC10	外部割込み回路制御レジスタ ch. 2/ch. 3	R/W	0b00000000
0x004A	EIC20	外部割込み回路制御レジスタ ch. 4/ch. 5	R/W	0b00000000
0x004B	EIC30	外部割込み回路制御レジスタ ch. 6/ch. 7	R/W	0b00000000
0x004C, 0x004D	—	(使用禁止)	—	—
0x004E	LVDC	LVD 制御レジスタ	R/W	0b00000100
0x004F	LCDCC2	LCDC 制御レジスタ 2	R/W	0b00010100
0x0050	CMR0	コンパレータ制御レジスタ ch. 0	R/W	0b00000001
0x0051 ～ 0x0055	—	(使用禁止)	—	—
0x0056	SMC10	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 1 ch. 0	R/W	0b00000000
0x0057	SMC20	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 2 ch. 0	R/W	0b00100000
0x0058	SSR0	UART/SIO シリアルステータスアンドデータレジスタ ch. 0	R/W	0b00000001
0x0059	TDR0	UART/SIO シリアル出力データレジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x005A	RDR0	UART/SIO シリアル入力データレジスタ ch. 0	R	0b00000000
0x005B	SMC11	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 1 ch. 1	R/W	0b00000000
0x005C	SMC21	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 2 ch. 1	R/W	0b00100000
0x005D	SSR1	UART/SIO シリアルステータスアンドデータレジスタ ch. 1	R/W	0b00000001
0x005E	TDR1	UART/SIO シリアル出力データレジスタ ch. 1	R/W	0b00000000
0x005F	RDR1	UART/SIO シリアル入力データレジスタ ch. 1	R	0b00000000

アドレス	レジスタ略称	レジスタ名称	R/W	初期値
0x0060	IBCR00	I ² C バス制御レジスタ 0 ch. 0	R/W	0b00000000
0x0061	IBCR10	I ² C バス制御レジスタ 1 ch. 0	R/W	0b00000000
0x0062	IBSR0	I ² C バスステータスレジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0063	IDDR0	I ² C データレジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0064	IAAR0	I ² C アドレスレジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0065	ICCR0	I ² C クロック制御レジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0066	SMC12	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 1 ch. 2	R/W	0b00000000
0x0067	SMC22	UART/SIO シリアルモード制御レジスタ 2 ch. 2	R/W	0b00100000
0x0068	SSR2	UART/SIO シリアルステータスアンドデータレジスタ ch. 2	R/W	0b00000001
0x0069	TDR2	UART/SIO シリアル出力データレジスタ ch. 2	R/W	0b00000000
0x006A	RDR2	UART/SIO シリアル入力データレジスタ ch. 2	R	0b00000000
0x006B	ADC3	8/12 ビット A/D コンバータ制御レジスタ 3	R/W	0b01111100
0x006C	ADC1	8/12 ビット A/D コンバータ制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x006D	ADC2	8/12 ビット A/D コンバータ制御レジスタ 2	R/W	0b00000000
0x006E	ADDH	8/12 ビット A/D コンバータデータレジスタ (上位)	R/W	0b00000000
0x006F	ADDL	8/12 ビット A/D コンバータデータレジスタ (下位)	R/W	0b00000000
0x0070	WCSR	時計カウンタ制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0071	FSR2	フラッシュメモリステータスレジスタ 2	R/W	0b00000000
0x0072	FSR	フラッシュメモリステータスレジスタ	R/W	0b000X0000
0x0073	SWRE0	フラッシュメモリセクタ書き込み制御レジスタ 0	R/W	0b00000000
0x0074	FSR3	フラッシュメモリステータスレジスタ 3	R	0b000XXXXX
0x0075	FSR4	フラッシュメモリステータスレジスタ 4	R/W	0b00000000
0x0076	WREN	ワイルドレジスタアドレス比較許可レジスタ	R/W	0b00000000
0x0077	WROR	ワイルドレジスタデータテスト設定レジスタ	R/W	0b00000000
0x0078	—	レジスタバンクポインタ (RP) とダイレクトバンクポインタ (DP) のミラー	—	—
0x0079	ILR0	割込みレベル設定レジスタ 0	R/W	0b11111111
0x007A	ILR1	割込みレベル設定レジスタ 1	R/W	0b11111111
0x007B	ILR2	割込みレベル設定レジスタ 2	R/W	0b11111111
0x007C	ILR3	割込みレベル設定レジスタ 3	R/W	0b11111111
0x007D	ILR4	割込みレベル設定レジスタ 4	R/W	0b11111111
0x007E	ILR5	割込みレベル設定レジスタ 5	R/W	0b11111111
0x007F	—	(使用禁止)	—	—
0x0F80	WRARH0	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (上位) ch. 0	R/W	0b00000000
0x0F81	WRARL0	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (下位) ch. 0	R/W	0b00000000
0x0F82	WRDR0	ワイルドレジスタデータ設定レジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0F83	WRARH1	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (上位) ch. 1	R/W	0b00000000
0x0F84	WRARL1	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (下位) ch. 1	R/W	0b00000000
0x0F85	WRDR1	ワイルドレジスタデータ設定レジスタ ch. 1	R/W	0b00000000
0x0F86	WRARH2	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (上位) ch. 2	R/W	0b00000000
0x0F87	WRARL2	ワイルドレジスタアドレス設定レジスタ (下位) ch. 2	R/W	0b00000000

アドレス	レジスタ略称	レジスタ名称	R/W	初期値
0x0F88	WRDR2	ワイルドレジスタデータ設定レジスタ ch. 2	R/W	0b00000000
0x0F89 ～ 0x0F91	—	(使用禁止)	—	—
0x0F92	T01CR0	8/16 ビット複合タイマ 01 ステータス制御レジスタ 0	R/W	0b00000000
0x0F93	T00CR0	8/16 ビット複合タイマ 00 ステータス制御レジスタ 0	R/W	0b00000000
0x0F94	T01DR	8/16 ビット複合タイマ 01 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0F95	T00DR	8/16 ビット複合タイマ 00 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0F96	TMCR0	8/16 ビット複合タイマ 00/01 タイマモード制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0F97	T11CR0	8/16 ビット複合タイマ 11 ステータス制御レジスタ 0	R/W	0b00000000
0x0F98	T10CR0	8/16 ビット複合タイマ 10 ステータス制御レジスタ 0	R/W	0b00000000
0x0F99	T11DR	8/16 ビット複合タイマ 11 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0F9A	T10DR	8/16 ビット複合タイマ 10 データレジスタ	R/W	0b00000000
0x0F9B	TMCR1	8/16 ビット複合タイマ 10/11 タイマモード制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0F9C	PPS01	8/16 ビット PPG01 周期設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0F9D	PPS00	8/16 ビット PPG00 周期設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0F9E	PDS01	8/16 ビット PPG01 デューディ設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0F9F	PDS00	8/16 ビット PPG00 デューディ設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0FA0	PPS11	8/16 ビット PPG11 周期設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0FA1	PPS10	8/16 ビット PPG10 周期設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0FA2	PDS11	8/16 ビット PPG11 デューディ設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0FA3	PDS10	8/16 ビット PPG10 デューディ設定バッファレジスタ	R/W	0b11111111
0x0FA4	PPGS	8/16 ビット PPG 起動レジスタ	R/W	0b00000000
0x0FA5	REVC	8/16 ビット PPG 出力反転レジスタ	R/W	0b00000000
0x0FA6	TMRH0	16 ビットリロードタイマレジスタ (上位) ch. 0	R/W	0b00000000
	TMRLRH0	16 ビットリロードタイマリロードレジスタ (上位) ch. 0		
0x0FA7	TMRL0	16 ビットリロードタイマレジスタ (下位) ch. 0	R/W	0b00000000
	TMRLRL0	16 ビットリロードタイマリロードレジスタ (下位) ch. 0		
0x0FA8	PSSR0	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータプリスケラ選択レジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0FA9	BRSR0	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータボーレート設定レジスタ ch. 0	R/W	0b00000000
0x0FAA	PSSR1	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータプリスケラ選択レジスタ ch. 1	R/W	0b00000000
0x0FAB	BRSR1	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータボーレート設定レジスタ ch. 1	R/W	0b00000000
0x0FAC	PSSR2	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータプリスケラ選択レジスタ ch. 2	R/W	0b00000000
0x0FAD	BRSR2	UART/SIO 専用ボーレートジェネレータボーレート設定レジスタ ch. 2	R/W	0b00000000
0x0FAE	—	(使用禁止)	—	—
0x0FAF	AIDRL	A/D 入力禁止レジスタ (下位)	R/W	0b00000000

アドレス	レジスタ略称	レジスタ名称	R/W	初期値
0x0FB0	LCDCC1	LCDC 制御レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x0FB1	—	(使用禁止)	—	—
0x0FB2	LCDCE1	LCDC 許可レジスタ 1	R/W	0b00111110
0x0FB3	LCDCE2	LCDC 許可レジスタ 2	R/W	0b00000000
0x0FB4	LCDCE3	LCDC 許可レジスタ 3	R/W	0b00000000
0x0FB5	LCDCE4	LCDC 許可レジスタ 4	R/W	0b00000000
0x0FB6	LCDCE5	LCDC 許可レジスタ 5	R/W	0b00000000
0x0FB7	LCDCE6	LCDC 許可レジスタ 6	R/W	0b00000000
0x0FB8	—	(使用禁止)	—	—
0x0FB9	LCDCB1	LCDC ブリンキング設定レジスタ 1	R/W	0b00000000
0x0FBA	LCDCB2	LCDC ブリンキング設定レジスタ 2	R/W	0b00000000
0x0FBB, 0x0FBC	—	(使用禁止)	—	—
0x0FBD ～ 0x0FD8	LCDRAM	LCDC ディスプレイ RAM (28 バイト)	R/W	0b00000000
0x0FD9 ～ 0x0FE1	—	(使用禁止)	—	—
0x0FE2	EVCR	イベントカウンタ制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0FE3	WCDR	時計カウンタデータレジスタ	R/W	0b00111111
0x0FE4	CRTH	メイン CR クロックトリミングレジスタ (上位)	R/W	0b000XXXXX
0x0FE5	CRTL	メイン CR クロックトリミングレジスタ (下位)	R/W	0b000XXXXX
0x0FE6	SYSC2	システム構成レジスタ 2	R/W	0b00000000
0x0FE7	CRTDA	メイン CR クロック温度依存補正レジスタ	R/W	0b000XXXXX
0x0FE8	SYSC	システム構成レジスタ	R/W	0b00111111
0x0FE9	CMCR	クロック監視制御レジスタ	R/W	0b00000000
0x0FEA	CMDR	クロック監視データレジスタ	R	0b00000000
0x0FEB	WDTH	ウォッチドッグタイマ選択 ID レジスタ (上位)	R	0bXXXXXXXXXX
0x0FEC	WDTL	ウォッチドッグタイマ選択 ID レジスタ (下位)	R	0bXXXXXXXXXX
0x0FED, 0x0FEE	—	(使用禁止)	—	—
0x0FEF	WICR	割込み端子選択回路制御レジスタ	R/W	0b01000000
0x0FF0 ～ 0x0FFF	—	(使用禁止)	—	—

• R/W についての説明

R/W : リード/ライト可能

R : リードオンリ

• 初期値についての説明

0 : このビットの初期値は“0”です。

1 : このビットの初期値は“1”です。

X : このビットの初期値は不定です。

(注意事項) 「(使用禁止)」 のアドレスへの書込みは行わないでください。「(使用禁止)」 のアドレスを読み出した場合は不定値が読み出されます。

18. I/O ポート (MB95710L シリーズ)

・ポートレジスタ一覧

レジスタ名称		リード / ライト	初期値
ポート 0 データレジスタ	PDR0	R, RM/W	0b00000000
ポート 0 方向レジスタ	DDR0	R/W	0b00000000
ポート 1 データレジスタ	PDR1	R, RM/W	0b00000000
ポート 1 方向レジスタ	DDR1	R/W	0b00000000
ポート 2 データレジスタ	PDR2	R, RM/W	0b00000000
ポート 2 方向レジスタ	DDR2	R/W	0b00000000
ポート 4 データレジスタ	PDR4	R, RM/W	0b00000000
ポート 4 方向レジスタ	DDR4	R/W	0b00000000
ポート 5 データレジスタ	PDR5	R, RM/W	0b00000000
ポート 5 方向レジスタ	DDR5	R/W	0b00000000
ポート 6 データレジスタ	PDR6	R, RM/W	0b00000000
ポート 6 方向レジスタ	DDR6	R/W	0b00000000
ポート 9 データレジスタ	PDR9	R, RM/W	0b00000000
ポート 9 方向レジスタ	DDR9	R/W	0b00000000
ポート A データレジスタ	PDRA	R, RM/W	0b00000000
ポート A 方向レジスタ	DDRA	R/W	0b00000000
ポート B データレジスタ	PDRB	R, RM/W	0b00000000
ポート B 方向レジスタ	DDRB	R/W	0b00000000
ポート C データレジスタ	PDRC	R, RM/W	0b00000000
ポート C 方向レジスタ	DDRC	R/W	0b00000000
ポート E データレジスタ	PDRE	R, RM/W	0b00000000
ポート E 方向レジスタ	DDRE	R/W	0b00000000
ポート F データレジスタ	PDRF	R, RM/W	0b00000000
ポート F 方向レジスタ	DDRF	R/W	0b00000000
ポート G データレジスタ	PDRG	R, RM/W	0b00000000
ポート G 方向レジスタ	DDRG	R/W	0b00000000
ポート 1 プルアップレジスタ	PUL1	R/W	0b00000000
ポート 2 プルアップレジスタ	PUL2	R/W	0b00000000
ポート 5 プルアップレジスタ	PUL5	R/W	0b00000000
ポート G プルアップレジスタ	PULG	R/W	0b00000000
A/D 入力禁止レジスタ (下位)	AIDRL	R/W	0b00000000

R/W : リード/ライト可能 (読出し値は書き込み値)

R, RM/W : リード/ライト可能 (読出し値は書き込み値と異なります。書き込み値は、リードモディファイライト (RMW) 系命令によって、読み出されます。)

18.1 ポート 0

ポート 0 は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

18.1.1 ポート 0 の構成

ポート 0 は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート 0 データレジスタ (PDR0)
- ポート 0 方向レジスタ (DDR0)
- A/D 入力禁止レジスタ (下位) (AIDRL)

18.1.2 ポート 0 のブロックダイアグラム

• P00/INT00/AN00/UO2 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 外部割込み入力端子 (INT00)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN00)
- UART/SIO ch. 2 データ出力端子 (UO2)

• P02/INT02/AN02/SEG35/UCK2 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 外部割込み入力端子 (INT02)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN02)
- LCDC SEG35 出力端子 (SEG35)
- UART/SIO ch. 2 クロック入出力端子 (UCK2)

• P03/INT03/AN03/SEG34/UO1 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 外部割込み入力端子 (INT03)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN03)
- LCDC SEG34 出力端子 (SEG34)
- UART/SIO ch. 1 データ出力端子 (UO1)

• P05/INT05/AN05/SEG32/UCK1 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 外部割込み入力端子 (INT05)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN05)
- LCDC SEG32 出力端子 (SEG32)
- UART/SIO ch. 1 クロック入出力端子 (UCK1)

• P06/INT06/AN06/SEG31 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

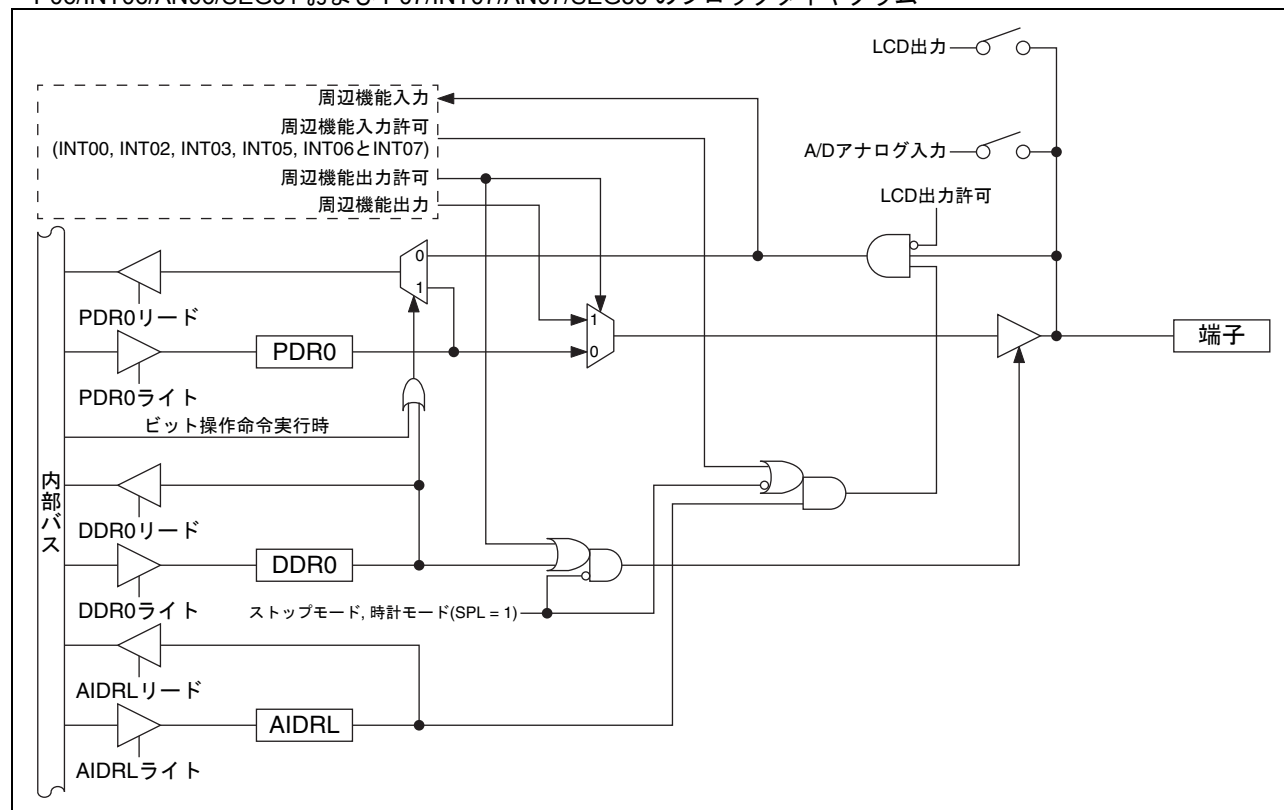
- 外部割込み入力端子 (INT06)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN06)
- LCDC SEG31 出力端子 (SEG31)

• P07/INT07/AN07/SEG30 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

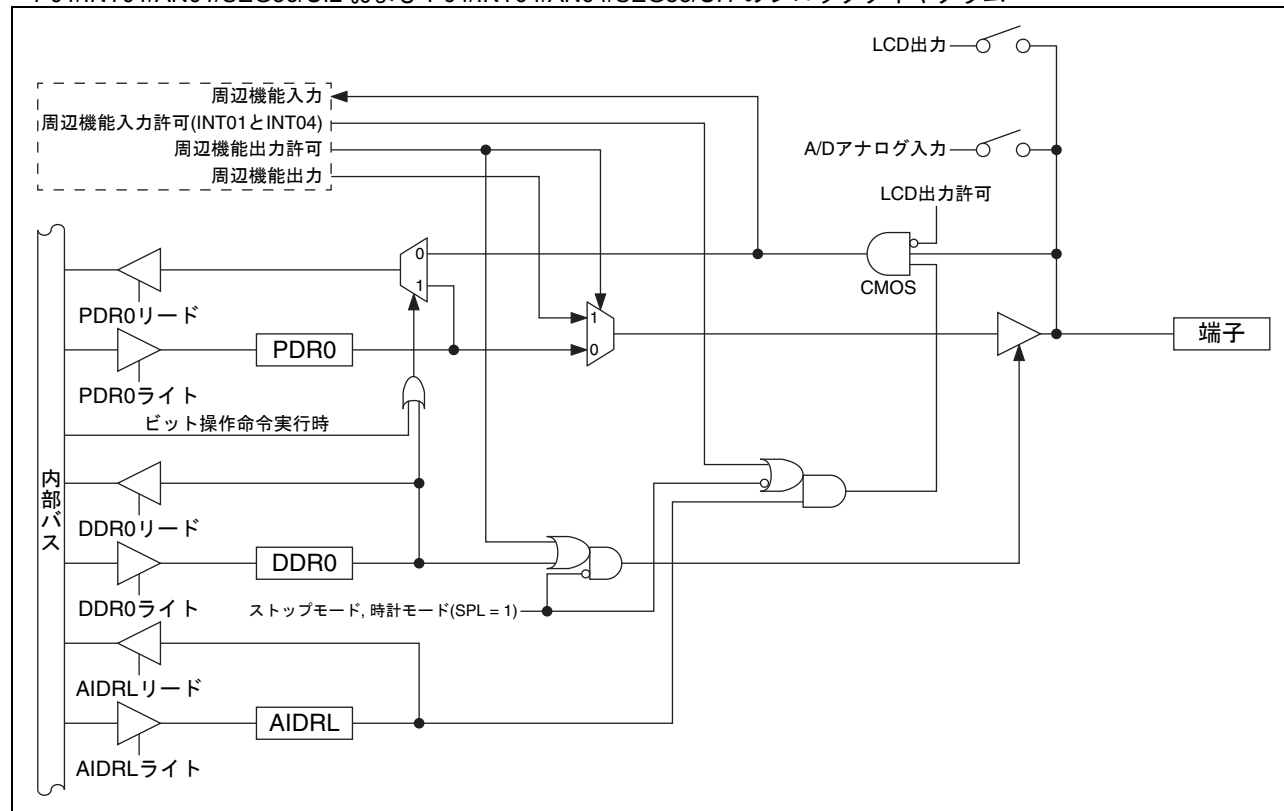
- 外部割込み入力端子 (INT07)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN07)
- LCDC SEG30 出力端子 (SEG30)

- P00/INT00/AN00/UO2, P02/INT02/AN02/SEG35/UCK2, P03/INT03/AN03/SEG34/UO1, P05/INT05/AN05/SEG32/UCK1, P06/INT06/AN06/SEG31 および P07/INT07/AN07/SEG30 のブロックダイアグラム



- P01/INT01/AN01/SEG36/UI2 端子
 本端子には以下の周辺機能があります。
 - 外部割込み入力端子 (INT01)
 - 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN01)
 - LCDC SEG36 出力端子 (SEG36)
 - UART/SIO ch. 2 データ入力端子 (UI2)
- P04/INT04/AN04/SEG33/UI1 端子
 本端子には以下の周辺機能があります。
 - 外部割込み入力端子 (INT04)
 - 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN04)
 - LCDC SEG33 出力端子 (SEG33)
 - UART/SIO ch. 1 データ入力端子 (UI1)

• P01/INT01/AN01/SEG36/UI2 および P04/INT04/AN04/SEG33/UI1 のブロックダイアグラム



18.1.3 ポート0のレジスタ

• ポート0のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR0	0	端子状態が“L”レベル	PDR0の値が“0”	出力ポート時は、“L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR0の値が“1”	出力ポート時は、“H”レベルを出力
DDR0	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		
AIDRL	0	アナログ入力許可		
	1	ポート入力許可		

• ポート0におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	P07	P06	P05	P04	P03	P02	P01	P00
PDR0								
DDR0	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
AIDRL								

18.1.4 ポート0の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR0 レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、その端子から PDR0 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR0 レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR0 レジスタを読み出すと、PDR0 レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[31:30]) または LCDC 許可レジスタ 7 の機能選択ビット (LCDCE7:SEG[36:32]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR0 レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- アナログ入力機能兼用端子を入力ポートとして使用している時は、A/D 入力禁止レジスタ (下位) (AIDRL) の対応するビットを“1”に設定してください。
- PDR0 レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDR0 レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR0 レジスタを読み出す場合は、PDR0 レジスタの値を読み出します。
- LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[31:30]) または LCDC 許可レジスタ 7 の機能選択ビット (LCDCE7:SEG[36:32]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• 周辺機能出力端子としての動作

- 端子に対応する周辺機能に出力許可ビットを設定し、周辺出力機能を許可すると、その端子は、周辺機能出力端子となります。
- 周辺機能出力を許可した場合でも、PDR0 レジスタから端子の値を読み出せます。したがって、PDR0 レジスタの読み出し動作により、周辺機能の出力値を読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR0 レジスタを読み出す場合は、PDR0 レジスタの値を読み出します。

• 周辺機能入力端子としての動作

- 端子を入力ポートとして設定するには、周辺機能の入力端子に対応する DDR0 レジスタのビットを“0”に設定します。
- アナログ入力機能兼用端子をそのほかの周辺機能入力端子として使用する場合は、入力ポートの動作と同様に、その端子を入力ポートとして設定してください。
- 周辺機能がその端子を入力端子として使用しているかどうかに関係なく、PDR0 レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令では、PDR0 レジスタの値を読み出します。

• LCDC セグメント出力端子としての動作

- LCDC セグメント出力端子に対応する DDR0 レジスタのビットを“0”に設定してください。
- 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC セグメント出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[31:30]) または LCDC 許可レジスタ 7 の機能選択ビット (LCDCE7:SEG[36:32]) を“1”に設定して LCDC セグメント出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDR0 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。アナログ入力機能兼用端子については、AIDRL レジスタが“0”に初期化されるため、ポート入力は禁止された状態になります。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR0 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。ただし、外部割込み (INT00 ~ INT07) による割込み入力が許可されている場合、入力可能になり入力は遮断されません。
- 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

- アナログ入力端子としての動作
 - アナログ入力端子に対応する DDR0 レジスタのビットに“0”を、AIDRL レジスタのその端子に対応するビットに“0”を設定してください。
 - ほかの周辺機能と兼用されている端子で、それらの周辺機能の出力は禁止されます。
- 外部割込み入力端子としての動作
 - 外部割込み入力端子に対応する DDR0 レジスタのビットを“0”に設定してください。
 - 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
 - 端子の値は常に外部割込み回路に入力されます。端子を割込み以外の機能に使用する場合は、その端子に対応する外部割込み機能を禁止にします。

18.2 ポート 1

ポート 1 は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

18.2.1 ポート 1 の構成

ポート 1 は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート 1 データレジスタ (PDR1)
- ポート 1 方向レジスタ (DDR1)
- ポート 1 プルアップレジスタ (PUL1)

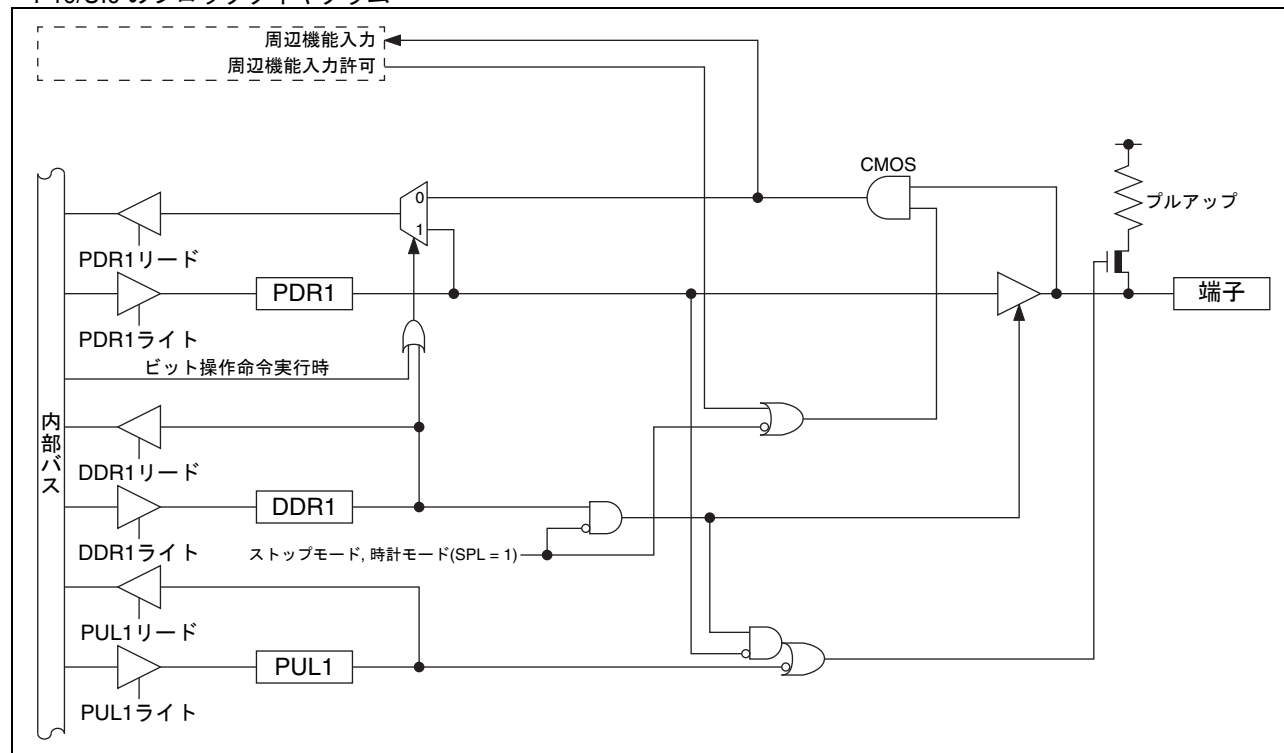
18.2.2 ポート 1 のブロックダイアグラム

• P10/UI0 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- UART/SIO ch. 0 データ入力端子 (UI0)

• P10/UI0 のブロックダイアグラム

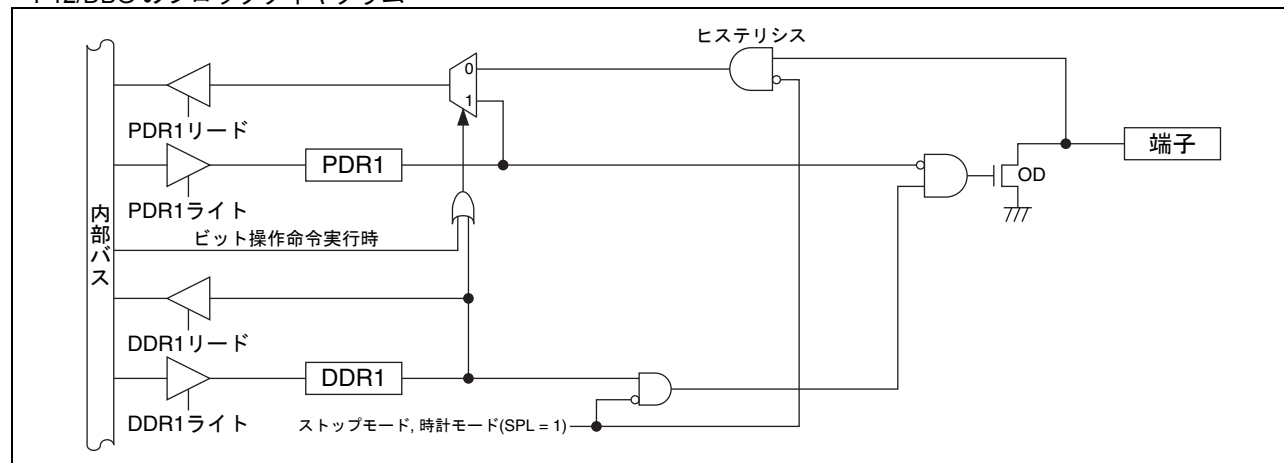


• P12/DBG 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- DBG 入力端子 (DBG)

• P12/DBG のブロックダイアグラム



• P11/UO0 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- UART/SIO ch. 0 データ出力端子 (UO0)

• P13/ADTG 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 8/12 ビット A/D コンバータトリガ入力端子 (ADTG)

• P14/UCK0 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

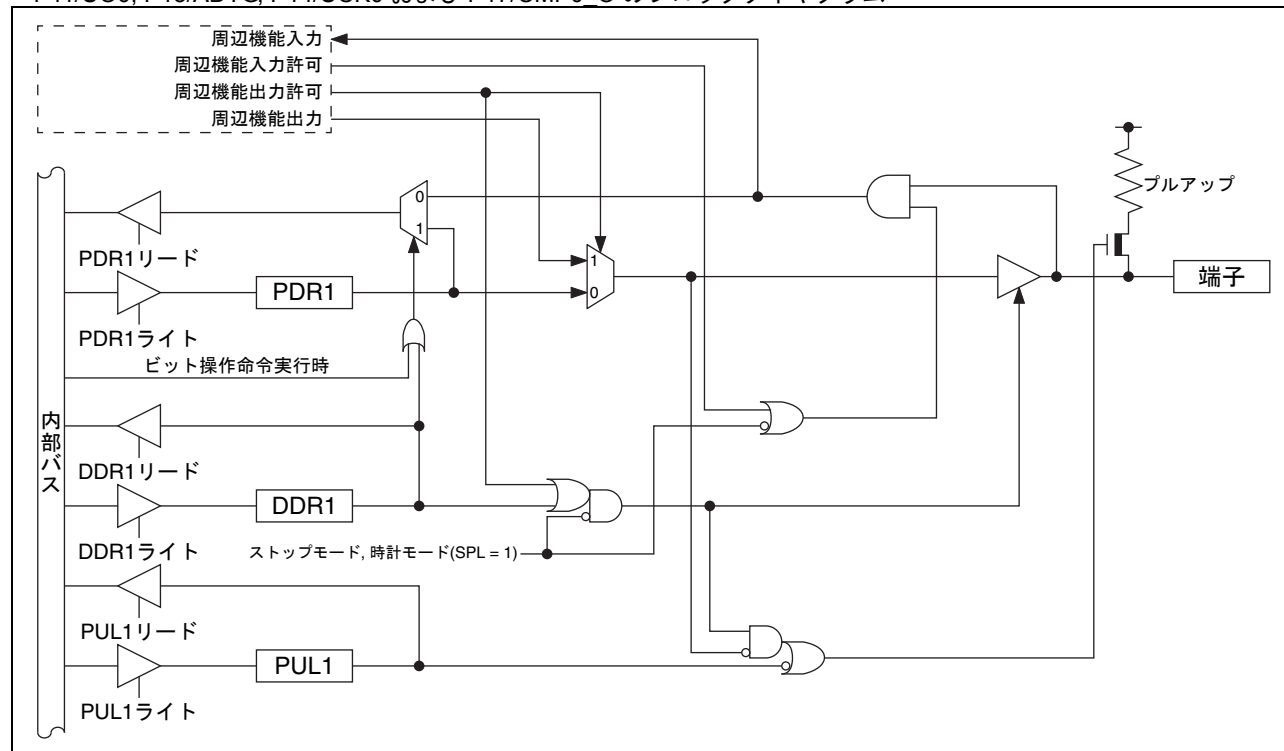
- UART/SIO ch. 0 クロック入出力端子 (UCK0)

• P17/CMP0_O 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- コンパレータ ch. 0 デジタル出力端子 (CMP0_O)

• P11/UO0, P13/ADTG, P14/UCK0 および P17/CMP0 のブロックダイアグラム



• P15/PPG11 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

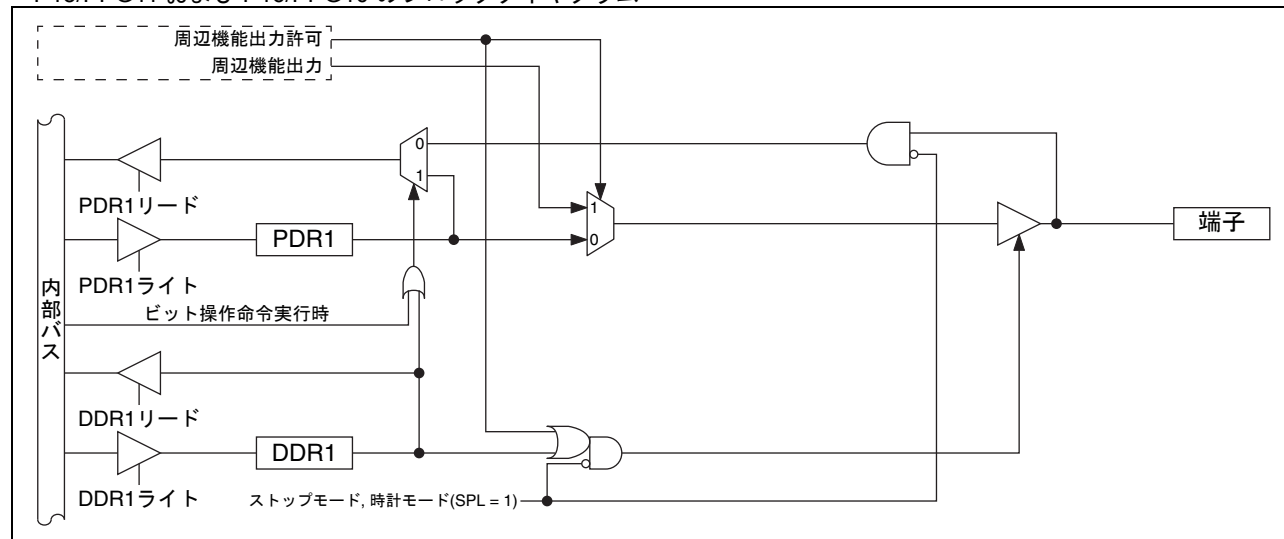
- 8/16 ビット PPG ch. 1 出力端子 (PPG11)

• P16/PPG10 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 8/16 ビット PPG ch. 1 出力端子 (PPG10)

• P15/PPG11 および P16/PPG10 のブロックダイアグラム



18.2.3 ポート1のレジスタ

・ポート1のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR1	0	端子状態が“L”レベル	PDR1の値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR1の値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力 *
DDR1	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		
PUL1	0	プルアップ禁止		
	1	プルアップ許可		

*: N-ch オープンドレイン端子では, 端子状態は Hi-Z になります。

・ポート1におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	P17	P16	P15	P14	P13	P12	P11	P10
PDR1	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
DDR1								
PUL1		-	-			-		

18.2.4 ポート1の動作

・出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR1 レジスタのビットを“1”に設定すると, その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては, その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は, その端子から PDR1 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR1 レジスタにデータを書き込むと, その値は出力ラッチに保持され, そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR1 レジスタを読み出すと, PDR1 レジスタの値が読み出されます。

・入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR1 レジスタのビットを“0”に設定すると, その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては, その出力を禁止してください。
- PDR1 レジスタにデータを書き込むと, その値が出力ラッチに保持されますが, 入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDR1 レジスタを読み出すと, 端子の値が読み出されます。ただし, リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR1 レジスタを読み出す場合は, PDR1 レジスタの値を読み出します。

・周辺機能出力端子としての動作

- 端子に対応する周辺機能に出力許可ビットを設定し, 周辺出力機能を許可すると, その端子は, 周辺機能出力端子となります。
- 周辺機能出力を許可した場合でも, PDR1 レジスタから端子の値を読み出せます。したがって, PDR1 レジスタの読出し動作により, 周辺機能の出力値を読み出せます。ただし, リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR1 レジスタを読み出す場合は, PDR1 レジスタの値を読み出します。

・周辺機能入力端子としての動作

- 端子を入力ポートとして設定するには, 周辺機能の入力端子に対応する DDR1 レジスタのビットを“0”に設定します。
- 周辺機能がその端子を入力端子として使用しているかどうかに関係なく, PDR1 レジスタを読み出すと, 端子の値が読み出されます。ただし, リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR1 レジスタを読み出す場合は, PDR1 レジスタの値を読み出します。

・リセット時の動作

CPU がリセットされると, DDR1 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され, ポート入力が許可されます。

- **ストップモードおよび時計モード時の動作**

- スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR1 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。ただし、外部割込み回路の外部割込み制御レジスタ ch. 0 (EIC00) と割込み端子選択回路の割込み端子選択回路制御レジスタ (WICR) による P10/UI0 と P14/UCK0 との割込み入力が許可されている場合、入力は可能になり、かつ遮断されません。
- 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

- **プルアップレジスタの動作**

PUL1 レジスタのビットに“1”を設定すると、プルアップ抵抗は端子に内部接続されます。端子出力が“L”レベルのときは、PUL1 レジスタの値にかかわらず、プルアップ抵抗は切断されます。

18.3 ポート 2

ポート 2 は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

18.3.1 ポート 2 の構成

ポート 2 は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート 2 データレジスタ (PDR2)
- ポート 2 方向レジスタ (DDR2)
- ポート 2 プルアップレジスタ (PUL2)

18.3.2 ポート 2 のブロックダイアグラム

- **P20/PPG00/CMP0_N 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

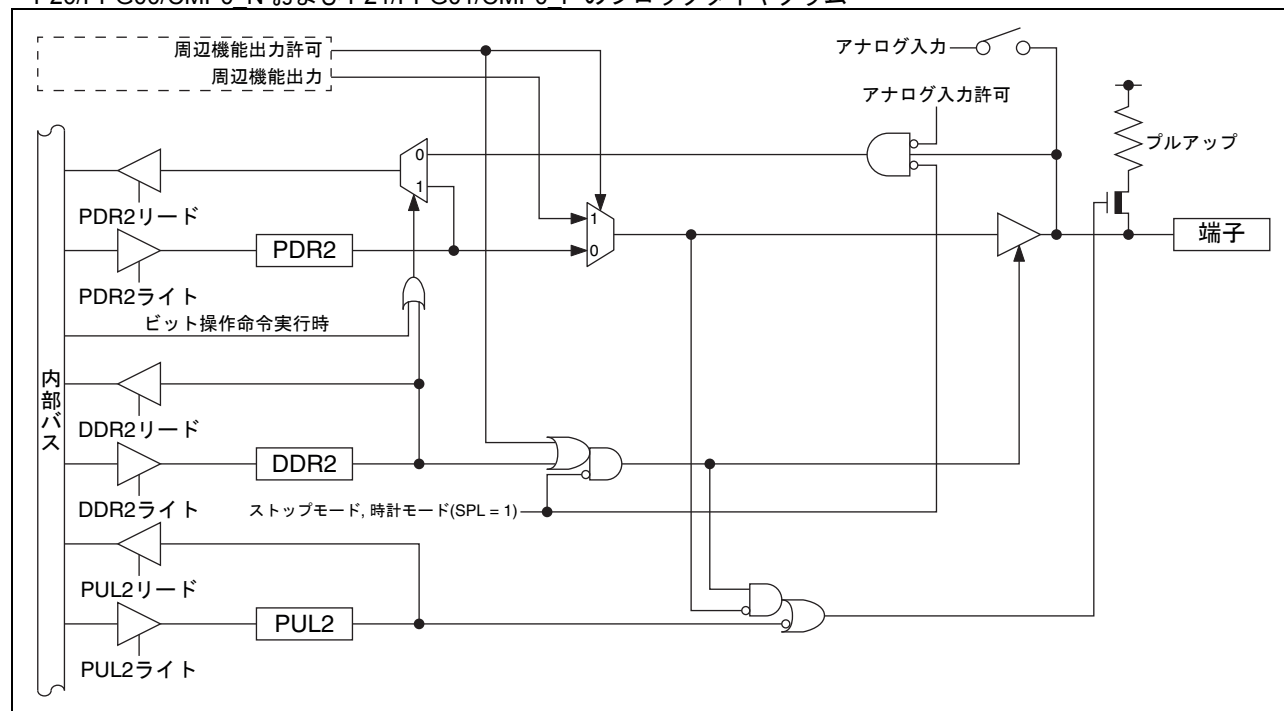
- 8/16 ビット PPG ch. 0 出力端子 (PPG00)
- コンパレータ ch. 0 反転アナログ入力 (負入力) 端子 (CMP0_N)

- **P21/PPG01/CMP0_P 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- 8/16 ビット PPG ch. 0 出力端子 (PPG01)
- コンパレータ ch. 0 非反転アナログ入力 (正入力) 端子 (CMP0_P)

• P20/PPG00/CMP0 N および P21/PPG01/CMP0 P のブロックダイアグラム



• P22/SCL 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

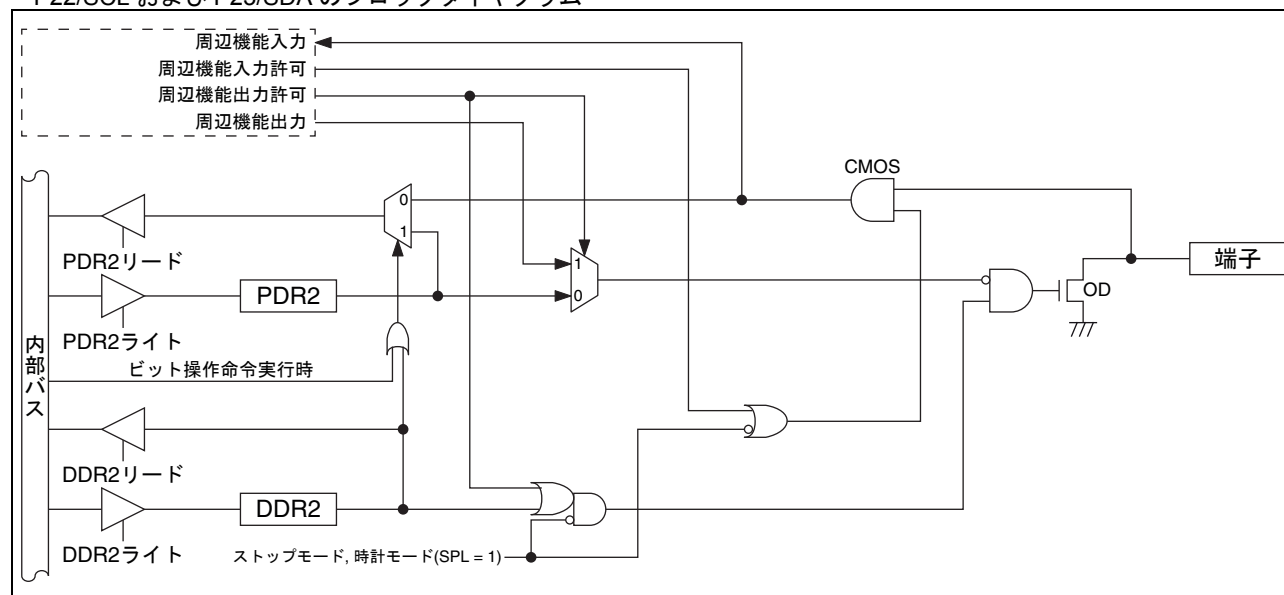
- I²C バスインタフェース ch. 0 クロック入出力端子 (SCL)

• P23/SDA 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- I²C バスインタフェース ch. 0 データ入出力端子 (SDA)

• P22/SCL および P23/SDA のブロックダイアグラム



18.3.3 ポート2のレジスタ

・ポート2のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR2	0	端子状態が“L”レベル	PDR2の値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR2の値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力 *
DDR2	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		
PUL2	0	プルアップ禁止		
	1	プルアップ許可		

*: N-ch オープンドレイン端子では, 端子状態は Hi-Z になります。

・ポート2におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	-	-	-	-	P23	P22	P21	P20
PDR2	-	-	-	-	bit3	bit2	bit1	bit0
DDR2					-			
PUL2								

18.3.4 ポート2の動作

・出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR2 レジスタのビットを“1”に設定すると, その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては, その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は, その端子から PDR2 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR2 レジスタにデータを書き込むと, その値は出力ラッチに保持され, そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR2 レジスタを読み出すと, PDR2 レジスタの値が読み出されます。

・入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR2 レジスタのビットを“0”に設定すると, その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては, その出力を禁止してください。
- PDR2 レジスタにデータを書き込むと, その値が出力ラッチに保持されますが, 入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDR2 レジスタを読み出すと, 端子の値が読み出されます。ただし, リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR2 レジスタを読み出す場合は, PDR2 レジスタの値を読み出します。

・周辺機能出力端子としての動作

- 端子に対応する周辺機能に出力許可ビットを設定し, 周辺出力機能を許可すると, その端子は, 周辺機能出力端子となります。
- 周辺機能出力を許可した場合でも, PDR2 レジスタから端子の値を読み出せます。したがって, PDR2 レジスタの読出し動作により, 周辺機能の出力値を読み出せます。ただし, リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR2 レジスタを読み出す場合は, PDR2 レジスタの値を読み出します。

・周辺機能入力端子としての動作

- 端子を入力ポートとして設定するには, 周辺機能の入力端子に対応する DDR2 レジスタのビットを“0”に設定します。
- 周辺機能がその端子を入力端子として使用しているかどうかに関係なく, PDR2 レジスタを読み出すと, 端子の値が読み出されます。ただし, リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR2 レジスタを読み出す場合は, PDR2 レジスタの値を読み出します。

・リセット時の動作

CPU がリセットされると, DDR2 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され, ポート入力 that 許可されます。

- **ストップモードおよび時計モード時の動作**
 - スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が “1” に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR2 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は “L” レベルに固定され、遮断されます。
 - 端子状態設定ビットが “0” の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。
- **プルアップレジスタの動作**
PUL2 レジスタのビットに “1” を設定すると、プルアップ抵抗は端子に内部接続されます。端子出力が “L” レベルのときは、PUL2 レジスタの値にかかわらず、プルアップ抵抗は切断されます。
- **コンパレータ入力端子としての動作**
 - PDR2 レジスタ設定と DDR2 レジスタ設定に関係なく、コンパレータ制御レジスタ ch.0 のコンパレータアナログ入力許可ビット (CMR0:VCID) を “0” に設定すると、コンパレータ入力機能が許可されます。
 - コンパレータ入力機能を禁止するには、VCID ビットを “1” に設定してください。
 - コンパレータの詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」の「第 29 章 コンパレータ」を参照してください。

18.4 ポート 4

ポート 4 は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

18.4.1 ポート 4 の構成

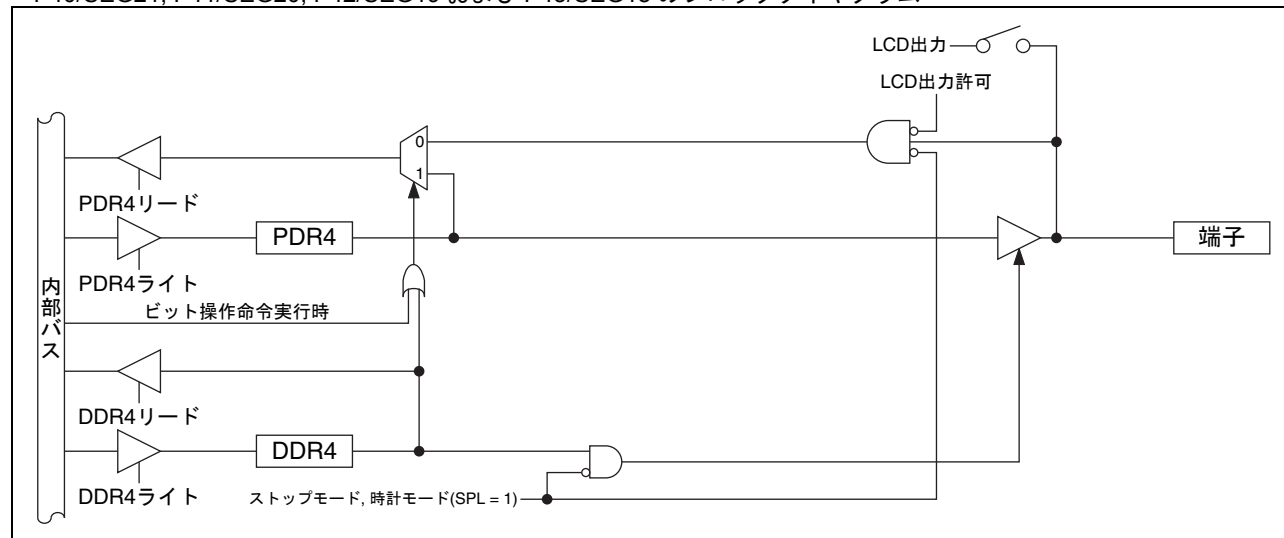
ポート 4 は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート 4 データレジスタ (PDR4)
- ポート 4 方向レジスタ (DDR4)

18.4.2 ポート 4 のブロックダイアグラム

- **P40/SEG21 端子**
本端子には以下の周辺機能があります。
 - LCDC SEG21 出力端子 (SEG21)
- **P41/SEG20 端子**
本端子には以下の周辺機能があります。
 - LCDC SEG20 出力端子 (SEG20)
- **P42/SEG19 端子**
本端子には以下の周辺機能があります。
 - LCDC SEG19 出力端子 (SEG19)
- **P43/SEG18 端子**
本端子には以下の周辺機能があります。
 - LCDC SEG18 出力端子 (SEG18)

• P40/SEG21, P41/SEG20, P42/SEG19 および P43/SEG18 のブロックダイアグラム



18.4.3 ポート4のレジスタ

• ポート4のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR4	0	端子状態が“L”レベル	PDR4の値が“0”	出力ポート時は、“L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR4の値が“1”	出力ポート時は、“H”レベルを出力
DDR4	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

• ポート4におけるレジスタと端子との関係

		関連するレジスタのビットと端子との関係						
端子名	-	-	-	-	P43	P42	P41	P40
PDR4	-	-	-	-	bit3	bit2	bit1	bit0
DDR4	-	-	-	-				

18.4.4 ポート4の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR4 レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、その端子から PDR4 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR4 レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR4 レジスタを読み出すと、PDR4 レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[21:18]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

- **入力ポートとしての動作**
 - 端子に対応する DDR4 レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
 - 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
 - PDR4 レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
 - PDR4 レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR4 レジスタを読み出す場合は、PDR4 レジスタの値を読み出します。
 - LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[21:18]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。
- **LCDC セグメント出力端子としての動作**
 - LCDC セグメント出力端子に対応する DDR4 レジスタのビットを“0”に設定してください。
 - 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC セグメント出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[21:18]) を“1”に設定して LCDC セグメント出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。
- **リセット時の動作**

CPU がリセットされると、DDR4 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。
- **ストップモードおよび時計モード時の動作**
 - スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR4 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
 - 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

18.5 ポート 5

ポート 5 は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

18.5.1 ポート 5 の構成

ポート 5 は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート 5 データレジスタ (PDR5)
- ポート 5 方向レジスタ (DDR5)
- ポート 5 プルアップレジスタ (PUL5)

18.5.2 ポート 5 のブロックダイアグラム

• P50/TO01 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 8/16 ビット複合タイマ ch. 0 出力端子 (TO01)

• P51/EC0 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 8/16 ビット複合タイマ ch. 0 クロック入力端子 (EC0)

• P52/TI0/TO00 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

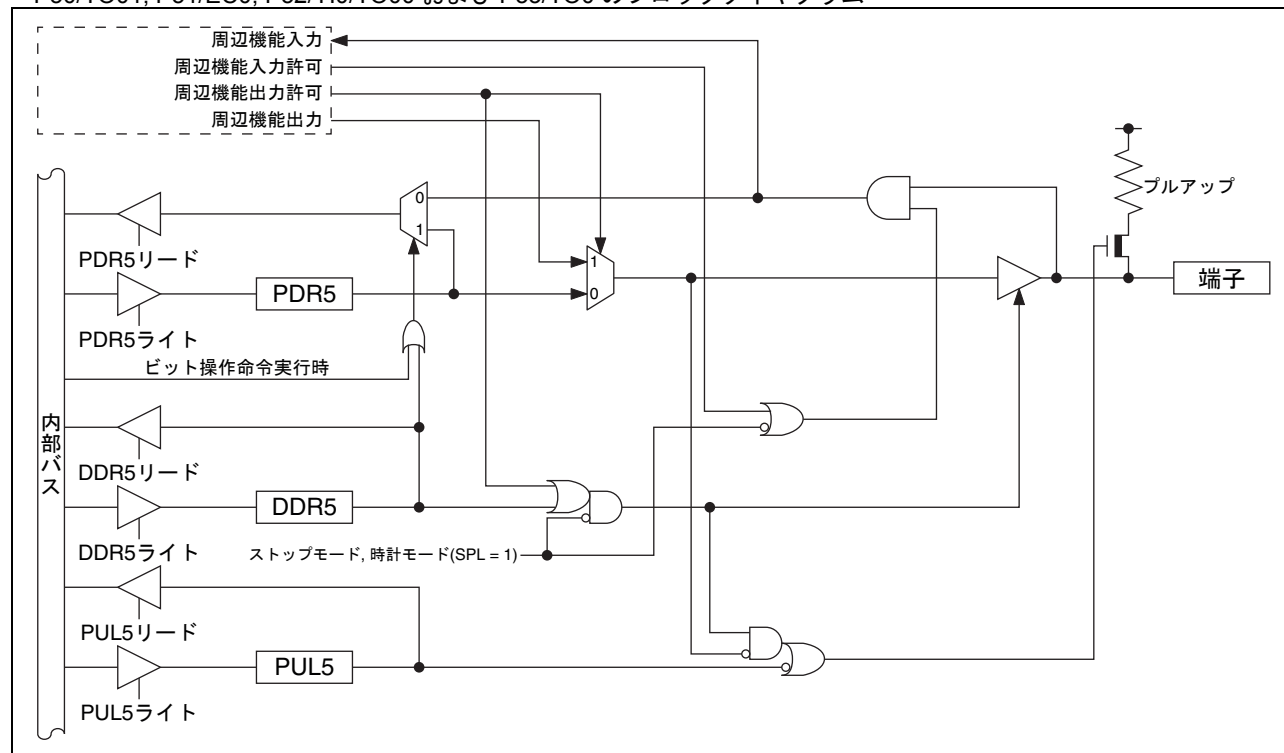
- 16 ビットリロードタイマ ch. 0 入力端子 (TI0)
- 8/16 ビット複合タイマ ch. 0 出力端子 (TO00)

• P53/TO0 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 16 ビットリロードタイマ ch. 0 出力端子 (TO0)

• P50/TO01, P51/EC0, P52/TI0/TO00 および P53/TO0 のブロックダイアグラム



18.5.3 ポート5のレジスタ

• ポート5のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR5	0	端子状態が“L”レベル	PDR5の値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR5の値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力
DDR5	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		
PUL5	0	プルアップ禁止		
	1	プルアップ許可		

• ポート5におけるレジスタと端子との関係

関連するレジスタのビットと端子との関係								
端子名	-	-	-	-	P53	P52	P51	P50
PDR5	-	-	-	-	bit3	bit2	bit1	bit0
DDR5								
PUL5								

18.5.4 ポート5の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR5 レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、その端子から PDR5 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR5 レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR5 レジスタを読み出すと、PDR5 レジスタの値が読み出されます。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR5 レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDR5 レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDR5 レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR5 レジスタを読み出す場合は、PDR5 レジスタの値を読み出します。

• 周辺機能出力端子としての動作

- 端子に対応する周辺機能に出力許可ビットを設定し、周辺出力機能を許可すると、その端子は、周辺機能出力端子となります。
- 周辺機能出力を許可した場合でも、PDR5 レジスタから端子の値を読み出せます。したがって、PDR5 レジスタの読出し動作により、周辺機能の出力値を読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR5 レジスタを読み出す場合は、PDR5 レジスタの値を読み出します。

• 周辺機能入力端子としての動作

- 端子を入力ポートとして設定するには、周辺機能の入力端子に対応する DDR5 レジスタのビットを“0”に設定します。
- 周辺機能がその端子を入力端子として使用しているかどうかに関係なく、PDR5 レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR5 レジスタを読み出す場合は、PDR5 レジスタの値を読み出します。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDR5 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR5 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

• プルアップレジスタの動作

PUL5 レジスタのビットに“1”を設定すると、プルアップ抵抗は端子に内部接続されます。端子出力が“L”レベルのときは、PUL5 レジスタの値にかかわらず、プルアップ抵抗は切断されます。

18.6 ポート6

ポート6は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

18.6.1 ポート6の構成

ポート6は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート6データレジスタ (PDR6)
- ポート6方向レジスタ (DDR6)

18.6.2 ポート 6 のブロックダイアグラム

• P60/SEG10 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG10 出力端子 (SEG10)

• P61/SEG11 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG11 出力端子 (SEG11)

• P62/SEG12 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG12 出力端子 (SEG12)

• P63/SEG13 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG13 出力端子 (SEG13)

• P64/SEG14 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG14 出力端子 (SEG14)

• P65/SEG15 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG15 出力端子 (SEG15)

• P66/SEG16 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

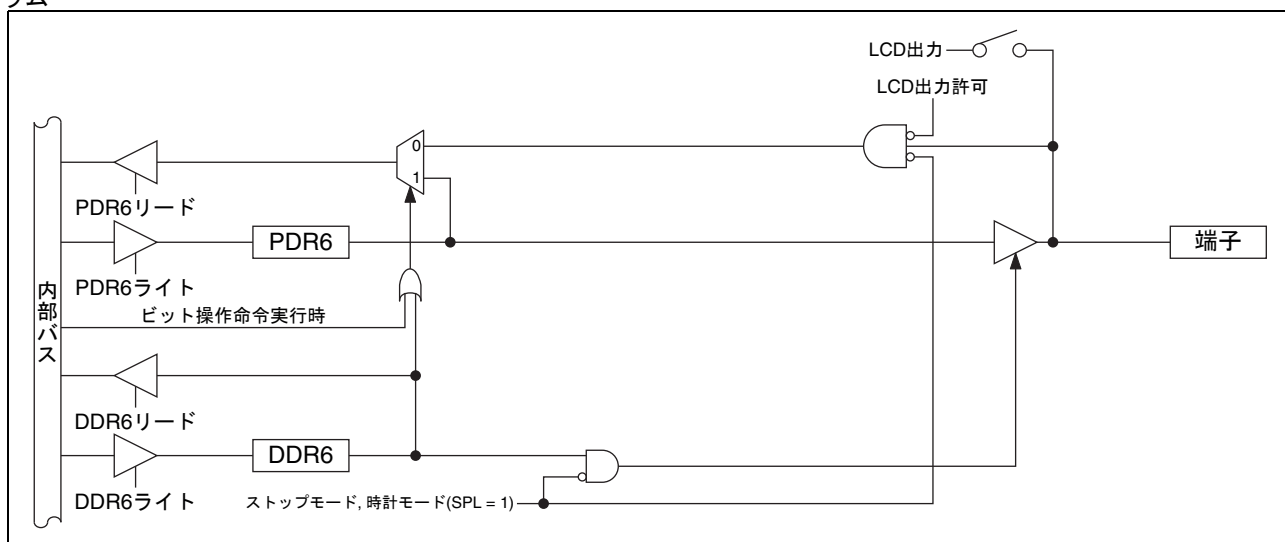
- LCDC SEG16 出力端子 (SEG16)

• P67/SEG17 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG17 出力端子 (SEG17)

• P60/SEG10, P61/SEG11, P62/SEG12, P63/SEG13, P64/SEG14, P65/SEG15, P66/SEG16 および P67/SEG17 のブロックダイアグラム



18.6.3 ポート 6 のレジスタ

• ポート 6 のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR6	0	端子状態が“L”レベル	PDR6 の値が“0”	出力ポート時は、“L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR6 の値が“1”	出力ポート時は、“H”レベルを出力
DDR6	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

• ポート 6 におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	P67	P66	P65	P64	P63	P62	P61	P60
PDR6	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
DDR6								

18.6.4 ポート 6 の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR6 レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、PDR6 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR6 レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR6 レジスタを読み出すと、PDR6 レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[15:10]) または LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[17:16]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR6 レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDR6 レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDR6 レジスタを読み出すと、端子の値が読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR6 レジスタを読み出す場合は、PDR6 レジスタの値を読み出します。
- LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[15:10]) または LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[17:16]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• LCDC セグメント出力端子としての動作

- LCDC セグメント出力端子に対応する DDR6 レジスタのビットを“0”に設定してください。
- 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC セグメント出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[15:10]) または LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[17:16]) を“1”に設定して LCDC セグメント出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• リセット時の動作

- CPU がリセットされると、DDR6 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力許可されます。

- **ストップモードおよび時計モード時の動作**

- スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR6 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

18.7 ポート 9

ポート 9 は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

18.7.1 ポート 9 の構成

ポート 9 は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート 9 データレジスタ (PDR9)
- ポート 9 方向レジスタ (DDR9)

18.7.2 ポート 9 のブロックダイアグラム

- **P90/V4 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCD 駆動電源端子 (V4)

- **P91/V3 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCD 駆動電源端子 (V3)

- **P92/V2 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCD 駆動電源端子 (V2)

- **P93/V1 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

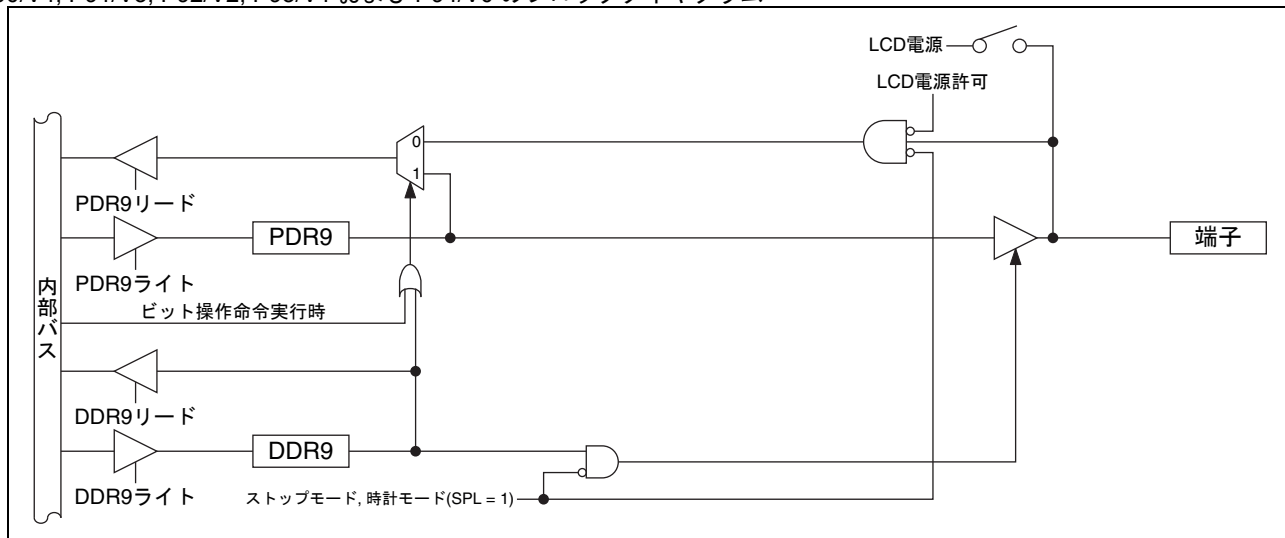
- LCD 駆動電源端子 (V1)

- **P94/V0 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCD 駆動電源端子 (V0)

- P90/V4, P91/V3, P92/V2, P93/V1 および P94/V0 のブロックダイアグラム



18.7.3 ポート 9 のレジスタ

- ポート 9 のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR9	0	端子状態が“L”レベル	PDR9 の値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR9 の値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力
DDR9	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

- ポート 9 におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	-	-	-	P94	P93	P92	P91	P90
PDR9	-	-	-	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
DDR9	-	-	-	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0

18.7.4 ポート 9 の動作

- 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR9 レジスタのビットを“1”に設定すると, その端子は出力ポートになります。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は, PDR9 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR9 レジスタにデータを書き込むと, その値は出力ラッチに保持され, そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR9 レジスタを読み出すと, PDR9 レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合, LCDC 許可レジスタ 1 (LCDCE1) の VE[4:0] ビットにある, その端子に対応するビットを“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択してください。

・入力ポートとしての動作

- ・ 端子に対応する DDR9 レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- ・ PDR9 レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- ・ PDR9 レジスタを読み出すと、端子の値を読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR9 レジスタを読み出す場合は、PDR9 レジスタの値を読み出します。
- ・ LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、LCDCE1 レジスタ 1 の VE[4:0] ビットにある、その端子に対応するビットを“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択してください。

・リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDR9 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

・ストップモードおよび時計モード時の動作

- ・ スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR9 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- ・ 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

・LCD 駆動電源端子としての動作

- ・ LCD 駆動電源端子に対応する DDR9 レジスタのビットを“0”に設定してください。
- ・ 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCD 駆動電源端子として使用する場合、LCDCE1 レジスタの VE[4:0] ビットにある、その端子に対応するビットを“1”に設定して LCD 駆動電源機能を選択してください。

18.8 ポート A

ポート A は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

18.8.1 ポート A の構成

ポート A は以下の要素から構成されます。

- ・ 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ・ ポート A データレジスタ (PDRA)
- ・ ポート A 方向レジスタ (DDRA)

18.8.2 ポート A のブロックダイアグラム**・ PA0/COM0 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・ LCDC COM0 出力端子 (COM0)

・ PA1/COM1 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・ LCDC COM1 出力端子 (COM1)

・ PA2/COM2 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・ LCDC COM2 出力端子 (COM2)

・ PA3/COM3 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

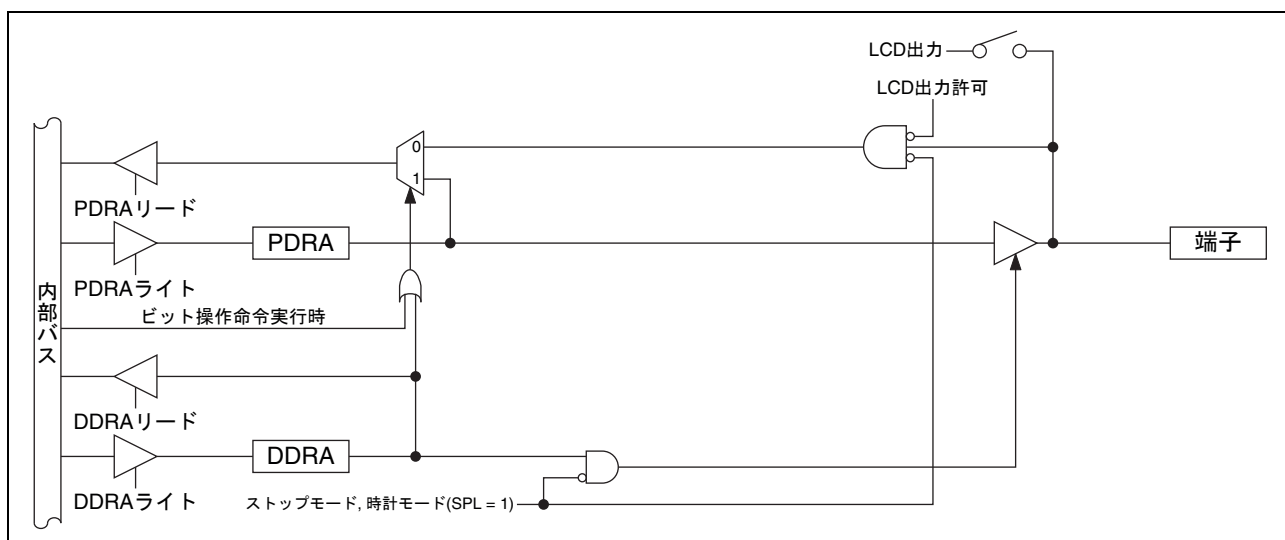
- ・ LCDC COM3 出力端子 (COM3)

・ PA4/COM4 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・ LCDC COM4 出力端子 (COM4)

- **PA5/COM5 端子**
本端子には以下の周辺機能があります。
 - LCDC COM5 出力端子 (COM5)
- **PA6/COM6 端子**
本端子には以下の周辺機能があります。
 - LCDC COM6 出力端子 (COM6)
- **PA7/COM7 端子**
本端子には以下の周辺機能があります。
 - LCDC COM7 出力端子 (COM7)
- **PA0/COM0, PA1/COM1, PA2/COM2, PA3/COM3, PA4/COM4, PA5/COM5, PA6/COM6 および PA7/COM7 のブロックダイアグラム**



18.8.3 ポートAのレジスタ

- ポートAのレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDRA	0	端子状態が“L”レベル	PDRAの値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDRAの値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力
DDRA	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

- ポートAにおけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	PA7	PA6	PA5	PA4	PA3	PA2	PA1	PA0
PDRA	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
DDRA								

18.8.4 ポート A の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRA レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、PDRA レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRA レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRA レジスタを読み出すと、PDRA レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 2 の機能選択ビット (LCDCE2:COM[7:0]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRA レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDRA レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRA レジスタを読み出すと、端子の値が読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRA レジスタを読み出す場合は、PDRA レジスタの値を読み出します。
- LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 2 の機能選択ビット (LCDCE2:COM[7:0]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• LCDC コモン出力端子としての動作

- LCDC コモン出力端子に対応する DDRA レジスタのビットを“0”に設定してください。
- 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC コモン出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 2 の機能選択ビット (LCDCE2:COM[7:0]) を“1”に設定して LCDC コモン出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDRA レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRA レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

18.9.3 ポート B のレジスタ

• ポート B のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDRB	0	端子状態が“L”レベル	PDRB の値が“0”	出力ポート時は、“L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDRB の値が“1”	出力ポート時は、“H”レベルを出力
DDRB	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

• ポート B におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	-	-	-	PB4	PB3	PB2	PB1	PB0
PDRB	-	-	-	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
DDRB	-	-	-					

18.9.4 ポート B の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRB レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、PDRB レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRB レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRB レジスタを読み出すと、PDRB レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[01:00]) または LCDC 許可レジスタ 7 の機能選択ビット (LCDCE7:SEG[39:37]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRB レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDRB レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRB レジスタを読み出すと、端子の値が読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRB レジスタを読み出す場合は、PDRB レジスタの値を読み出します。
- LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[01:00]) または LCDC 許可レジスタ 7 の機能選択ビット (LCDCE7:SEG[39:37]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• LCDC セグメント出力端子としての動作

- LCDC セグメント出力端子に対応する DDRB レジスタのビットを“0”に設定してください。
- 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC セグメント出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[01:00]) または LCDC 許可レジスタ 7 の機能選択ビット (LCDCE7:SEG[39:37]) を“1”に設定して LCDC セグメント出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• リセット時の動作

- CPU がリセットされると、DDRB レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

- **ストップモードおよび時計モード時の動作**

- スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRB レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

18.10 ポート C

ポート C は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

18.10.1 ポート C の構成

ポート C は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート C データレジスタ (PDRC)
- ポート C 方向レジスタ (DDRC)

18.10.2 ポート C のブロックダイアグラム

- **PC0/SEG02 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG02 出力端子 (SEG02)

- **PC1/SEG03 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG03 出力端子 (SEG03)

- **PC2/SEG04 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG04 出力端子 (SEG04)

- **PC3/SEG05 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG05 出力端子 (SEG05)

- **PC4/SEG06 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG06 出力端子 (SEG06)

- **PC5/SEG07 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG07 出力端子 (SEG07)

- **PC6/SEG08 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG08 出力端子 (SEG08)

- **PC7/SEG09 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG09 出力端子 (SEG09)

18.10.4 ポート C の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRC レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、PDRC レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRC レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRC レジスタを読み出すと、PDRC レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[07:02]) または LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[09:08]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRC レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDRC レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRC レジスタを読み出すと、端子の値が読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRC レジスタを読み出す場合は、PDRC レジスタの値を読み出します。
- LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[07:02]) または LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[09:08]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• LCDC セグメント出力端子としての動作

- LCDC セグメント出力端子に対応する DDRC レジスタのビットを“0”に設定してください。
- 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC セグメント出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[07:02]) または LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[09:08]) を“1”に設定して LCDC セグメント出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDRC レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRC レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

• PE5/SEG27/TO11 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG27 出力端子 (SEG27)
- 8/16 ビット複合タイマ ch. 1 出力端子 (TO11)

• PE6/SEG28/TO10 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

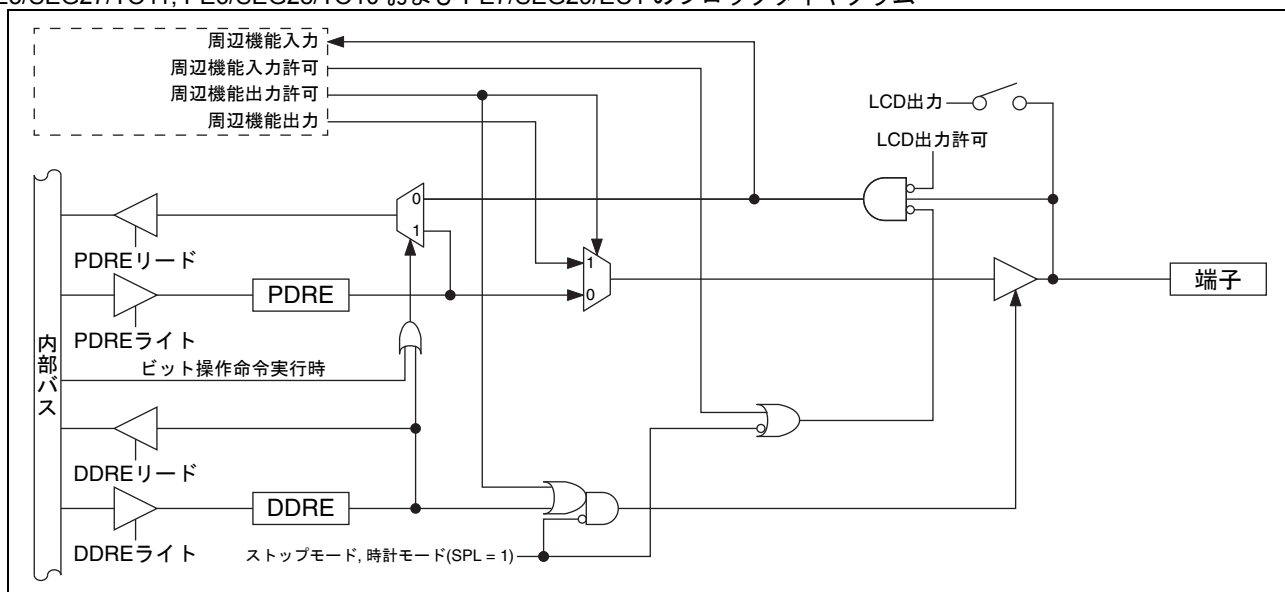
- LCDC SEG28 出力端子 (SEG28)
- 8/16 ビット複合タイマ ch. 1 出力端子 (TO10)

• PE7/SEG29/EC1 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG29 出力端子 (SEG29)
- 8/16 ビット複合タイマ ch. 1 クロック入力端子 (EC1)

• PE5/SEG27/TO11, PE6/SEG28/TO10 および PE7/SEG29/EC1 のブロックダイアグラム



18.11.3 ポート E のレジスタ

• ポート E のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDRE	0	端子状態が“L”レベル	PDRE の値が“0”	出力ポート時は、“L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDRE の値が“1”	出力ポート時は、“H”レベルを出力
DDRE	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

• ポート E におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	PE7	PE6	PE5	PE4	PE3	PE2	PE1	PE0
PDRE	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
DDRE								

18.11.4 ポートEの動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRE レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、PDRE レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRE レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRE レジスタを読み出すと、PDRE レジスタの値が読み出されます。
- LCDCE と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDCE 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[23:22]) または LCDCE 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[29:24]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDCE 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRE レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDRE レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRE レジスタを読み出すと、端子の値が読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRE レジスタを読み出す場合は、PDRE レジスタの値を読み出します。
- LCDCE と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDCE 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[23:22]) または LCDCE 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[29:24]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDCE 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 周辺機能出力端子としての動作

- 端子に対応する周辺機能に出力許可ビットを設定し、周辺出力機能を許可すると、その端子は、周辺機能出力端子となります。
- 周辺機能出力を許可した場合でも、PDRE レジスタから端子の値を読み出せます。したがって、PDRE レジスタの読出し動作により、周辺機能の出力値を読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRE レジスタを読み出す場合は、PDRE レジスタの値を読み出します。

• 周辺機能入力端子としての動作

- 端子を入力ポートとして設定するには、周辺機能の入力端子に対応する DDRE レジスタのビットを“0”に設定します。
- 周辺機能がその端子を入力端子として使用しているかどうかに関係なく、PDRE レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令では、PDRE レジスタの値を読み出します。

• LCDCE セグメント出力端子としての動作

- LCDCE セグメント出力端子に対応する DDRE レジスタのビットを“0”に設定してください。
- 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDCE セグメント出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDCE 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[23:22]) または LCDCE 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[29:24]) を“1”に設定して LCDCE セグメント出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDRE レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRE レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

18.12 ポート F

ポート F は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

18.12.1 ポート F の構成

ポート F は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート F データレジスタ (PDRF)
- ポート F 方向レジスタ (DDRF)

18.12.2 ポート F のブロックダイアグラム

• PF0/X0 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

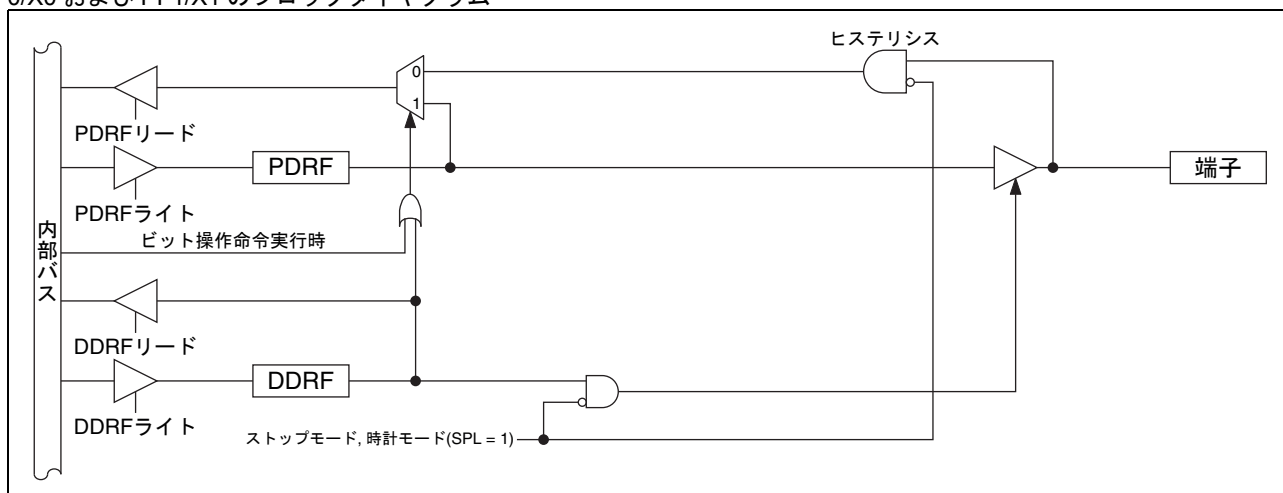
- メインクロック用入力発振端子 (X0)

• PF1/X1 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- メインクロック用入出力発振端子 (X1)

• PF0/X0 および PF1/X1 のブロックダイアグラム

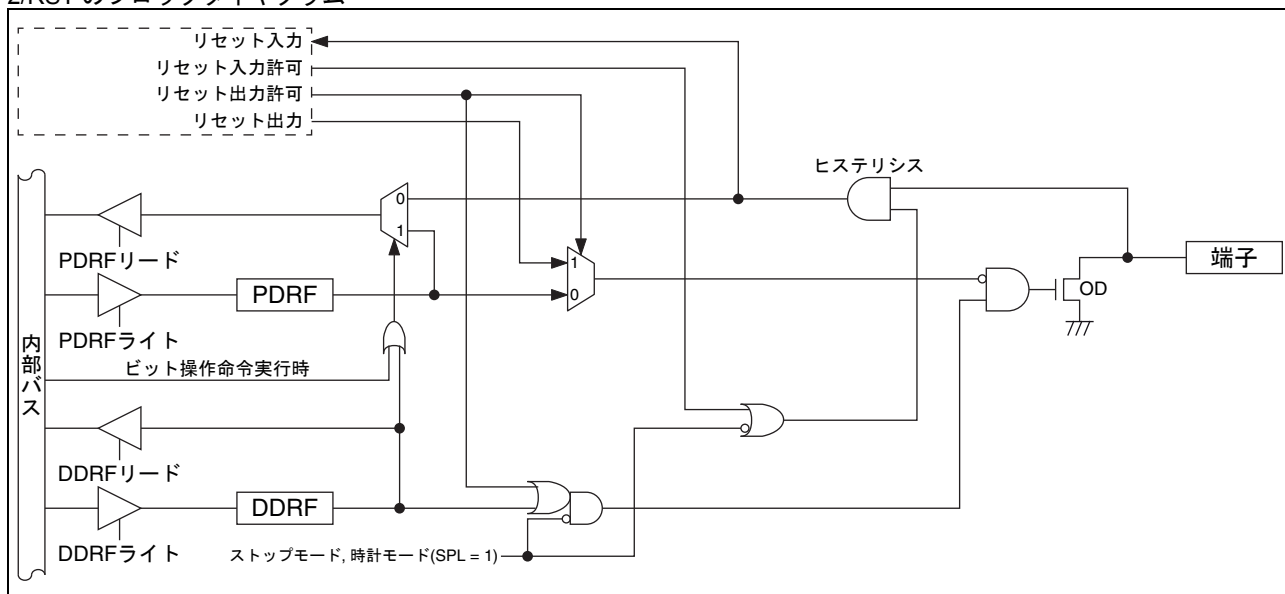


• PF2/RST 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- リセット端子 (RST)

• PF2/RST のブロックダイアグラム



18.12.3 ポートFのレジスタ

• ポートFのレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDRF	0	端子状態が“L”レベル	PDRFの値が“0”	出力ポート時は、“L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDRFの値が“1”	出力ポート時は、“H”レベルを出力*
DDRF	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

*: N-ch オープンドレイン端子では、端子状態は Hi-Z になります。

• ポートFにおけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	-	-	-	-	-	PF2*	PF1	PF0
PDRF	-	-	-	-	-	bit2	bit1	bit0
DDRF	-	-	-	-	-			

*: PF2/RST は、MB95F714L/F716L/F718L では、リセット専用端子となります。

18.12.4 ポート F の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRF レジスタのビットを“1”に設定すると、端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、PDRF レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRF レジスタにデータを書き込むと、出力ラッチにその値が保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRF レジスタを読み出すと、PDRF レジスタの値が読み出されます。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRF レジスタのビットを“0”に設定すると、端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDRF レジスタにデータを書き込むと、出力ラッチにその値が保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRF レジスタを読み出すと、端子の値が読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRF レジスタを読み出す場合は、PDRF レジスタの値を読み出します。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDRF レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRF レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態指定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

18.13 ポート G

ポート G は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

18.13.1 ポート G の構成

ポート G は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート G データレジスタ (PDRG)
- ポート G 方向レジスタ (DDRG)
- ポート G プルアップレジスタ (PULG)

18.13.2 ポート G のブロックダイアグラム

• PG1/X0A 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

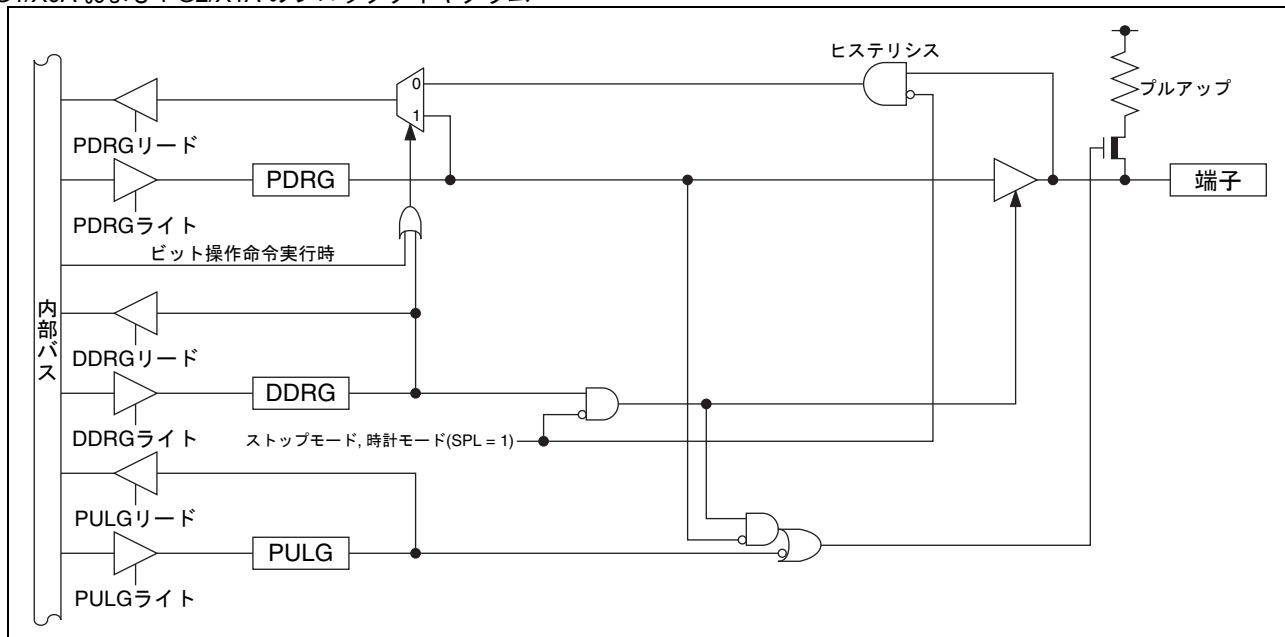
- サブクロック用入力発振端子 (X0A)

• PG2/X1A 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- サブクロック用入出力発振端子 (X1A)

• PG1/X0A および PG2/X1A のブロックダイアグラム



18.13.3 ポート G のレジスタ

• ポート G のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDRG	0	端子状態が “L” レベル	PDRG の値が “0”	出力ポート時は, “L” レベルを出力
	1	端子状態が “H” レベル	PDRG の値が “1”	出力ポート時は, “H” レベルを出力
DDRG	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		
PULG	0	プルアップ禁止		
	1	プルアップ許可		

• ポート G におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	-	-	-	-	-	PG2	PG1	-
PDRG	-	-	-	-	-	bit2	bit1	-
DDRG								
PULG								

18.13.4 ポート G の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRG レジスタのビットを“1”に設定すると、端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、PDRG レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRG レジスタにデータを書き込むと、出力ラッチにその値が保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRG レジスタを読み出すと、PDRG レジスタの値が読み出されます。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRG レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDRG レジスタにデータを書き込むと、出力ラッチにその値が保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRG レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRG レジスタを読み出す場合は、PDRG レジスタの値を読み出します。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDRG レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRG レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態指定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

• プルアップレジスタの動作

PULG レジスタのビットに“1”を設定すると、プルアップ抵抗は端子に内部接続されます。端子出力が“L”レベルのときは、PULG レジスタの値にかかわらず、プルアップ抵抗は切断されます。

19. I/O ポート (MB95770L シリーズ)

・ポートレジスタ一覧

レジスタ名称		リード / ライト	初期値
ポート 0 データレジスタ	PDR0	R, RM/W	0b00000000
ポート 0 方向レジスタ	DDR0	R/W	0b00000000
ポート 1 データレジスタ	PDR1	R, RM/W	0b00000000
ポート 1 方向レジスタ	DDR1	R/W	0b00000000
ポート 2 データレジスタ	PDR2	R, RM/W	0b00000000
ポート 2 方向レジスタ	DDR2	R/W	0b00000000
ポート 6 データレジスタ	PDR6	R, RM/W	0b00000000
ポート 6 方向レジスタ	DDR6	R/W	0b00000000
ポート 9 データレジスタ	PDR9	R, RM/W	0b00000000
ポート 9 方向レジスタ	DDR9	R/W	0b00000000
ポート A データレジスタ	PDRA	R, RM/W	0b00000000
ポート A 方向レジスタ	DDRA	R/W	0b00000000
ポート B データレジスタ	PDRB	R, RM/W	0b00000000
ポート B 方向レジスタ	DDRB	R/W	0b00000000
ポート C データレジスタ	PDRC	R, RM/W	0b00000000
ポート C 方向レジスタ	DDRC	R/W	0b00000000
ポート E データレジスタ	PDRE	R, RM/W	0b00000000
ポート E 方向レジスタ	DDRE	R/W	0b00000000
ポート F データレジスタ	PDRF	R, RM/W	0b00000000
ポート F 方向レジスタ	DDRF	R/W	0b00000000
ポート G データレジスタ	PDRG	R, RM/W	0b00000000
ポート G 方向レジスタ	DDRG	R/W	0b00000000
ポート 1 プルアップレジスタ	PUL1	R/W	0b00000000
ポート 2 プルアップレジスタ	PUL2	R/W	0b00000000
ポート G プルアップレジスタ	PULG	R/W	0b00000000
A/D 入力禁止レジスタ (下位)	AIDRL	R/W	0b00000000

R/W : リード / ライト可能 (読出し値は書込み値)

R, RM/W : リード / ライト可能 (読出し値は書込み値と異なります。書込み値は、リードモディファイライト (RMW) 系命令によって、読み出されます。)

19.1 ポート 0

ポート 0 は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

19.1.1 ポート 0 の構成

ポート 0 は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート 0 データレジスタ (PDR0)
- ポート 0 方向レジスタ (DDR0)
- A/D 入力禁止レジスタ (下位) (AIDRL)

19.1.2 ポート 0 のブロックダイアグラム

• P00/INT00/AN00/SEG29/UO2 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 外部割込み入力端子 (INT00)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN00)
- LCDC SEG29 出力端子 (SEG29)
- UART/SIO ch. 2 データ出力端子 (UO2)

• P02/INT02/AN02/SEG27/UCK2 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 外部割込み入力端子 (INT02)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN02)
- LCDC SEG27 出力端子 (SEG27)
- UART/SIO ch. 2 クロック入出力端子 (UCK2)

• P03/INT03/AN03/SEG26/UO1 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 外部割込み入力端子 (INT03)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN03)
- LCDC SEG26 出力端子 (SEG26)
- UART/SIO ch. 1 データ出力端子 (UO1)

• P05/INT05/AN05/SEG24/UCK1 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 外部割込み入力端子 (INT05)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN05)
- LCDC SEG24 出力端子 (SEG24)
- UART/SIO ch. 1 クロック入出力端子 (UCK1)

• P06/INT06/AN06/SEG23 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

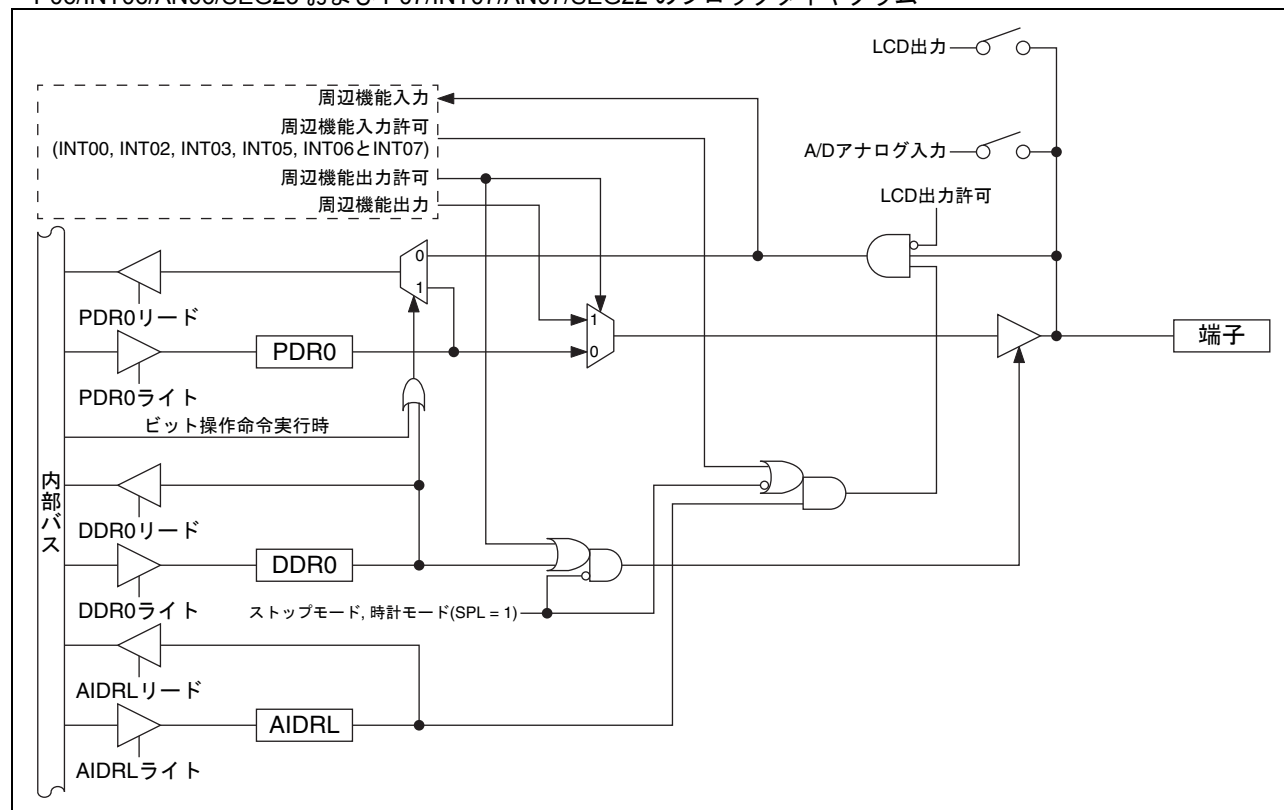
- 外部割込み入力端子 (INT06)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN06)
- LCDC SEG23 出力端子 (SEG23)

• P07/INT07/AN07/SEG22 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

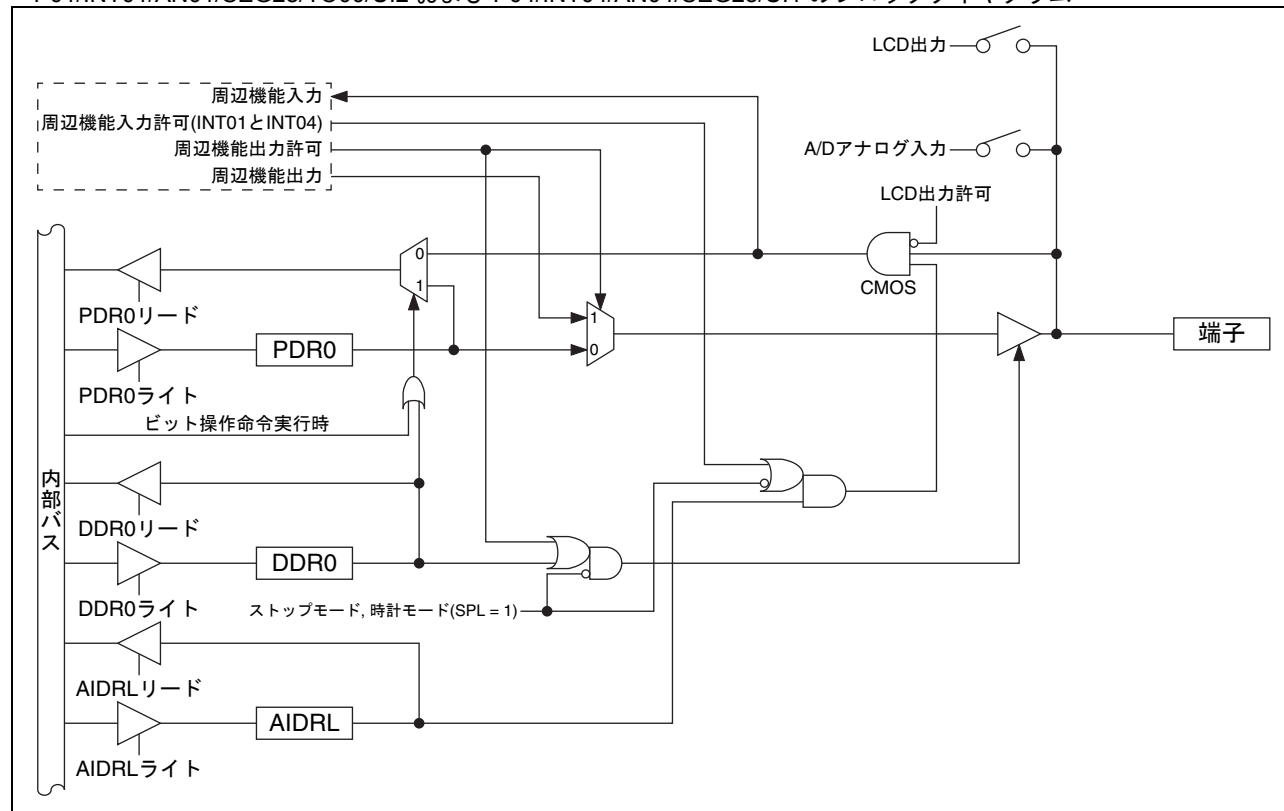
- 外部割込み入力端子 (INT07)
- 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN07)
- LCDC SEG22 出力端子 (SEG22)

- P00/INT00/AN00/SEG29/UO2, P02/INT02/AN02/SEG27/UCK2, P03/INT03/AN03/SEG26/UO1, P05/INT05/AN05/SEG24/UCK1, P06/INT06/AN06/SEG23 および P07/INT07/AN07/SEG22 のブロックダイアグラム



- P01/INT01/AN01/SEG28/TO00/UI2 端子
本端子には以下の周辺機能があります。
 - 外部割込み入力端子 (INT01)
 - 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN01)
 - LCDC SEG28 出力端子 (SEG28)
 - 8/16 ビット複合タイマ ch. 0 出力端子 (TO00)
 - UART/SIO ch. 2 データ入力端子 (UI2)
- P04/INT04/AN04/SEG25/UI1 端子
本端子には以下の周辺機能があります。
 - 外部割込み入力端子 (INT04)
 - 8/12 ビット A/D コンバータアナログ入力端子 (AN04)
 - LCDC SEG25 出力端子 (SEG25)
 - UART/SIO ch. 1 データ入力端子 (UI1)

・ P01/INT01/AN01/SEG28/TO00/UI2 および P04/INT04/AN04/SEG25/UI1 のブロックダイアグラム



19.1.3 ポート0のレジスタ

・ ポート0のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR0	0	端子状態が“L”レベル	PDR0の値が“0”	出力ポート時は、“L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR0の値が“1”	出力ポート時は、“H”レベルを出力
DDR0	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		
AIDRL	0	アナログ入力許可		
	1	ポート入力許可		

・ ポート0におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	P07	P06	P05	P04	P03	P02	P01	P00
PDR0	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
DDR0								
AIDRL								

19.1.4 ポート0の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR0 レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、その端子から PDR0 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR0 レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR0 レジスタを読み出すと、PDR0 レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[23:22]) または LCDC 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[29:24]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR0 レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- アナログ入力機能兼用端子を入力ポートとして使用している時は、A/D 入力禁止レジスタ (下位) (AIDRL) の対応するビットを“1”に設定してください。
- PDR0 レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDR0 レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR0 レジスタを読み出す場合は、PDR0 レジスタの値を読み出します。
- LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[23:22]) または LCDC 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[29:24]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• 周辺機能出力端子としての動作

- 端子に対応する周辺機能に出力許可ビットを設定し、周辺出力機能を許可すると、その端子は、周辺機能出力端子となります。
- 周辺機能出力を許可した場合でも、PDR0 レジスタから端子の値を読み出せます。したがって、PDR0 レジスタの読み出し動作により、周辺機能の出力値を読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR0 レジスタを読み出す場合は、PDR0 レジスタの値を読み出します。

• 周辺機能入力端子としての動作

- 端子を入力ポートとして設定するには、周辺機能の入力端子に対応する DDR0 レジスタのビットを“0”に設定します。
- アナログ入力機能兼用端子をそのほかの周辺機能入力端子として使用する場合は、入力ポートの動作と同様に、その端子を入力ポートとして設定してください。
- 周辺機能がその端子を入力端子として使用しているかどうかに関係なく、PDR0 レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令では、PDR0 レジスタの値を読み出します。

• LCDC セグメント出力端子としての動作

- LCDC セグメント出力端子に対応する DDR0 レジスタのビットを“0”に設定してください。
- 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC セグメント出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[23:22]) または LCDC 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[29:24]) を“1”に設定して LCDC セグメント出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDR0 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。アナログ入力機能兼用端子については、AIDRL レジスタが“0”に初期化されるため、ポート入力は禁止された状態になります。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR0 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。ただし、外部割込み (INT00 ~ INT07) による割込み入力が許可されている場合、入力可能になり入力は遮断されません。
- 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

・アナログ入力端子としての動作

- ・アナログ入力端子に対応する DDR0 レジスタのビットに“0”を、AIDRL レジスタのその端子に対応するビットに“0”を設定してください。
- ・ほかの周辺機能と兼用されている端子で、それらの周辺機能の出力は禁止されます。

・外部割込み入力端子としての動作

- ・外部割込み入力端子に対応する DDR0 レジスタのビットを“0”に設定してください。
- ・端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- ・端子の値は常に外部割込み回路に入力されます。端子を割込み以外の機能に使用する場合は、その端子に対応する外部割込み機能を禁止にします。

19.2 ポート 1

ポート 1 は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

19.2.1 ポート 1 の構成

ポート 1 は以下の要素から構成されます。

- ・汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ・ポート 1 データレジスタ (PDR1)
- ・ポート 1 方向レジスタ (DDR1)
- ・ポート 1 プルアップレジスタ (PUL1)

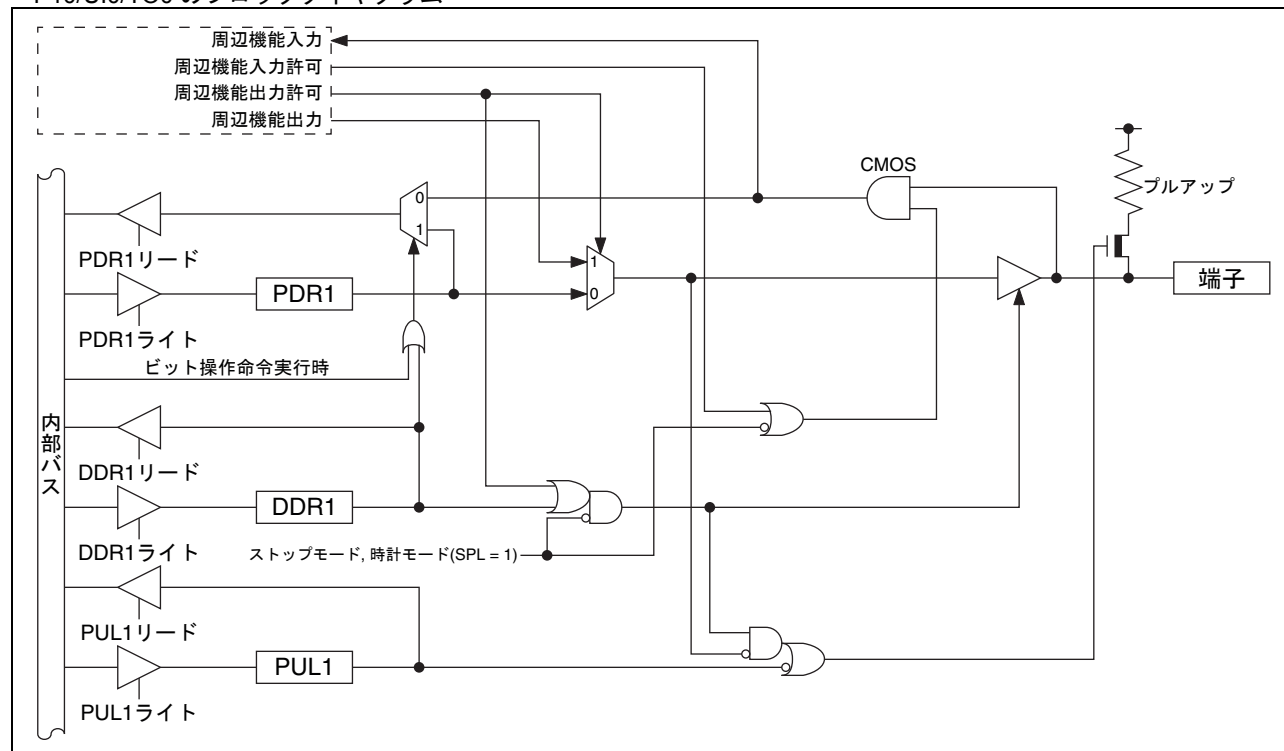
19.2.2 ポート 1 のブロックダイアグラム

・ P10/UI0/TO0 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・ UART/SIO ch. 0 データ入力端子 (UI0)
- ・ 16 ビットリロードタイマ ch. 0 出力端子 (TO0)

・ P10/UI0/TO0 のブロックダイアグラム

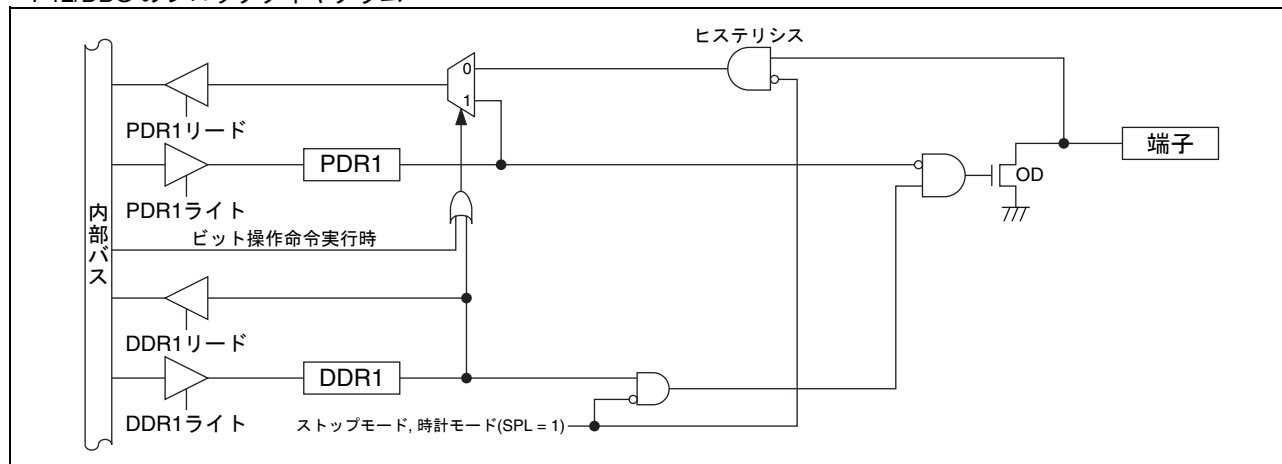


• P12/DBG 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- DBG 入力端子 (DBG)

• P12/DBG のブロックダイアグラム



• P11/UO0 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- UART/SIO ch. 0 データ出力端子 (UO0)

• P13/ADTG/TO01 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 8/12 ビット A/D コンバータトリガ入力端子 (ADTG)
- 8/16 ビット複合タイマ ch. 0 出力端子 (TO01)

• P14/UCK0/EC0/TI0 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

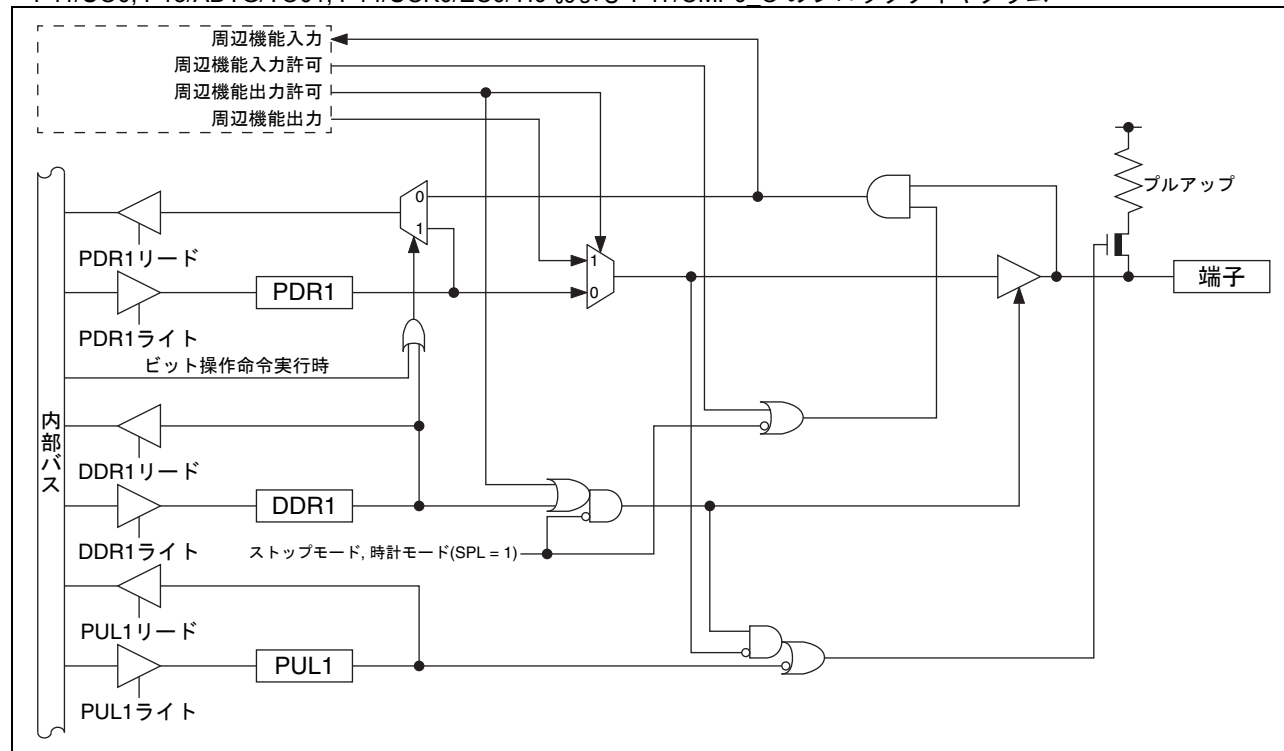
- UART/SIO ch. 0 クロック入出力端子 (UCK0)
- 8/16 ビット複合タイマ ch. 0 クロック入力端子 (EC0)
- 16 ビットリロードタイマ ch. 0 入力端子 (TI0)

• P17/CMP0_O 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- コンパレータ ch. 0 デジタル出力端子 (CMP0_O)

• P11/UO0, P13/ADTG/TO01, P14/UCK0/EC0/TI0 および P17/CMP0_O のブロックダイアグラム



• P15/SEG31/PPG11 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

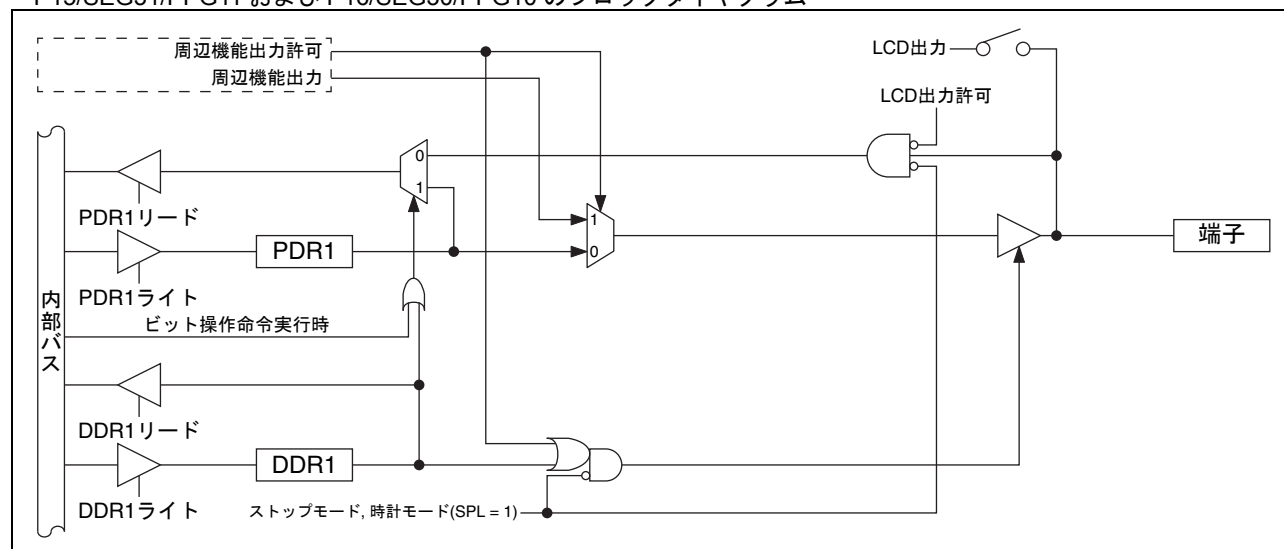
- LCDC SEG31 出力端子 (SEG31)
- 8/16 ビット PPG ch. 1 出力端子 (PPG11)

• P16/SEG30/PPG10 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG30 出力端子 (SEG30)
- 8/16 ビット PPG ch. 1 出力端子 (PPG10)

• P15/SEG31/PPG11 および P16/SEG30/PPG10 のブロックダイアグラム



19.2.3 ポート1のレジスタ

• ポート1のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR1	0	端子状態が“L”レベル	PDR1の値が“0”	出力ポート時は、“L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR1の値が“1”	出力ポート時は、“H”レベルを出力*
DDR1	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		
PUL1	0	プルアップ禁止		
	1	プルアップ許可		

*: N-ch オープンドレイン端子では、端子状態は Hi-Z になります。

• ポート1におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	P17	P16	P15	P14	P13	P12	P11	P10
PDR1	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
DDR1								
PUL1		-	-			-		

19.2.4 ポート1の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR1 レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、その端子から PDR1 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR1 レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR1 レジスタを読み出すと、PDR1 レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[31:30]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR1 レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDR1 レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDR1 レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR1 レジスタを読み出す場合は、PDR1 レジスタの値を読み出します。
- LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[31:30]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• 周辺機能出力端子としての動作

- 端子に対応する周辺機能に出力許可ビットを設定し、周辺出力機能を許可すると、その端子は、周辺機能出力端子となります。
- 周辺機能出力を許可した場合でも、PDR1 レジスタから端子の値を読み出せます。したがって、PDR1 レジスタの読出し動作により、周辺機能の出力値を読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR1 レジスタを読み出す場合は、PDR1 レジスタの値を読み出します。

- **周辺機能入力端子としての動作**
 - 端子を入力ポートとして設定するには、周辺機能の入力端子に対応する DDR1 レジスタのビットを“0”に設定します。
 - 周辺機能がその端子を入力端子として使用しているかどうかに関係なく、PDR1 レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR1 レジスタを読み出す場合は、PDR1 レジスタの値を読み出します。
- **LCDC セグメント出力端子としての動作**
 - LCDC セグメント出力端子に対応する DDR1 レジスタのビットを“0”に設定してください。
 - 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC セグメント出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 6 の機能選択ビット (LCDCE6:SEG[31:30]) を“1”に設定して LCDC セグメント出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。
- **リセット時の動作**

CPU がリセットされると、DDR1 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。
- **ストップモードおよび時計モード時の動作**
 - スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR1 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。ただし、外部割込み回路の外部割込み制御レジスタ ch. 0 (EIC00) と割込み端子選択回路の割込み端子選択回路制御レジスタ (WICR) による P10/UI0/TO0 と P14/UCK0/EC0/TI0 との割込み入力が許可されている場合、入力は可能になり、かつ遮断されません。
 - 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。
- **プルアップレジスタの動作**

PUL1 レジスタのビットに“1”を設定すると、プルアップ抵抗は端子に内部接続されます。端子出力が“L”レベルのときは、PUL1 レジスタの値にかかわらず、プルアップ抵抗は切断されます。

19.3 ポート 2

ポート 2 は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

19.3.1 ポート 2 の構成

ポート 2 は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート 2 データレジスタ (PDR2)
- ポート 2 方向レジスタ (DDR2)
- ポート 2 プルアップレジスタ (PUL2)

19.3.2 ポート 2 のブロックダイアグラム

• P20/PPG00/CMP0_N 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

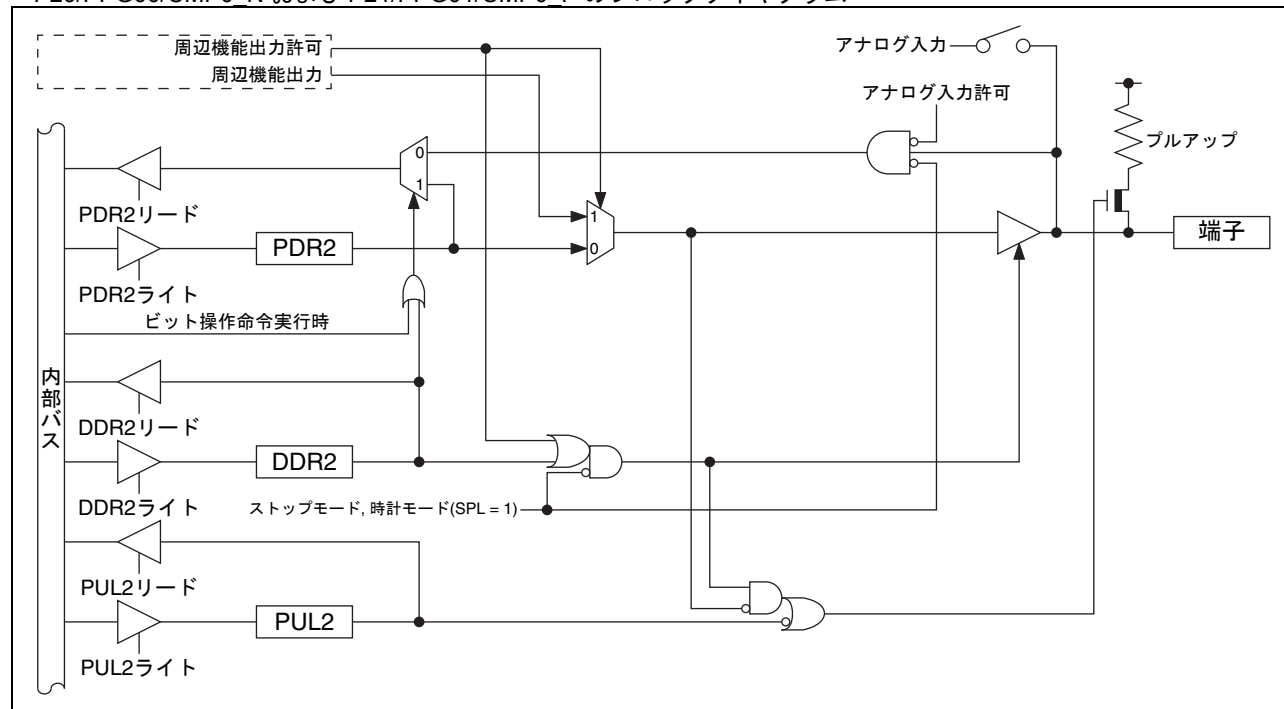
- 8/16 ビット PPG ch. 0 出力端子 (PPG00)
- コンパレータ ch. 0 反転アナログ入力 (負入力) 端子 (CMP0_N)

• P21/PPG01/CMP0_P 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- 8/16 ビット PPG ch. 0 出力端子 (PPG01)
- コンパレータ ch. 0 非反転アナログ入力 (正入力) 端子 (CMP0_P)

• P20/PPG00/CMP0 N および P21/PPG01/CMP0 P のブロックダイアグラム



• P22/SCL 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

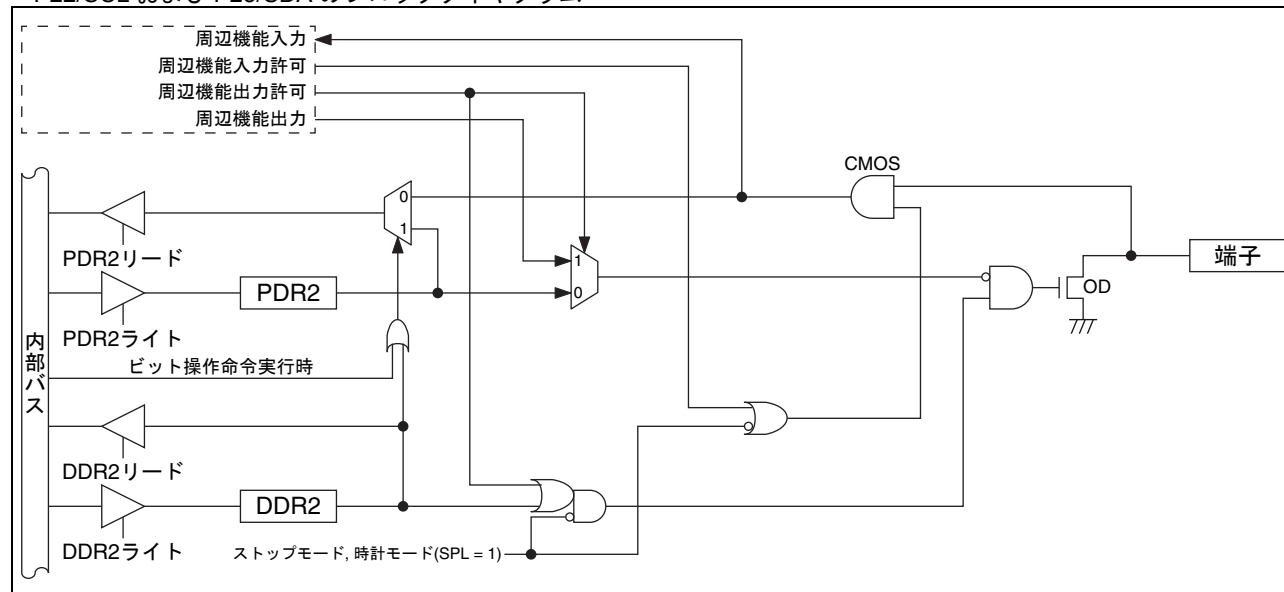
- I²C バスインタフェース ch. 0 クロック入出力端子 (SCL)

• P23/SDA 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- I²C バスインタフェース ch. 0 データ入出力端子 (SDA)

• P22/SCL および P23/SDA のブロックダイアグラム



19.3.3 ポート2のレジスタ

・ポート2のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR2	0	端子状態が“L”レベル	PDR2の値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR2の値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力 *
DDR2	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		
PUL2	0	プルアップ禁止		
	1	プルアップ許可		

*: N-ch オープンドレイン端子では, 端子状態は Hi-Z になります。

・ポート2におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	-	-	-	-	P23	P22	P21	P20
PDR2	-	-	-	-	bit3	bit2	bit1	bit0
DDR2								
PUL2					-	-		

19.3.4 ポート2の動作

・出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR2 レジスタのビットを“1”に設定すると, その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては, その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は, その端子から PDR2 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR2 レジスタにデータを書き込むと, その値は出力ラッチに保持され, そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR2 レジスタを読み出すと, PDR2 レジスタの値が読み出されます。

・入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR2 レジスタのビットを“0”に設定すると, その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては, その出力を禁止してください。
- PDR2 レジスタにデータを書き込むと, その値が出力ラッチに保持されますが, 入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDR2 レジスタを読み出すと, 端子の値が読み出されます。ただし, リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR2 レジスタを読み出す場合は, PDR2 レジスタの値を読み出します。

・周辺機能出力端子としての動作

- 端子に対応する周辺機能に出力許可ビットを設定し, 周辺出力機能を許可すると, その端子は, 周辺機能出力端子となります。
- 周辺機能出力を許可した場合でも, PDR2 レジスタから端子の値を読み出せます。したがって, PDR2 レジスタの読出し動作により, 周辺機能の出力値を読み出せます。ただし, リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR2 レジスタを読み出す場合は, PDR2 レジスタの値を読み出します。

・周辺機能入力端子としての動作

- 端子を入力ポートとして設定するには, 周辺機能の入力端子に対応する DDR2 レジスタのビットを“0”に設定します。
- 周辺機能がその端子を入力端子として使用しているかどうかに関係なく, PDR2 レジスタを読み出すと, 端子の値が読み出されます。ただし, リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR2 レジスタを読み出す場合は, PDR2 レジスタの値を読み出します。

・リセット時の動作

CPU がリセットされると, DDR2 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され, ポート入力が許可されます。

- **ストップモードおよび時計モード時の動作**
 - スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が “1” に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR2 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は “L” レベルに固定され、遮断されます。
 - 端子状態設定ビットが “0” の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。
- **プルアップレジスタの動作**

PUL2 レジスタのビットに “1” を設定すると、プルアップ抵抗は端子に内部接続されます。端子出力が “L” レベルのときは、PUL2 レジスタの値にかかわらず、プルアップ抵抗は切断されます。
- **コンパレータ入力端子としての動作**
 - PDR2 レジスタ設定と DDR2 レジスタ設定に関係なく、コンパレータ制御レジスタ ch.0 のコンパレータアナログ入力許可ビット (CMR0:VCID) を “0” に設定すると、コンパレータ入力機能が許可されます。
 - コンパレータ入力機能を禁止するには、VCID ビットを “1” に設定してください。
 - コンパレータの詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」の「第 29 章 コンパレータ」を参照してください。

19.4 ポート 6

ポート 6 は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

19.4.1 ポート 6 の構成

ポート 6 は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート 6 データレジスタ (PDR6)
- ポート 6 方向レジスタ (DDR6)

19.4.2 ポート 6 のブロックダイアグラム

- **P60/SEG06 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

 - LCDC SEG06 出力端子 (SEG06)
- **P61/SEG07 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

 - LCDC SEG07 出力端子 (SEG07)
- **P62/SEG08 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

 - LCDC SEG08 出力端子 (SEG08)
- **P63/SEG09 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

 - LCDC SEG09 出力端子 (SEG09)
- **P64/SEG10 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

 - LCDC SEG10 出力端子 (SEG10)
- **P65/SEG11 端子**

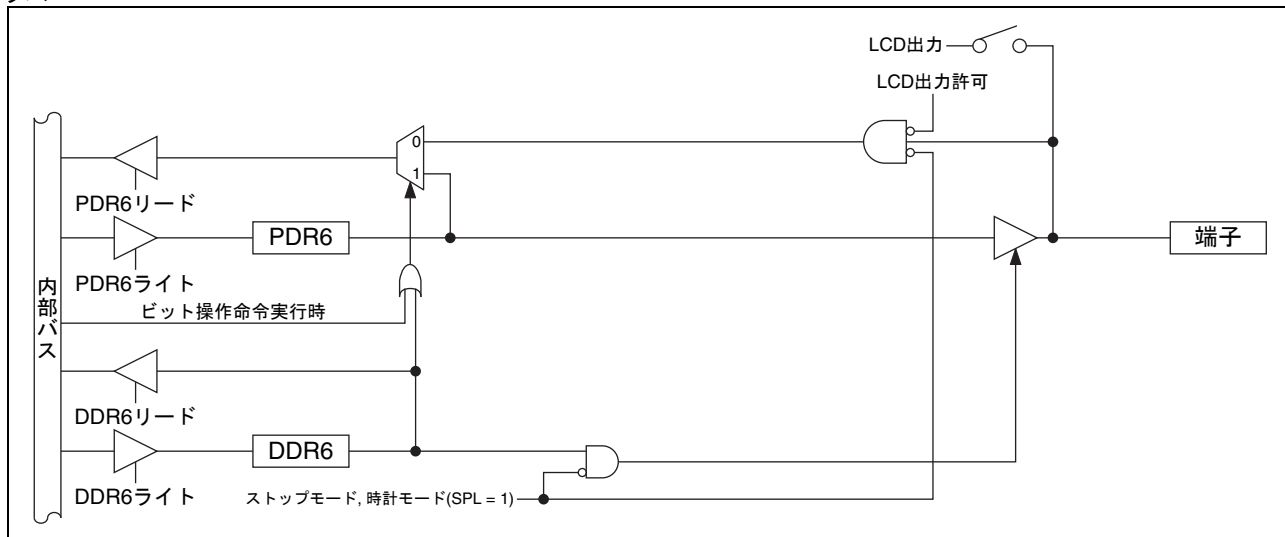
本端子には以下の周辺機能があります。

 - LCDC SEG11 出力端子 (SEG11)
- **P66/SEG12 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

 - LCDC SEG12 出力端子 (SEG12)

- P67/SEG13 端子
本端子には以下の周辺機能があります。
 - LCDC SEG13 出力端子 (SEG13)
- P60/SEG06, P61/SEG07, P62/SEG08, P63/SEG09, P64/SEG10, P65/SEG11, P66/SEG12 および P67/SEG13 のブロックダイアグラム



19.4.3 ポート 6 のレジスタ

- ポート 6 のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR6	0	端子状態が“L”レベル	PDR6 の値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR6 の値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力
DDR6	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

- ポート 6 におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	P67	P66	P65	P64	P63	P62	P61	P60
PDR6	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
DDR6								

19.4.4 ポート 6 の動作

- 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR6 レジスタのビットを“1”に設定すると, その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては, その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は, PDR6 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR6 レジスタにデータを書き込むと, その値は出力ラッチに保持され, そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR6 レジスタを読み出すと, PDR6 レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合, その端子に対応する, LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[07:06]) または LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[13:08]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し, LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

・入力ポートとしての動作

- ・端子に対応する DDR6 レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- ・端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- ・PDR6 レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- ・PDR6 レジスタを読み出すと、端子の値が読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR6 レジスタを読み出す場合は、PDR6 レジスタの値を読み出します。
- ・LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[07:06]) または LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[13:08]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

・LCDC セグメント出力端子としての動作

- ・LCDC セグメント出力端子に対応する DDR6 レジスタのビットを“0”に設定してください。
- ・汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC セグメント出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[07:06]) または LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[13:08]) を“1”に設定して LCDC セグメント出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

・リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDR6 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

・ストップモードおよび時計モード時の動作

- ・スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR6 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- ・端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

19.5 ポート 9

ポート 9 は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

19.5.1 ポート 9 の構成

ポート 9 は以下の要素から構成されます。

- ・汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ・ポート 9 データレジスタ (PDR9)
- ・ポート 9 方向レジスタ (DDR9)

19.5.2 ポート 9 のブロックダイアグラム**・P90/V4 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・LCD 駆動電源端子 (V4)

・P91/V3 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・LCD 駆動電源端子 (V3)

・P92/V2 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

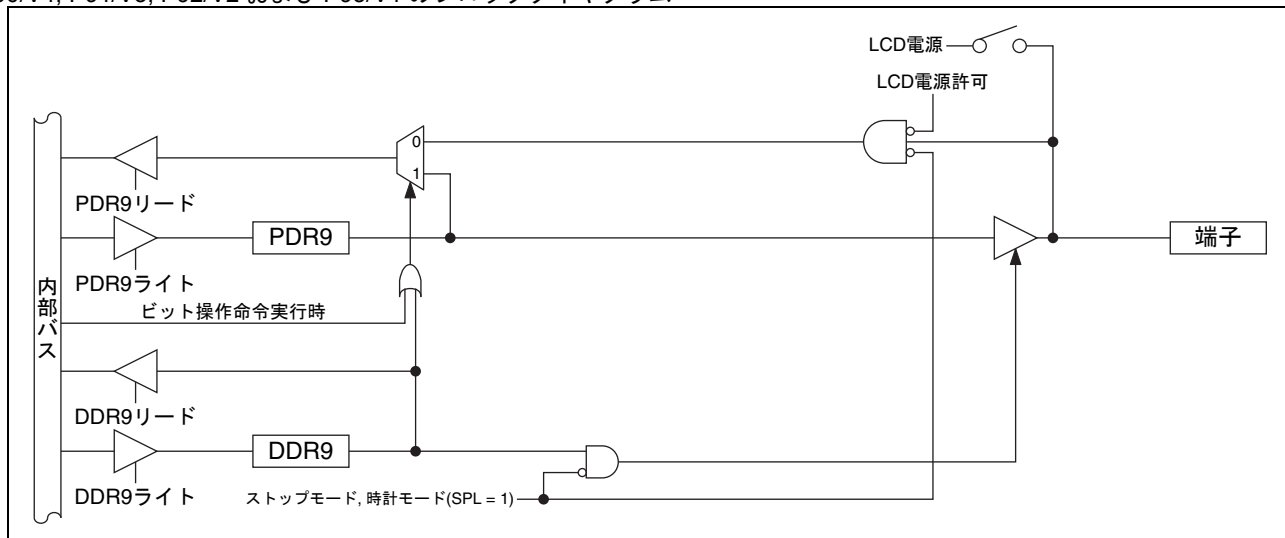
- ・LCD 駆動電源端子 (V2)

・P93/V1 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・LCD 駆動電源端子 (V1)

- P90/V4, P91/V3, P92/V2 および P93/V1 のブロックダイヤグラム



19.5.3 ポート 9 のレジスタ

- ポート 9 のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDR9	0	端子状態が“L”レベル	PDR9 の値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDR9 の値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力
DDR9	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

- ポート 9 におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	-	-	-	-	P93	P92	P91	P90
PDR9	-	-	-	-	bit3	bit2	bit1	bit0
DDR9	-	-	-	-	bit3	bit2	bit1	bit0

19.5.4 ポート 9 の動作

- 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDR9 レジスタのビットを“1”に設定すると, その端子は出力ポートになります。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は, PDR9 レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDR9 レジスタにデータを書き込むと, その値は出力ラッチに保持され, そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDR9 レジスタを読み出すと, PDR9 レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合, LCDC 許可レジスタ 1 (LCDCE1) の VE[4:1] ビットにある, その端子に対応するビットを“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択してください。

・入力ポートとしての動作

- ・ 端子に対応する DDR9 レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- ・ PDR9 レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- ・ PDR9 レジスタを読み出すと、端子の値を読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDR9 レジスタを読み出す場合は、PDR9 レジスタの値を読み出します。
- ・ LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、LCDCE1 レジスタの VE[4:1] ビットにある、その端子に対応するビットを“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択してください。

・リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDR9 レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

・ストップモードおよび時計モード時の動作

- ・ スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDR9 レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- ・ 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

・LCD 駆動電源端子としての動作

- ・ LCD 駆動電源端子に対応する DDR9 レジスタのビットを“0”に設定してください。
- ・ 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCD 駆動電源端子として使用する場合、LCDCE1 レジスタの VE[4:1] ビットにある、その端子に対応するビットを“1”に設定して LCD 駆動電源機能を選択してください。

19.6 ポート A

ポート A は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

19.6.1 ポート A の構成

ポート A は以下の要素から構成されます。

- ・ 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ・ ポート A データレジスタ (PDRA)
- ・ ポート A 方向レジスタ (DDRA)

19.6.2 ポート A のブロックダイアグラム**・ PA0/COM0 端子**

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・ LCDC COM0 出力端子 (COM0)

・ PA1/COM1 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・ LCDC COM1 出力端子 (COM1)

・ PA2/COM2 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・ LCDC COM2 出力端子 (COM2)

・ PA3/COM3 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

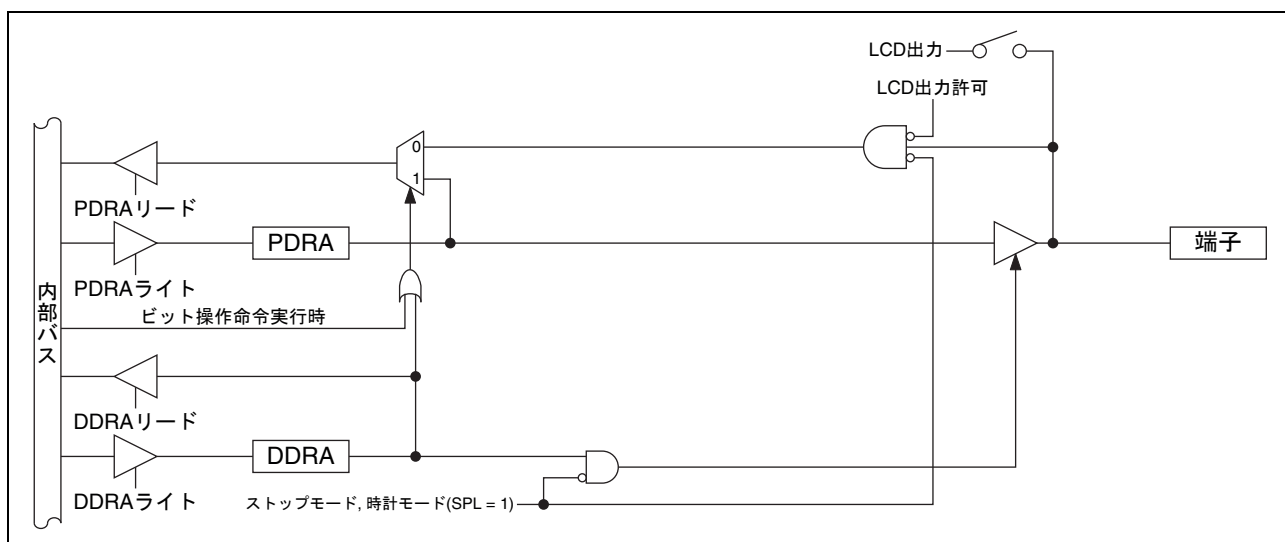
- ・ LCDC COM3 出力端子 (COM3)

・ PA4/COM4 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・ LCDC COM4 出力端子 (COM4)

- **PA5/COM5 端子**
本端子には以下の周辺機能があります。
 - LCDC COM5 出力端子 (COM5)
- **PA6/COM6 端子**
本端子には以下の周辺機能があります。
 - LCDC COM6 出力端子 (COM6)
- **PA7/COM7 端子**
本端子には以下の周辺機能があります。
 - LCDC COM7 出力端子 (COM7)
- **PA0/COM0, PA1/COM1, PA2/COM2, PA3/COM3, PA4/COM4, PA5/COM5, PA6/COM6 および PA7/COM7 のブロックダイアグラム**



19.6.3 ポート A のレジスタ

- ポート A のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDRA	0	端子状態が“L”レベル	PDRA の値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDRA の値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力
DDRA	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

- ポート A におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	PA7	PA6	PA5	PA4	PA3	PA2	PA1	PA0
PDRA	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
DDRA								

19.6.4 ポート A の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRA レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、PDRA レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRA レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRA レジスタを読み出すと、PDRA レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 2 の機能選択ビット (LCDCE2:COM[7:0]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRA レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDRA レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRA レジスタを読み出すと、端子の値が読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRA レジスタを読み出す場合は、PDRA レジスタの値を読み出します。
- LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 2 の機能選択ビット (LCDCE2:COM[7:0]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• LCDC コモン出力端子としての動作

- LCDC セグメント出力端子に対応する DDRA レジスタのビットを“0”に設定してください。
- 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC コモン出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 2 の機能選択ビット (LCDCE2:COM[7:0]) を“1”に設定して LCDC コモン出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDRA レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRA レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

19.7 ポート B

ポート B は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

19.7.1 ポート B の構成

ポート B は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート B データレジスタ (PDRB)
- ポート B 方向レジスタ (DDRB)

19.7.2 ポート B のブロックダイアグラム

• PB0/SEG00 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

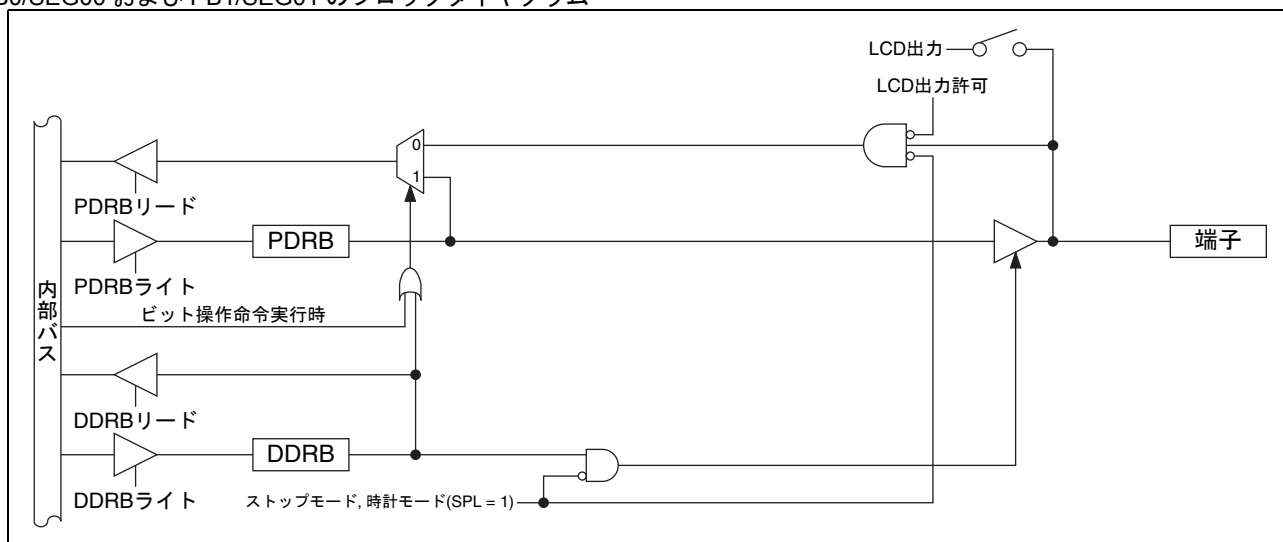
- LCDC SEG00 出力端子 (SEG00)

• PB1/SEG01 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG01 出力端子 (SEG01)

• PB0/SEG00 および PB1/SEG01 のブロックダイアグラム



19.7.3 ポート B のレジスタ

• ポート B のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDRB	0	端子状態が“L”レベル	PDRB の値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDRB の値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力
DDRB	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

• ポート B におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	-	-	-	-	-	-	PB1	PB0
PDRB	-	-	-	-	-	-	bit1	bit0
DDRB	-	-	-	-	-	-		

19.7.4 ポート B の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRB レジスタのビットを“1”に設定すると, その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては, その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は, PDRB レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRB レジスタにデータを書き込むと, その値は出力ラッチに保持され, そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRB レジスタを読み出すと, PDRB レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合, その端子に対応する, LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[01:00]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し, LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRB レジスタのビットを“0”に設定すると, その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては, その出力を禁止してください。
- PDRB レジスタにデータを書き込むと, その値が出力ラッチに保持されますが, 入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRB レジスタを読み出すと, 端子の値が読み出せます。ただし, リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRB レジスタを読み出す場合は, PDRB レジスタの値を読み出します。
- LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合, その端子に対応する, LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[01:00]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し, LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• LCDC セグメント出力端子としての動作

- LCDC セグメント出力端子に対応する DDRB レジスタのビットを“0”に設定してください。
- 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC セグメント出力端子として使用する場合, その端子に対応する, LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[01:00]) を“1”に設定して LCDC セグメント出力機能を選択し, LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

• リセット時の動作

- CPU がリセットされると, DDRB レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され, ポート入力が許可されます。

・ストップモードおよび時計モード時の動作

- ・スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRB レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- ・端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

19.8 ポート C

ポート C は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

19.8.1 ポート C の構成

ポート C は以下の要素から構成されます。

- ・汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ・ポート C データレジスタ (PDRC)
- ・ポート C 方向レジスタ (DDRC)

19.8.2 ポート C のブロックダイアグラム

・PC0/SEG02 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・LCDC SEG02 出力端子 (SEG02)

・PC1/SEG03 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・LCDC SEG03 出力端子 (SEG03)

・PC2/SEG04 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

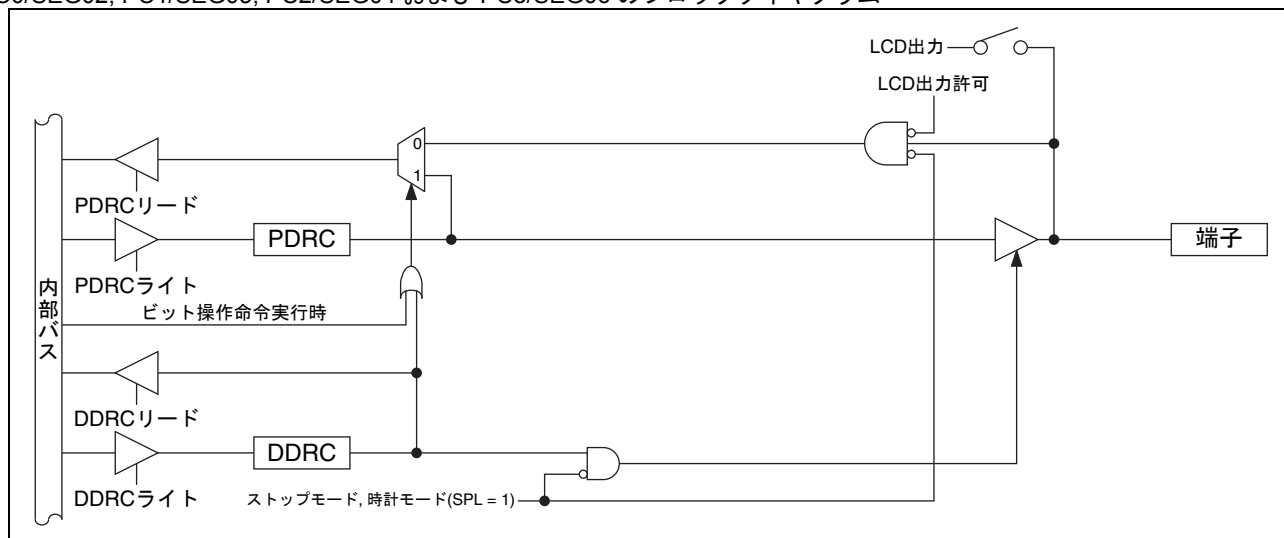
- ・LCDC SEG04 出力端子 (SEG04)

・PC3/SEG05 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- ・LCDC SEG05 出力端子 (SEG05)

・PC0/SEG02, PC1/SEG03, PC2/SEG04 および PC3/SEG06 のブロックダイアグラム



19.8.3 ポート C のレジスタ

- ポート C のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDRC	0	端子状態が“L”レベル	PDRC の値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDRC の値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力
DDRC	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

- ポート C におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	-	-	-	-	PC3	PC2	PC1	PC0
PDRC	-	-	-	-	bit3	bit2	bit1	bit0
DDRC	-	-	-	-				

19.8.4 ポート C の動作

- 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRC レジスタのビットを“1”に設定すると, その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては, その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は, PDRC レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRC レジスタにデータを書き込むと, その値は出力ラッチに保持され, そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRC レジスタを読み出すと, PDRC レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合, その端子に対応する, LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[05:02]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し, LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

- 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRC レジスタのビットを“0”に設定すると, その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては, その出力を禁止してください。
- PDRC レジスタにデータを書き込むと, その値が出力ラッチに保持されますが, 入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRC レジスタを読み出すと, 端子の値が読み出せます。ただし, リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRC レジスタを読み出す場合は, PDRC レジスタの値を読み出します。
- LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合, その端子に対応する, LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[05:02]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し, LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

- LCDC セグメント出力端子としての動作

- LCDC セグメント出力端子に対応する DDRC レジスタのビットを“0”に設定してください。
- 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC セグメント出力端子として使用する場合, その端子に対応する, LCDC 許可レジスタ 3 の機能選択ビット (LCDCE3:SEG[05:02]) を“1”に設定して LCDC セグメント出力機能を選択し, LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを“1”に設定してください。

- リセット時の動作

CPU がリセットされると, DDRC レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され, ポート入力が許可されます。

- ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRC レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態設定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

19.9 ポート E

ポート E は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

19.9.1 ポート E の構成

ポート E は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート E データレジスタ (PDRE)
- ポート E 方向レジスタ (DDRE)

19.9.2 ポート E のブロックダイアグラム

- PE0/SEG14 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG14 出力端子 (SEG14)

- PE1/SEG15 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG15 出力端子 (SEG15)

- PE2/SEG16 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG16 出力端子 (SEG16)

- PE3/SEG17 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

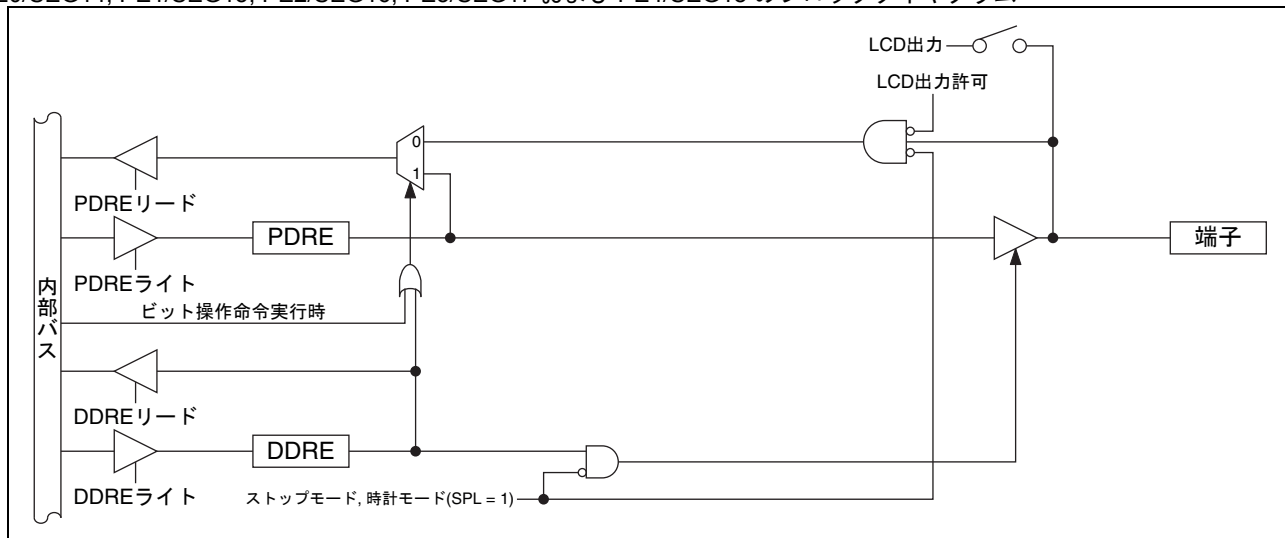
- LCDC SEG17 出力端子 (SEG17)

- PE4/SEG18 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG18 出力端子 (SEG18)

• PE0/SEG14, PE1/SEG15, PE2/SEG16, PE3/SEG17 および PE4/SEG18 のブロックダイアグラム



• PE5/SEG19/TO11 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG19 出力端子 (SEG19)
- 8/16 ビット複合タイマ ch. 1 出力端子 (TO11)

• PE6/SEG20/TO10 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

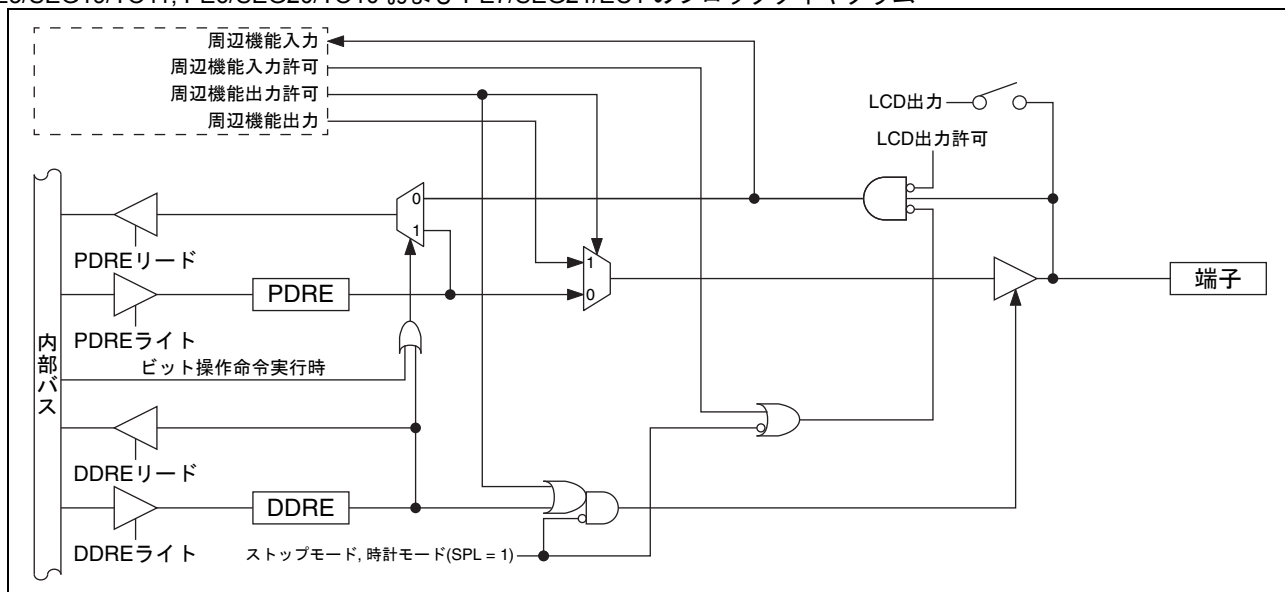
- LCDC SEG20 出力端子 (SEG20)
- 8/16 ビット複合タイマ ch. 1 出力端子 (TO10)

• PE7/SEG21/EC1 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- LCDC SEG21 出力端子 (SEG21)
- 8/16 ビット複合タイマ ch. 1 クロック入力端子 (EC1)

• PE5/SEG19/TO11, PE6/SEG20/TO10 および PE7/SEG21/EC1 のブロックダイアグラム



19.9.3 ポート E のレジスタ

• ポート E のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDRE	0	端子状態が“L”レベル	PDRE の値が“0”	出力ポート時は、“L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDRE の値が“1”	出力ポート時は、“H”レベルを出力
DDRE	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		

• ポート E におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	PE7	PE6	PE5	PE4	PE3	PE2	PE1	PE0
PDRE	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
DDRE								

19.9.4 ポート E の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRE レジスタのビットを“1”に設定すると、その端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、PDRE レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRE レジスタにデータを書き込むと、その値は出力ラッチに保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRE レジスタを読み出すと、PDRE レジスタの値が読み出されます。
- LCDC と兼用する端子を出力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[15:14]) または LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[21:16]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRE レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDRE レジスタにデータを書き込むと、その値が出力ラッチに保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRE レジスタを読み出すと、端子の値が読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRE レジスタを読み出す場合は、PDRE レジスタの値を読み出します。
- LCDC と兼用する端子を入力ポートとして使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[15:14]) または LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[21:16]) を“0”に設定して汎用入出力ポート機能を選択し、LCDC 許可レジスタ 1 のポート入力制御ビット (LCDCE1:PICTL) を“1”に設定してください。

• 周辺機能出力端子としての動作

- 端子に対応する周辺機能に出力許可ビットを設定し、周辺出力機能を許可すると、その端子は、周辺機能出力端子となります。
- 周辺機能出力を許可した場合でも、PDRE レジスタから端子の値を読み出せます。したがって、PDRE レジスタの読出し動作により、周辺機能の出力値を読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRE レジスタを読み出す場合は、PDRE レジスタの値を読み出します。

• 周辺機能入力端子としての動作

- 端子を入力ポートとして設定するには、周辺機能の入力端子に対応する DDRE レジスタのビットを“0”に設定します。
- 周辺機能がその端子を入力端子として使用しているかどうかに関係なく、PDRE レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令では、PDRE レジスタの値を読み出します。

• LCDC セグメント出力端子としての動作

- LCDC セグメント出力端子に対応する DDRE レジスタのビットを “0” に設定してください。
- 汎用入出力ポートと兼用する端子を LCDC セグメント出力端子として使用する場合、その端子に対応する、LCDC 許可レジスタ 4 の機能選択ビット (LCDCE4:SEG[15:14]) または LCDC 許可レジスタ 5 の機能選択ビット (LCDCE5:SEG[21:16]) を “1” に設定して LCDC セグメント出力機能を選択し、LCDCE1 レジスタの PICTL ビットを “1” に設定してください。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDRE レジスタのすべてのビットが “0” に初期化され、ポート入力が許可されます。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態設定ビット (STBC:SPL) が “1” に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRE レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は “L” レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態設定ビットが “0” の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

19.10 ポート F

ポート F は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

19.10.1 ポート F の構成

ポート F は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート F データレジスタ (PDRF)
- ポート F 方向レジスタ (DDRF)

19.10.2 ポート F のブロックダイアグラム

• PF0/X0 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

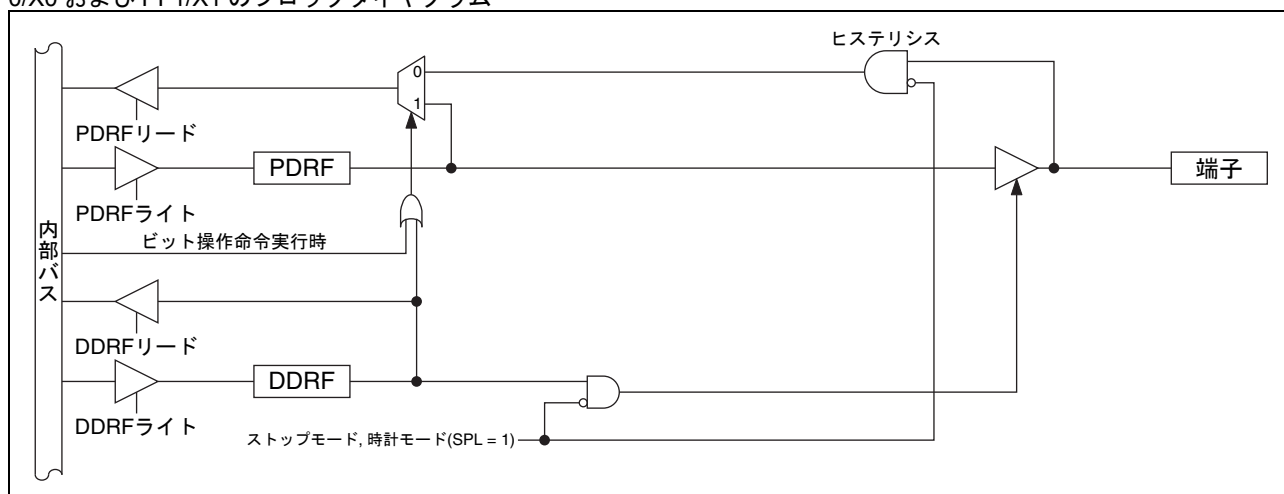
- メインクロック用入力発振端子 (X0)

• PF1/X1 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- メインクロック用入出力発振端子 (X1)

• PF0/X0 および PF1/X1 のブロックダイアグラム



19.10.4 ポート F の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRF レジスタのビットを“1”に設定すると、端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、PDRF レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRF レジスタにデータを書き込むと、出力ラッチにその値が保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRF レジスタを読み出すと、PDRF レジスタの値が読み出されます。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRF レジスタのビットを“0”に設定すると、端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDRF レジスタにデータを書き込むと、出力ラッチにその値が保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRF レジスタを読み出すと、端子の値が読み出せます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRF レジスタを読み出す場合は、PDRF レジスタの値を読み出します。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDRF レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRF レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態指定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

19.11 ポート G

ポート G は、汎用入出力ポートです。汎用入出力ポートとしての機能を中心に説明します。周辺機能の詳細については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」にあるそれぞれの章を参照してください。

19.11.1 ポート G の構成

ポート G は以下の要素から構成されます。

- 汎用入出力端子 / 周辺機能入出力端子
- ポート G データレジスタ (PDRG)
- ポート G 方向レジスタ (DDRG)
- ポート G プルアップレジスタ (PULG)

19.11.2 ポート G のブロックダイアグラム

• PG1/X0A 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

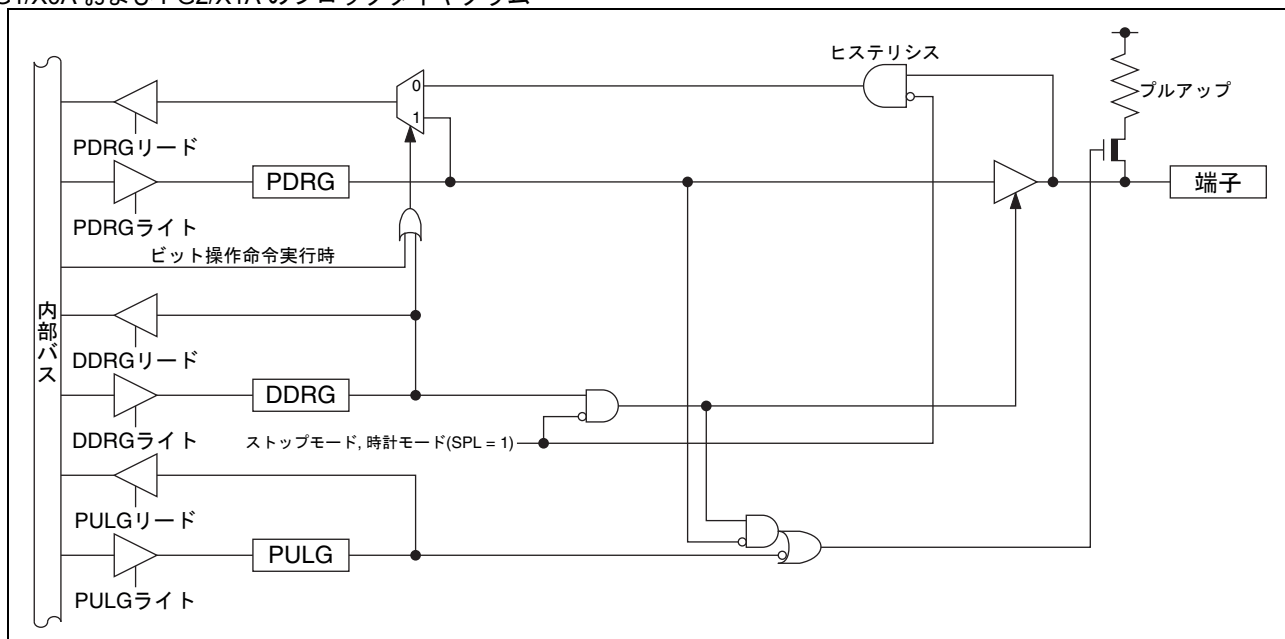
- サブクロック用入力発振端子 (X0A)

• PG2/X1A 端子

本端子には以下の周辺機能があります。

- サブクロック用入出力発振端子 (X1A)

• PG1/X0A および PG2/X1A のブロックダイアグラム



19.11.3 ポート G のレジスタ

• ポート G のレジスタの機能

レジスタ略称	データ	読出し時	リードモディファイライト (RMW) 系命令による読出し	書込み時
PDRG	0	端子状態が“L”レベル	PDRG の値が“0”	出力ポート時は, “L”レベルを出力
	1	端子状態が“H”レベル	PDRG の値が“1”	出力ポート時は, “H”レベルを出力
DDRG	0	ポート入力許可		
	1	ポート出力許可		
PULG	0	プルアップ禁止		
	1	プルアップ許可		

• ポート G におけるレジスタと端子との関係

	関連するレジスタのビットと端子との関係							
端子名	-	-	-	-	-	PG2	PG1	-
PDRG	-	-	-	-	-	bit2	bit1	-
DDRG								
PULG								

19.11.4 ポート G の動作

• 出力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRG レジスタのビットを“1”に設定すると、端子は出力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- 端子が出力ポートとして使用されている時は、PDRG レジスタの値が外部端子に出力されます。
- PDRG レジスタにデータを書き込むと、出力ラッチにその値が保持され、そのまま出力ポートとして設定した端子へ出力されます。
- PDRG レジスタを読み出すと、PDRG レジスタの値が読み出されます。

• 入力ポートとしての動作

- 端子に対応する DDRG レジスタのビットを“0”に設定すると、その端子は入力ポートになります。
- 端子を兼用する周辺機能においては、その出力を禁止してください。
- PDRG レジスタにデータを書き込むと、出力ラッチにその値が保持されますが、入力ポートとして設定した端子へは出力されません。
- PDRG レジスタを読み出すと、端子の値が読み出されます。ただし、リードモディファイライト (RMW) 系命令を使用して PDRG レジスタを読み出す場合は、PDRG レジスタの値を読み出します。

• リセット時の動作

CPU がリセットされると、DDRG レジスタのすべてのビットが“0”に初期化され、ポート入力が許可されます。

• ストップモードおよび時計モード時の動作

- スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL) が“1”に設定され、デバイスがストップモードもしくは時計モードに移行すると、DDRG レジスタの値に関係なく端子は強制的にハイインピーダンスになります。入力開放によるリークを防止するために、端子入力は“L”レベルに固定され、遮断されます。
- 端子状態指定ビットが“0”の場合は、ポート入出力の状態または周辺機能入出力の状態は変更されず、出力レベルは維持されます。

• プルアップレジスタの動作

PULG レジスタのビットに“1”を設定すると、プルアップ抵抗は端子に内部接続されます。端子出力が“L”レベルのときは、PULG レジスタの値にかかわらず、プルアップ抵抗は切斷されます。

20. 割込み要因のテーブル

割込み要因	割込み 要求番号	ベクタテーブルの アドレス		割込みレベル設定レジスタ		同一レベル 割込み要因の 優先順位 (同時発生時)
		上位	下位	レジスタ	ビット	
外部割込み ch. 0	IRQ00	0xFFFA	0xFFFB	ILR0	L00 [1:0]	<div>高い</div> <div>↑</div> <div>↓</div> <div>低い</div>
外部割込み ch. 4						
外部割込み ch. 1	IRQ01	0xFFF8	0xFFF9	ILR0	L01 [1:0]	
外部割込み ch. 5						
外部割込み ch. 2	IRQ02	0xFFF6	0xFFF7	ILR0	L02 [1:0]	
外部割込み ch. 6						
外部割込み ch. 3	IRQ03	0xFFF4	0xFFF5	ILR0	L03 [1:0]	
外部割込み ch. 7						
UART/SIO ch. 0	IRQ04	0xFFF2	0xFFF3	ILR1	L04 [1:0]	
低電圧検出回路						
8/16 ビット複合タイマ ch. 0 (下位)	IRQ05	0xFFF0	0xFFF1	ILR1	L05 [1:0]	
8/16 ビット複合タイマ ch. 0 (上位)	IRQ06	0xFFEE	0xFFEF	ILR1	L06 [1:0]	
UART/SIO ch. 2	IRQ07	0xFFEC	0xFFED	ILR1	L07 [1:0]	
LCDC	IRQ08	0xFFEA	0xFFEB	ILR2	L08 [1:0]	
8/16 PPG ch. 1 (下位)	IRQ09	0xFFE8	0xFFE9	ILR2	L09 [1:0]	
UART/SIO ch. 1						
8/16 PPG ch. 1 (上位)	IRQ10	0xFFE6	0xFFE7	ILR2	L10 [1:0]	
16 ビットリロードタイマ ch. 0	IRQ11	0xFFE4	0xFFE5	ILR2	L11 [1:0]	
8/16 PPG ch. 0 (上位)	IRQ12	0xFFE2	0xFFE3	ILR3	L12 [1:0]	
8/16 PPG ch. 0 (下位)	IRQ13	0xFFE0	0xFFE1	ILR3	L13 [1:0]	
8/16 ビット複合タイマ ch. 1 (上位)	IRQ14	0xFFDE	0xFFDF	ILR3	L14 [1:0]	
コンパレータ ch. 0	IRQ15	0xFFDC	0xFFDD	ILR3	L15 [1:0]	
I ² C バスインタフェース ch. 0	IRQ16	0xFFDA	0xFFDB	ILR4	L16 [1:0]	
—	IRQ17	0xFFD8	0xFFD9	ILR4	L17 [1:0]	
8/12 ビット A/D コンバータ	IRQ18	0xFFD6	0xFFD7	ILR4	L18 [1:0]	
タイムベースタイマ	IRQ19	0xFFD4	0xFFD5	ILR4	L19 [1:0]	
時計プリスケアラ	IRQ20	0xFFD2	0xFFD3	ILR5	L20 [1:0]	
時計カウンタ						
—	IRQ21	0xFFD0	0xFFD1	ILR5	L21 [1:0]	
8/16 ビット複合タイマ ch. 1 (下位)	IRQ22	0xFFCE	0xFFCF	ILR5	L22 [1:0]	
フラッシュメモリ	IRQ23	0xFFCC	0xFFCD	ILR5	L23 [1:0]	

21. 各モードにおける端子状態

端子名	通常動作	スリープモード	ストップモード		時計モード		リセット時
			SPL=0	SPL=1	SPL=0	SPL=1	
PF0/X0	発振入力	発振入力	Hi-Z	Hi-Z	Hi-Z	Hi-Z	発振入力 *1
	入出力ポート *2	入出力ポート *2	- 前の状態保持 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z - 入力遮断 *2, *3	- 前の状態保持 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z - 入力許可 *4 (ただし機能しません)
PF1/X1	発振入力	発振入力	Hi-Z	Hi-Z	Hi-Z	Hi-Z	発振入力 *1
	入出力ポート *2	入出力ポート *2	- 前の状態保持 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z - 入力遮断 *2, *3	- 前の状態保持 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z - 入力許可 *4 (ただし機能しません)
PF2/ $\overline{\text{RST}}$	リセット入力	リセット入力	リセット入力	リセット入力	リセット入力	リセット入力	リセット入力 *5
	入出力ポート *2	入出力ポート *2	- 前の状態保持 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z - 入力遮断 *2, *3	- 前の状態保持 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z - 入力許可 *4 (ただし機能しません)
PG1/X0A	発振入力	発振入力	Hi-Z	Hi-Z	Hi-Z	Hi-Z	発振入力 *6
	入出力ポート *2	入出力ポート *2	- 前の状態保持 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z*7 - 入力遮断 *2, *3	- 前の状態保持 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z*7 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z - 入力許可 *4 (ただし機能しません)
PG2/X1A	発振入力	発振入力	Hi-Z	Hi-Z	Hi-Z	Hi-Z	発振入力 *6
	入出力ポート *2	入出力ポート *2	- 前の状態保持 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z*7 - 入力遮断 *2, *3	- 前の状態保持 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z*7 - 入力遮断 *2, *3	- Hi-Z - 入力許可 *4 (ただし機能しません)
P00/INT00/ AN00/SEG29*8/ UO2	入出力ポート / 周辺機能入出力 / アナログ入力	入出力ポート / 周辺機能入出力 / アナログ入力	- 前の状態保持 - 入力遮断 *3, *10	- Hi-Z - 入力遮断 *3, *10	- 前の状態保持 - 入力遮断 *3, *10	- Hi-Z - 入力遮断 *3, *10	- Hi-Z - 入力遮断 *3
P01/INT01/ AN01/SEG28*8/ SEG36*8/ TO00*9/UI2							
P02/INT02/ AN02/SEG27*8/ SEG35*8/UCK2							
P03/INT03/ AN03/SEG26*8/ SEG34*8/UO1							

端子名	通常動作	スリープモード	ストップモード		時計モード		リセット時
			SPL=0	SPL=1	SPL=0	SPL=1	
P04/INT04/ AN04/SEG25* ⁸ / SEG33* ⁸ /UI1	入出力ポート / 周辺機能入出力 / アナログ入力	入出力ポート / 周辺機能入出力 / アナログ入力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³ , * ¹⁰	- Hi-Z - 入力遮断 * ³ , * ¹⁰	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³ , * ¹⁰	- Hi-Z - 入力遮断 * ³ , * ¹⁰	- Hi-Z - 入力遮断 * ³
P05/INT05/ AN05/SEG24* ⁸ / SEG32* ⁸ /UCK1							
P06/INT06/ AN06/SEG23* ⁸ / SEG31* ⁸							
P07/INT07/ AN07/SEG22* ⁸ / SEG30* ⁸							
P10/UI0/TO0* ⁹	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z * ⁷ - 入力遮断 * ³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z * ⁷ - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力許可 * ⁴ (ただし機能し ません)
P11/UO0							
P12/DBG	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	“H”	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	“H”	“H”
P13/ADTG/ TO01* ⁹	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z * ⁷ - 入力遮断 * ³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z * ⁷ - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力許可 * ⁴ (ただし機能し ません)
P14/UCK0/ EC0* ⁹ /TI0* ⁹							
P15/SEG31* ⁸ / PPG11	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³
P16/SEG30* ⁸ / PPG10							
P17/CMP0_O	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態 保持 * ¹¹ - 入力遮断 * ³	- Hi-Z * ⁷ - 入力遮断 * ³	- 前の状態 保持 * ¹¹ - 入力遮断 * ³	- Hi-Z * ⁷ - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力許可 * ⁴ (ただし機能し ません)
P20/PPG00/ CMP0_N	入出力ポート / 周辺機能入出力 / アナログ入力	入出力ポート / 周辺機能入出力 / アナログ入力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³ , * ¹²	- Hi-Z * ⁷ - 入力遮断 * ³ , * ¹²	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³ , * ¹²	- Hi-Z * ⁷ - 入力遮断 * ³ , * ¹²	- Hi-Z - 入力許可 * ⁴
P21/PPG01/ CMP0_P							
P22/SCL	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³ , * ¹³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³ , * ¹³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³ , * ¹³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³ , * ¹³	- Hi-Z - 入力許可 * ⁴
P23/SDA							
P40/SEG21* ¹⁴	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³
P41/SEG20* ¹⁴							
P42/SEG19* ¹⁴							
P43/SEG18* ¹⁴							
P50/TO01* ¹⁴	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z * ⁷ - 入力遮断 * ³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z * ⁷ - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力許可 * ⁴ (ただし機能し ません)
P51/EC0* ¹⁴							
P52/TI0/TO00* ¹							
P53/TO0* ¹⁴							

端子名	通常動作	スリープモード	ストップモード		時計モード		リセット時
			SPL=0	SPL=1	SPL=0	SPL=1	
P60/SEG06* ⁸ / SEG10* ⁸	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³
P61/SEG07* ⁸ / SEG11* ⁸							
P62/SEG08* ⁸ / SEG12* ⁸							
P63/SEG09* ⁸ / SEG13* ⁸							
P64/SEG10* ⁸ / SEG14* ⁸							
P65/SEG11* ⁸ / SEG15* ⁸							
P66/SEG12* ⁸ / SEG16* ⁸							
P67/SEG13* ⁸ / SEG17* ⁸							
P90/V4	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³
P91/V3							
P92/V2							
P93/V1							
P94/V0* ¹⁴	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³
PA0/COM0							
PA1/COM1							
PA2/COM2							
PA3/COM3							
PA4/COM4							
PA5/COM5							
PA6/COM6	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³
PA7/COM7							
PB0/SEG00							
PB1/SEG01							
PB2/SEG37* ¹⁴							
PB3/SEG38* ¹⁴							
PB4/SEG39* ¹⁴							
PC0/SEG02	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³
PC1/SEG03							
PC2/SEG04							
PC3/SEG05							
PC4/SEG06* ¹⁴							
PC5/SEG07* ¹⁴							
PC6/SEG08* ¹⁴							
PC7/SEG09* ¹⁴							

端子名	通常動作	スリープモード	ストップモード		時計モード		リセット時
			SPL=0	SPL=1	SPL=0	SPL=1	
PE0/SEG14* ⁸ / SEG22* ⁸	入出力ポート / 周辺機能入出力	入出力ポート / 周辺機能入出力	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- 前の状態保持 - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³	- Hi-Z - 入力遮断 * ³
PE1/SEG15* ⁸ / SEG23* ⁸							
PE2/SEG16* ⁸ / SEG24* ⁸							
PE3/SEG17* ⁸ / SEG25* ⁸							
PE4/SEG18* ⁸ / SEG26* ⁸							
PE5/SEG19* ⁸ / SEG27* ⁸ /TO11							
PE6/SEG20* ⁸ / SEG28* ⁸ /TO10							
PE7/SEG21* ⁸ / SEG29* ⁸ /EC1							

SPL: スタンバイ制御レジスタの端子状態指定ビット (STBC:SPL)

Hi-Z: ハイインピーダンス

- *1: PF0/X0およびPF1/X1は、メインクロック発振端子として使用されている場合、リセットが行われると、この状態に遷移します。
- *2: この端子は、汎用 I/O ポートとして設定されている場合、表示される状態になります。
- *3: 「入力遮断」とは、端子からの直接の入力ゲート動作が禁止されていることを意味します。
- *4: 「入力許可」とは、入力機能が許可されている状態であることを意味します。入力機能が許可されている間、外部入力によるリークを回避するためにプルアップまたはプルダウン処理を行ってください。端子を出力ポートとして使用した場合、その端子状態はほかのポートの端子状態と同じです。
- *5: PF2/RST 端子は、リセット端子として設定されている場合、表示される状態になります。
- *6: PG1/X0A および PG2/X1A は、サブクロック発振端子として使用されている場合、リセットが行われると、この状態に遷移します。
- *7: プルアップ制御の設定がまだ有効です。
- *8: MB95710L シリーズと MB95770L シリーズは、下表のように SEG 出力配置が異なります。

SEG 出力	MB95710L シリーズの端子	MB95770L シリーズの端子
SEG06	PC4	P60
SEG07	PC5	P61
SEG08	PC6	P62
SEG09	PC7	P63
SEG10	P60	P64
SEG11	P61	P65
SEG12	P62	P66
SEG13	P63	P67
SEG14	P64	PE0
SEG15	P65	PE1
SEG16	P66	PE2
SEG17	P67	PE3
SEG18	P43	PE4
SEG19	P42	PE5
SEG20	P41	PE6
SEG21	P40	PE7
SEG22	PE0	P07

SEG 出力	MB95710L シリーズの端子	MB95770L シリーズの端子
SEG23	PE1	P06
SEG24	PE2	P05
SEG25	PE3	P04
SEG26	PE4	P03
SEG27	PE5	P02
SEG28	PE6	P01
SEG29	PE7	P00
SEG30	P07	P16
SEG31	P06	P15
SEG32	P05	—
SEG33	P04	—
SEG34	P03	—
SEG35	P02	—
SEG36	P01	—

- *9: MB95770L シリーズでは, TO00 は P01 に, TO0 は P10 に, TO01 は P13 に, EC0 と TI0 は P14 に割り当てられています。
- *10: 入力が増断されますが, 外部増断み要求が許可される場合, 外部増断みが入力できます。
- *11: ストップモードと時計モードでもコンパレータの出力機能が動作しています。
- *12: 入力が増断されますが, コンパレータ増断みが許可される場合, コンパレータ増断みがアナログ信号の入力により発生できます。
- *13: I²C バスインタフェースは, MCU スタンバイモードウェイクアップ機能を許可した場合, ストップモードまたは時計モードでは MCU をウェイクアップできます。MCU スタンバイモードウェイクアップ機能の詳細については, 「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」の「第 23 章 I²C バスインタフェース」を参照してください。
- *14: P40/SEG21, P41/SEG20, P42/SEG19, P43/SEG18, P50/TO01, P51/EC0, P52/TI0/TO00, P53/TO0, P94/V0, PB2/SEG37, PB3/SEG38, PB4/SEG39, PC4/SEG06, PC5/SEG07, PC6/SEG08 と PC7/SEG09 は MB95710L シリーズにのみ存在します。

22. 電気的特性

22.1 絶対最大定格

項目	記号	定格値		単位	備考
		最小	最大		
電源電圧 *1	V_{CC}	$V_{SS} - 0.3$	$V_{SS} + 6$	V	
入力電圧 *1	V_I	$V_{SS} - 0.3$	$V_{SS} + 6$	V	*2
出力電圧 *1	V_O	$V_{SS} - 0.3$	$V_{SS} + 6$	V	*2
最大クランプ電流	I_{CLAMP}	-2	+2	mA	特定端子に適用します。*3
最大総クランプ電流	$\Sigma I_{CLAMP} $	—	20	mA	特定端子に適用します。*3
“L” レベル最大出力電流	I_{OL}	—	15	mA	
“L” レベル平均電流	I_{OLAV}	—	4	mA	平均出力電流 = 動作電流 × 動作率 (端子 1 本)
“L” レベル最大総出力電流	ΣI_{OL}	—	100	mA	
“L” レベル平均総出力電流	ΣI_{OLAV}	—	50	mA	平均総出力電流 = 動作電流 × 動作率 (端子の総数)
“H” レベル最大出力電流	I_{OH}	—	-15	mA	
“H” レベル平均電流	I_{OHAV}	—	-4	mA	平均出力電流 = 動作電流 × 動作率 (端子 1 本)
“H” レベル最大総出力電流	ΣI_{OH}	—	-100	mA	
“H” レベル平均総出力電流	ΣI_{OHAV}	—	-50	mA	平均総出力電流 = 動作電流 × 動作率 (端子の総数)
消費電力	P_d	—	320	mW	
動作温度	T_A	-40	+85	°C	
保存温度	T_{stg}	-55	+150	°C	

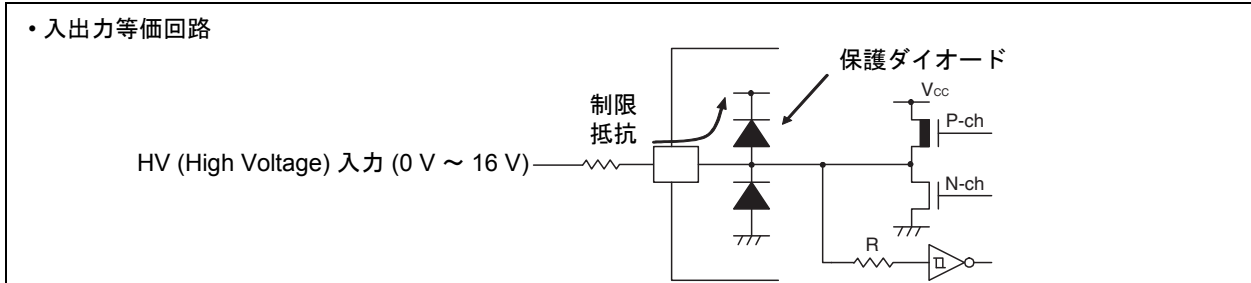
*1: $V_{SS} = 0.0$ V を基準にしています。

*2: V_I , V_O は $V_{CC} + 0.3$ V を超えてはいけません。 V_I は定格電圧を超えてはいけません。ただし、外部の部品を使用して入力への電流または入力からの電流の最大値を制限する場合は、 V_I 定格に代わって I_{CLAMP} 定格が適用されます。

*3: 特定端子：P00 ~ P07, P10, P11, P13 ~ P16, P20 ~ P22, P40 ~ P43, P50 ~ P53, P60 ~ P67, P90 ~ P94, PA0 ~ PA7, PB0 ~ PB4, PC0 ~ PC7, PE0 ~ PE7, PF0, PF1, PG1, PG2 (P40 ~ P43, P50 ~ P53, P94, PB2 ~ PB4 と PC4 ~ PC7 は MB95710L シリーズにのみ存在します。)

- 推奨動作条件下で使用してください。
- 直流電圧 (電流) で使用してください。
- HV (High Voltage) 信号は、 V_{CC} 電圧を超える入力信号です。HV (High Voltage) 信号とマイクロコントローラの間には、必ず制限抵抗を接続し HV (High Voltage) 信号を印加してください。
- HV (High Voltage) 入力時にマイクロコントローラ端子に入力される電流が、瞬時・定常を問わず規格値以下になるように制限抵抗の値を設定してください。
- 低消費電力モードなど、マイクロコントローラの駆動電流が少ない動作状態では、HV (High Voltage) 入力電位が保護ダイオードを通して V_{CC} 端子の電位を上昇させ、ほかの機器へ影響を及ぼします。
- マイクロコントローラ電源が OFF 時 (0 V に固定していない場合) に HV (High Voltage) 入力がある場合は、端子から電源が供給されているため、不完全な動作を行う可能性があります。
- 電源投入時に HV (High Voltage) 入力がある場合は、端子から電源が供給されているため、パワーオンリセットが動作しない電源電圧になる可能性があります。
- HV (High Voltage) 入力端子は、開放状態にならないようにしてください。

• 推奨回路例



<注意事項> 絶対最大定格を超えるストレス（電圧，電流，温度など）の印加は，半導体デバイスを破壊する可能性があります。
 したがって，定格を一項目でも超えることのないようご注意ください。

22.2 推奨動作条件

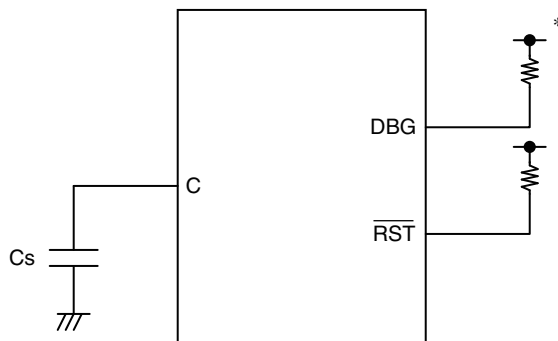
(V_{SS} = 0.0 V)

項目	記号	規格値		単位	備考
		最小	最大		
電源電圧	V _{CC}	1.8* ¹	5.5	V	通常動作の場合
バイパスコンデンサ	C _S	0.2	10	μF	1.0 μF 程度のコンデンサを推奨 * ²
動作温度	T _A	-40	+85	°C	オンチップデバッグモード以外
		+5	+35		オンチップデバッグモード

*1: 低電圧検出しリセットあり品使用時またはオンチップデバッグモード使用時では、電源電圧の最小値は 2.18 V となります。

*2: セラミックコンデンサまたは同程度の周波数特性のコンデンサを使用してください。バイパスコンデンサ C_S への接続は下図を参照してください。ノイズによってデバイスが意図せずに不明なモードに入るのを防止するため、プリント基板のレイアウトを設計するときは、C 端子から C_S への距離および C_S から V_{SS} 端子への距離を最小限にしてください。

• DBG / $\overline{\text{RST}}$ / C 端子配列図



*: DBG 端子は 2 kΩ 以上の外部のプルアップ抵抗に接続してください。パワーオン後、リセット出力が解除されるまでの間、DBG 端子が “L” レベルのままにならないようにしてください。DBG 端子はデバッグモード時に通信端子となります。実際のプルアップ抵抗値は、使用するツールや配線長に依存するため、ツールのドキュメントに従ってプルアップ抵抗を選択してください。

<注意事項> 推奨動作条件は、半導体デバイスの正常な動作を確保するための条件です。電気的特性の規格値は、すべてこの条件の範囲内で保証されます。常に推奨動作条件下で使用してください。この条件を超えて使用すると信頼性に悪影響を及ぼすことがあります。

データシートに記載されていない項目、使用条件、論理の組合せでの使用は、保証していません。記載されている以外の条件での使用をお考えの場合は、必ず事前に営業部門までご相談ください。

22.3 直流規格

 $(V_{CC} = 3.0\text{ V} \pm 10\%, V_{SS} = 0.0\text{ V}, T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C})$

項目	記号	端子名	条件	規格値			単位	備考
				最小	標準	最大		
“H” レベル 入力電圧	V_{IH1}	P01, P04, P10, P22, P23	*1	$0.7 V_{CC}$	—	$V_{CC} + 0.3$	V	
	V_{IHS}	P00 ~ P07, P10 ~ P17, P20 ~ P23, P40 ~ P43*2, P50 ~ P53*2, P60 ~ P67, P90 ~ P93, P94*2, PA0 ~ PA7, PB0, PB1, PB2 ~ PB4*2, PC0 ~ PC3, PC4 ~ PC7*2, PE0 ~ PE7, PF0, PF1, PG1, PG2	*1	$0.8 V_{CC}$	—	$V_{CC} + 0.3$	V	ヒステリシス入力
	V_{IHM}	PF2	—	$0.7 V_{CC}$	—	$V_{CC} + 0.3$	V	ヒステリシス入力
“L” レベル 入力電圧	V_{ILI}	P01, P04, P10, P22, P23	*1	$V_{SS} - 0.3$	—	$0.3 V_{CC}$	V	
	V_{ILS}	P00 ~ P07, P10 ~ P17, P20 ~ P23, P40 ~ P43*2, P50 ~ P53*2, P60 ~ P67, P90 ~ P93, P94*2, PA0 ~ PA7, PB0, PB1, PB2 ~ PB4*2, PC0 ~ PC3, PC4 ~ PC7*2, PE0 ~ PE7, PF0, PF1, PG1, PG2	*1	$V_{SS} - 0.3$	—	$0.2 V_{CC}$	V	ヒステリシス入力
	V_{ILM}	PF2	—	$V_{SS} - 0.3$	—	$0.3 V_{CC}$	V	ヒステリシス入力
オープン ドレイン 出力印加 電圧	V_D	P12, P22, P23, PF2	—	$V_{SS} - 0.3$	—	$V_{SS} + 5.5$	V	
“H” レベル 出力電圧	V_{OH}	P12, P22, P23, PF2 以外の出力 端子	$I_{OH} = -4\text{ mA}^*3$	$V_{CC} - 0.5$	—	—	V	
“L” レベル 出力電圧	V_{OL1}	すべての出力 端子	$I_{OL} = 4\text{ mA}^*4$	—	—	0.4	V	

$(V_{CC} = 3.0\text{ V} \pm 10\%, V_{SS} = 0.0\text{ V}, T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C})$

項目	記号	端子名	条件	規格値			単位	備考
				最小	標準	最大		
入力リーク電流 (Hi-Z 出力リーク電流)	I_{LI}	すべての入力端子	$0.0\text{ V} < V_I < V_{CC}$	-5	—	+5	μA	内部プルアップ抵抗が禁止されている場合
内部プルアップ抵抗	R_{PULL}	P10, P11, P13, P14, P17, P20, P21, P50 ~ P53*2, PG1, PG2	$V_I = 0\text{ V}$	75	100	150	$\text{k}\Omega$	内部プルアップ抵抗が許可されている場合
入力容量	C_{IN}	V_{CC}, V_{SS} 以外	$f = 1\text{ MHz}$	—	5	15	pF	
電源電流 *6	I_{CC}	V_{CC} (外部クロック動作)	$F_{CH} = 32\text{ MHz}$ $F_{MP} = 16\text{ MHz}$ メインクロックモード (2 分周)	—	4.7	7.3	mA	フラッシュメモリ書込み, 消去以外の場合
				—	9.8	15.8	mA	フラッシュメモリ書込み, 消去の場合
	I_{CCS}		$F_{CH} = 32\text{ MHz}$ $F_{MP} = 16\text{ MHz}$ メインスリープモード (2 分周)	—	2.1	3.4	mA	
	I_{CCL}		$F_{CL} = 32\text{ kHz}$ $F_{MPL} = 16\text{ kHz}$ サブクロックモード (2 分周) $T_A = +25\text{ }^{\circ}\text{C}$	—	35	60	μA	
	I_{CCLS}		$F_{CL} = 32\text{ kHz}$ $F_{MPL} = 16\text{ kHz}$ サブスリープモード (2 分周) $T_A = +25\text{ }^{\circ}\text{C}$	—	2	7	μA	
	I_{CCT}		$F_{CL} = 32\text{ kHz}$ 時計モード メインストップモード $T_A = +25\text{ }^{\circ}\text{C}$	—	1.2	6.2	μA	
	I_{CCMPLL}		$F_{MPLL} = 16\text{ MHz}$ $F_{MP} = 16\text{ MHz}$ メイン PLL クロック モード (4 通倍)	—	5.3	8.5	mA	
	$I_{CCMCRPLL}$		$F_{MCRPLL} = 16\text{ MHz}$ $F_{MP} = 16\text{ MHz}$ メイン CR PLL クロック モード (4 通倍)	—	4.9	8.3	mA	
	I_{CCMCR}		$F_{CRH} = 4\text{ MHz}$ $F_{MP} = 4\text{ MHz}$ メイン CR クロック モード	—	1.7	3.4	mA	
	I_{CCSCR}		サブ CR クロックモード $T_A = +25\text{ }^{\circ}\text{C}$	—	54	100	μA	

$(V_{CC} = 3.0\text{ V} \pm 10\%, V_{SS} = 0.0\text{ V}, T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C})$

項目	記号	端子名	条件	規格値			単位	備考
				最小	標準 *1	最大 *5		
電源電流 *6	I_{CCTS}	V_{CC} (外部クロック動作)	$F_{CH} = 32\text{ MHz}$ タイムベースタイマモード $T_A = +25\text{ }^{\circ}\text{C}$	—	450	500	μA	
	I_{CCH}		サブストップモード $T_A = +25\text{ }^{\circ}\text{C}$	—	0.7	5	μA	
	I_A	AV_{CC}	$F_{CH} = 16\text{ MHz}$ A/D コンバータの消費電流	—	1.8	3.2	mA	
	I_{AH}		$F_{CH} = 16\text{ MHz}$ A/D コンバータが停止しているときの消費電流	—	0.1	1.7	μA	
	I_V		$F_{CH} = 16\text{ MHz}$ コンパレータの消費電流	—	160	700	μA	
	I_{PLVD}	V_{CC}	低電圧検出リセット回路動作時の消費電流	—	6	26	μA	
	I_{ILVD}		低電圧検出割込み回路動作時の消費電流 (通常モード)	—	6	14	μA	
	I_{ILVDL}		低電圧検出割込み回路動作時の消費電流 (低消費電力モード)	—	3	10	μA	
	I_{CRH}		メイン CR 発振器の消費電流	—	270	320	μA	
	I_{CRL}		サブ CR 発振器を 100 kHz で発振させる場合の消費電流	—	5	20	μA	
	I_{SOSC}		サブ発振器の消費電流	—	0.8	7	μA	
LCD 内部分割抵抗	R_{LCD}	—	V_4 と V_{SS} の間	—	400	—	k Ω	
				—	40	—	k Ω	
COM0 ~ COM7 出力インピーダンス	R_{VCOM}	COM0 ~ COM7		—	—	5	k Ω	
SEG00 ~ SEG39*7 の出力インピーダンス	R_{VSEG}	SEG00 ~ SEG39*7	$V_1 \sim V_4 = 4.1\text{ V}$	—	—	7	k Ω	
LCD リーク電流	I_{LCDL}	V_0 *8 ~ V_4 , COM0 ~ COM7, SEG00 ~ SEG39*7	—	-1	—	+1	μA	

*1: $V_{CC} = 3.0\text{ V}$, $T_A = +25\text{ }^{\circ}\text{C}$

*2: P40 ~ P43, P50 ~ P53, P94 と PB2 ~ PB4 は MB95710L シリーズにのみ存在します。

*3: V_{CC} が 4.5 V 未満の場合は, 条件は $I_{OH} = -2\text{ mA}$ になります。

*4: V_{CC} が 4.5 V 未満の場合は, 条件は $I_{OL} = 2\text{ mA}$ になります。

*5: $V_{CC} = 3.3\text{ V}$, $T_A = +85\text{ }^{\circ}\text{C}$ (別記のない限り)

- *6: • 電源電流は外部クロックで規定されています。低電圧検出リセット回路が選択された場合は、低電圧検出リセット回路の消費電流の値 (I_{PLVD}) を $I_{CC} \sim I_{CCH}$ のどれか 1 つの値に足した合計が電源電流となります。また、低電圧検出リセット回路と CR 発振器の両方が選択された場合は、低電圧検出リセット回路の消費電流 (I_{PLVD})、CR 発振器の消費電流 (I_{CRH} または I_{CRL}) および $I_{CC} \sim I_{CCH}$ のどれか 1 つの値を足した合計が電源電流となります。オンチップデバッグモードでは、メイン CR 発振器 (I_{CRH}) と低電圧検出リセット回路も常に動作するため、それに応じて消費電流が増大します。
- F_{CH} , F_{CL} , F_{CRH} , F_{MCRPLL} と F_{MPLL} は、「22.4 交流規格 22.4.1 クロックタイミング」を参照してください。
 - F_{MP} と F_{MPL} は、「22.4 交流規格 22.4.2 ソースクロック / マシンクロック」を参照してください。
 - サブクロックモードにおける電源電流は外部クロックの使用で規定されており、水晶振動子を使用した場合は外部クロック使用時に比べて消費電流が増大します。水晶振動子を使用した場合の電源電流は、外部クロック使用時の電源電流に対して I_{SOSC} (サブ発振器の消費電流) を足した合計となります。サブクロックの制御の詳細は、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」の「第 3 章 クロック制御部」と「第 30 章 システム構成レジスタ」を参照してください。
- *7: SEG32 ~ SEG39 は MB95710L シリーズにのみ存在します。
- *8: V0 は MB95710L シリーズにのみ存在します。

22.4 交流規格

22.4.1 クロックタイミング

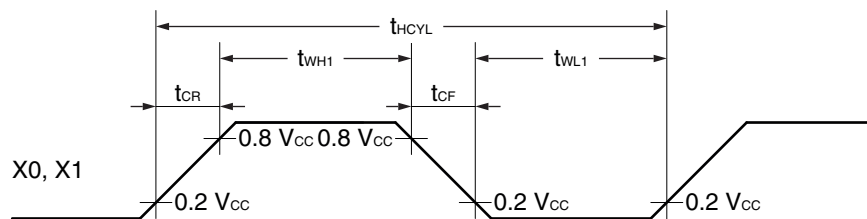
 $(V_{CC} = 1.8\text{ V} \sim 5.5\text{ V}, V_{SS} = 0.0\text{ V}, T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C})$

項目	記号	端子名	条件	規格値			単位	備考
				最小	標準	最大		
クロック周波数	F_{CH}	X0, X1	—	1	—	16.25	MHz	メイン発振回路使用の場合
		X0	—	1	—	32.5	MHz	メイン外部クロック使用の場合
		X0, X1	—	4	—	8.13	MHz	動作条件 • メインクロック使用 • PLL 通倍率 : 2
				4	—	6.5	MHz	動作条件 • メインクロック使用 • PLL 通倍率 : 2.5
				4	—	5.41	MHz	動作条件 • メインクロック使用 • PLL 通倍率 : 3
				4	—	4.06	MHz	動作条件 • メインクロック使用 • PLL 通倍率 : 4
	F_{CRH}	—	—	3.92	4	4.08	MHz	動作条件 • メイン CR クロック使用 • $0\text{ }^{\circ}\text{C} \leq T_A \leq +70\text{ }^{\circ}\text{C}$
				3.8	4	4.2	MHz	動作条件 • メイン CR クロック使用 • $-40\text{ }^{\circ}\text{C} \leq T_A < 0\text{ }^{\circ}\text{C}$, $+70\text{ }^{\circ}\text{C} < T_A \leq +85\text{ }^{\circ}\text{C}$
	F_{MCRPLL}	—	—	7.84	8	8.16	MHz	動作条件 • PLL 通倍率 : 2 • $0\text{ }^{\circ}\text{C} \leq T_A \leq +70\text{ }^{\circ}\text{C}$
				7.6	8	8.4	MHz	動作条件 • PLL 通倍率 : 2 • $-40\text{ }^{\circ}\text{C} \leq T_A < 0\text{ }^{\circ}\text{C}$, $+70\text{ }^{\circ}\text{C} < T_A \leq +85\text{ }^{\circ}\text{C}$
				9.8	10	10.2	MHz	動作条件 • PLL 通倍率 : 2.5 • $0\text{ }^{\circ}\text{C} \leq T_A \leq +70\text{ }^{\circ}\text{C}$
				9.5	10	10.5	MHz	動作条件 • PLL 通倍率 : 2.5 • $-40\text{ }^{\circ}\text{C} \leq T_A < 0\text{ }^{\circ}\text{C}$, $+70\text{ }^{\circ}\text{C} < T_A \leq +85\text{ }^{\circ}\text{C}$

$(V_{CC} = 1.8\text{ V} \sim 5.5\text{ V}, V_{SS} = 0.0\text{ V}, T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C})$

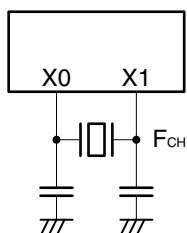
項目	記号	端子名	条件	規格値			単位	備考
				最小	標準	最大		
クロック周波数	F_{MCRPLL}	—	—	11.76	12	12.24	MHz	動作条件 • PLL 通倍率 : 3 • $0\text{ }^{\circ}\text{C} \leq T_A \leq +70\text{ }^{\circ}\text{C}$
				11.4	12	12.6	MHz	動作条件 • PLL 通倍率 : 3 • $-40\text{ }^{\circ}\text{C} \leq T_A < 0\text{ }^{\circ}\text{C}$, $+70\text{ }^{\circ}\text{C} < T_A \leq +85\text{ }^{\circ}\text{C}$
				15.68	16	16.32	MHz	動作条件 • PLL 通倍率 : 4 • $0\text{ }^{\circ}\text{C} \leq T_A \leq +70\text{ }^{\circ}\text{C}$
				15.2	16	16.8	MHz	動作条件 • PLL 通倍率 : 4 • $-40\text{ }^{\circ}\text{C} \leq T_A < 0\text{ }^{\circ}\text{C}$, $+70\text{ }^{\circ}\text{C} < T_A \leq +85\text{ }^{\circ}\text{C}$
	F_{MPLL}	—	—	8	—	16	MHz	メイン PLL クロック使用の場合
	F_{CL}	X0A, X1A	—	—	32.768	—	kHz	サブ発振回路使用の場合
				—	32.768	—	kHz	サブ外部クロック使用の場合
	F_{CRL}	—	—	50	100	150	kHz	サブ CR クロック使用の場合
クロック サイクルタイム	t_{HCYL}	X0, X1	—	61.5	—	1000	ns	メイン発振回路使用の場合
		X0	—	30.8	—	1000	ns	外部クロック使用の場合
		X0, X1	—	—	250	—	ns	メイン PLL クロック使用の場合
	t_{LCYL}	X0A, X1A	—	—	30.5	—	μs	サブクロック使用の場合
入力クロック パルス幅	t_{WH1} , t_{WL1}	X0	—	12.4	—	—	ns	外部クロック使用の場合, デューティ比は 40 % ~ 60 % の 範囲としてください。
		X0, X1	—	—	125	—	ns	メイン PLL クロック使用の場合
	t_{WH2} , t_{WL2}	X0A	—	—	15.2	—	μs	外部クロック使用の場合, デューティ比は 40 % ~ 60 % の 範囲としてください。
入力クロックの 立上り時間と 立下り時間	t_{CR} , t_{CF}	X0, X0A	—	—	—	5	ns	外部クロック使用の場合
CR 発振開始時間	t_{CRHWK}	—	—	—	—	50	μs	メイン CR クロック使用の場合
	t_{CRLWK}	—	—	—	—	30	μs	サブ CR クロック使用の場合
PLL 発振開始 時間	$t_{MCRPLLWK}$	—	—	—	—	100	μs	メイン CR PLL クロック使用の 場合

• 外部クロック (メインクロック) 使用時の発生入力波形

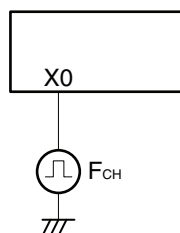


• メインクロック入力ポート外部接続図

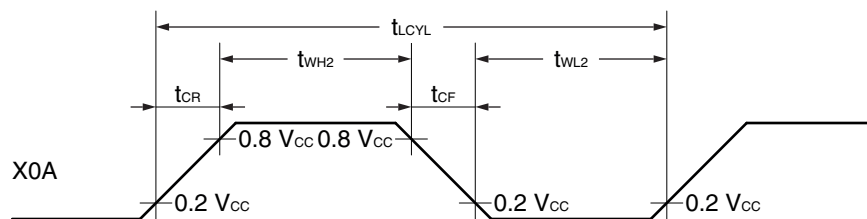
水晶振動子使用時または
セラミック振動子使用時



外部クロック使用時

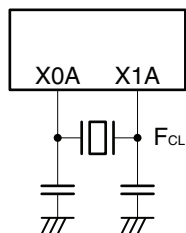


• 外部クロック (サブクロック) 使用時の発生入力波形

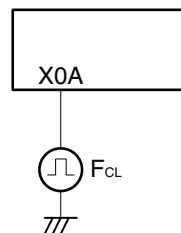


• サブクロック入力ポート外部接続図

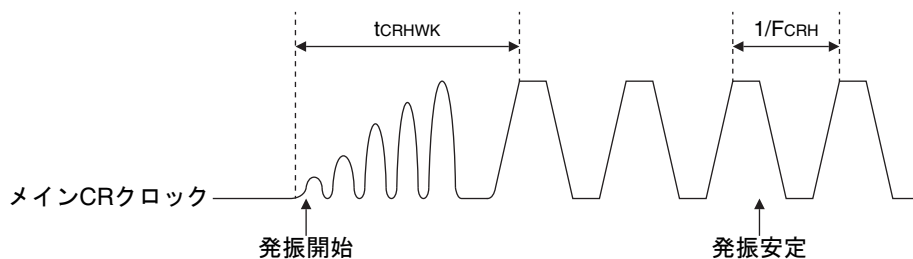
水晶振動子使用時または
セラミック振動子使用時



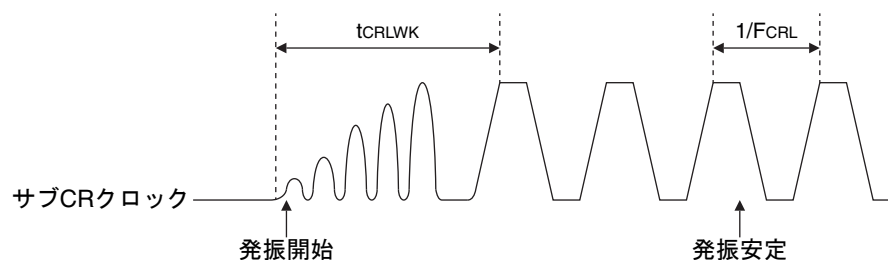
外部クロック使用時



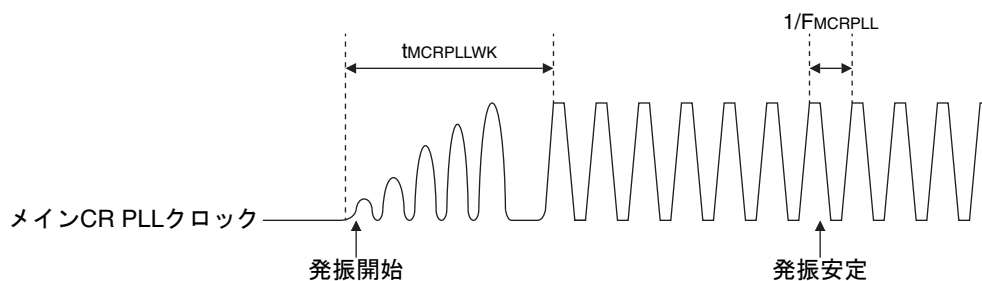
- 内部クロック (メイン CR クロック) 使用時の発生入力波形



- 内部クロック (サブ CR クロック) 使用時の発生入力波形



- 内部クロック (メイン CR PLL クロック) 使用時の発生入力波形



22.4.2 ソースクロック / マシンクロック

($V_{CC} = 1.8 \text{ V} \sim 5.5 \text{ V}$, $V_{SS} = 0.0 \text{ V}$, $T_A = -40 \text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85 \text{ }^{\circ}\text{C}$)

項目	記号	端子名	規格値			単位	備考
			最小	標準	最大		
ソースクロック サイクルタイム *1	t _{SCLK}	—	61.5	—	2000	ns	メイン外部クロック使用の場合 最小：F _{CH} = 32.5 MHz, 2 分周 最大：F _{CH} = 1 MHz, 2 分周
			—	250	—	ns	メイン CR クロック使用の場合
			62.5	—	250	ns	メイン PLL クロック使用の場合 最小：F _{CH} = 4 MHz, 4 通倍 最大：F _{CH} = 4 MHz, 分周なし
			62.5	—	250	ns	メイン CR PLL クロック使用の場合 最小：F _{CRH} = 4 MHz, 4 通倍 最大：F _{CRH} = 4 MHz, 分周なし
			—	61	—	μs	サブ発振クロック使用の場合 F _{CL} = 32.768 kHz, 2 分周
			—	20	—	μs	サブ CR クロック使用の場合 F _{CRL} = 100 kHz, 2 分周
ソースクロック 周波数	F _{SP}	—	0.5	—	16.25	MHz	メイン発振クロック使用の場合
			—	4	—	MHz	メイン CR クロック使用の場合
			8	—	16	MHz	メイン PLL クロック使用の場合
			8	—	16	MHz	メイン CR PLL クロック使用の場合
	F _{SPL}		—	16.384	—	kHz	サブ発振クロック使用の場合
			—	50	—	kHz	サブ CR クロック使用の場合 F _{CRL} = 100 kHz, 2 分周
マシンクロック サイクルタイム *2 (最小命令実行 時間)	t _{MCLK}	—	61.5	—	32000	ns	メイン発振クロック使用の場合 最小：F _{SP} = 16.25 MHz, 分周なし 最大：F _{SP} = 0.5 MHz, 16 分周
			250	—	4000	ns	メイン CR クロック使用の場合 最小：F _{SP} = 4 MHz, 分周なし 最大：F _{SP} = 4 MHz, 16 分周
			62.5	—	2000	ns	メイン PLL クロック使用の場合 最小：F _{SP} = 4 MHz, 4 通倍 最大：F _{SP} = 4 MHz, 16 分周
			62.5	—	2000	ns	メイン CR PLL クロック使用の場合 最小：F _{SP} = 4 MHz, 4 通倍 最大：F _{SP} = 4 MHz, 16 分周
			61	—	976.5	μs	サブ発振クロック使用の場合 最小：F _{SPL} = 16.384 kHz, 分周なし 最大：F _{SPL} = 16.384 kHz, 16 分周
			20	—	320	μs	サブ CR クロック使用の場合 最小：F _{SPL} = 50 kHz, 分周なし 最大：F _{SPL} = 50 kHz, 16 分周

$(V_{CC} = 1.8\text{ V} \sim 5.5\text{ V}, V_{SS} = 0.0\text{ V}, T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C})$

項目	記号	端子名	規格値			単位	備考
			最小	標準	最大		
マシニングクロック 周波数	F _{MP}	—	0.031	—	16.25	MHz	メイン発振クロック使用の場合
			0.25	—	4	MHz	メイン CR クロック使用の場合
			0.5	—	16	MHz	メイン PLL クロック使用の場合
			0.5	—	16	MHz	メイン CR PLL クロック使用の場合
	F _{MPL}		1.024	—	16.384	kHz	サブ発振クロック使用の場合
			3.125	—	50	kHz	サブ CR クロック使用の場合 F _{CRL} = 100 kHz

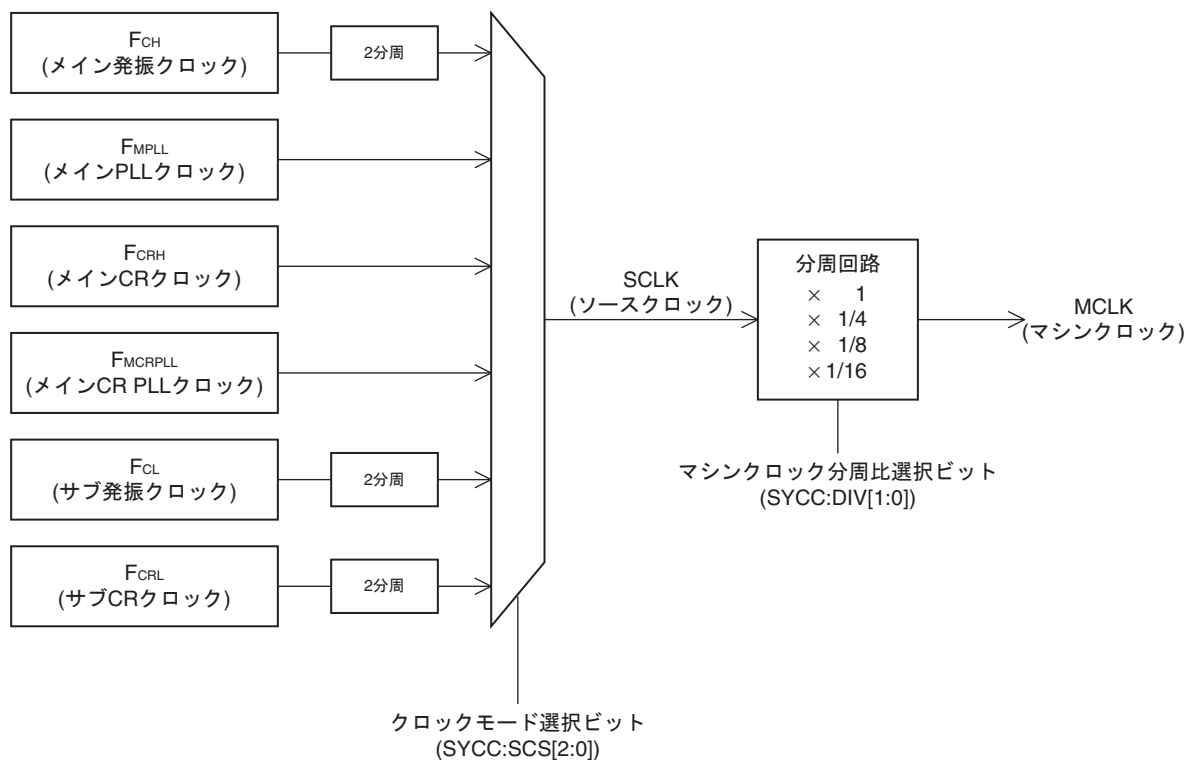
*1: マシニングクロック分周比選択ビット (SYCC:DIV[1:0]) によって設定される分周比にしたがって分周される前のクロックです。本ソースクロックがマシニングクロック分周比選択ビット (SYCC:DIV[1:0]) によって設定される分周比にしたがって分周され、マシニングクロックとなります。なお、ソースクロックは、以下から選択できます。

- メインクロックの 2 分周
- メインクロックの PLL 通倍 (2, 2.5, 3, 4 通倍から選択)
- メイン CR クロック
- メイン CR クロックの PLL 通倍 (2, 2.5, 3, 4 通倍から選択)
- サブクロックの 2 分周
- サブ CR クロックの 2 分周

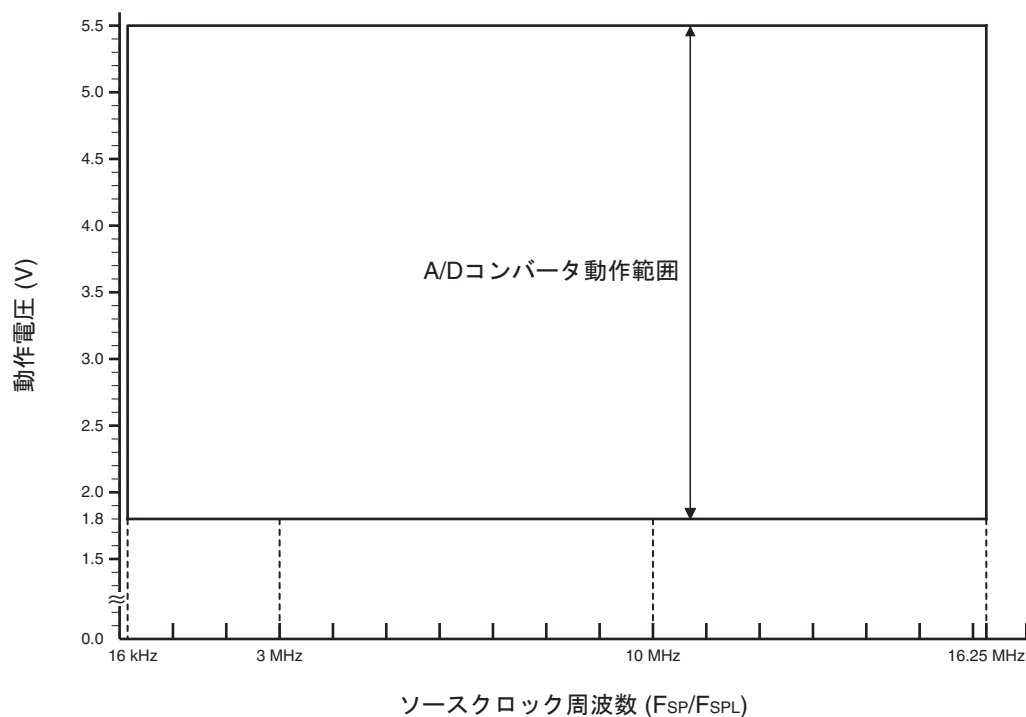
*2: マイクロコントローラの動作クロックです。マシニングクロックは、以下から選択できます。

- ソースクロック (分周なし)
- ソースクロックの 4 分周
- ソースクロックの 8 分周
- ソースクロックの 16 分周

• クロック生成部の概略図



• 動作電圧 – 動作周波数 ($T_A = -40^\circ\text{C} \sim +85^\circ\text{C}$)

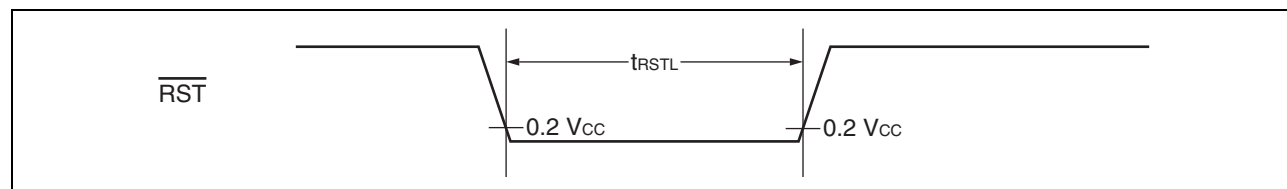


22.4.3 外部リセット

($V_{CC} = 3.0\text{ V} \sim 5.5\text{ V}$, $V_{SS} = 0.0\text{ V}$, $T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C}$)

項目	記号	規格値		単位	備考
		最小	最大		
$\overline{\text{RST}}$ “L” レベル パルス幅	t_{RSTL}	$2 t_{\text{MCLK}}^*$	—	ns	

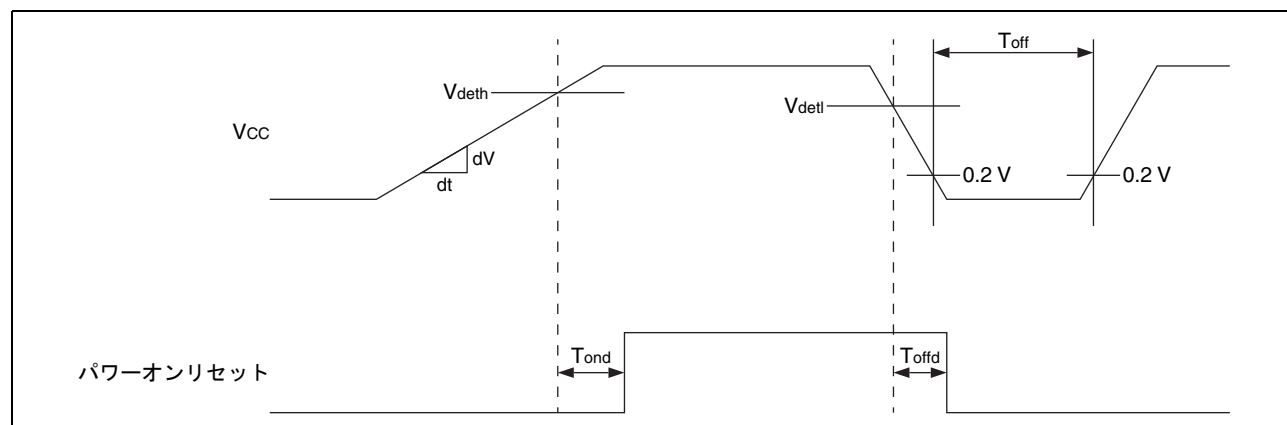
*: t_{MCLK} については「22.4.2 ソースクロック / マシンクロック」を参照してください。



22.4.4 パワーオンリセット

($V_{SS} = 0.0\text{ V}$, $T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C}$)

項目	記号	端子名	規格値			単位	備考
			最小	標準	最大		
電源立上り時間	dV/dt	V_{CC}	0.1	—	—	V/ms	
電源切断時間	T_{off}		1	—	—	ms	
リセット解除電圧	V_{deth}		1.44	1.60	1.76	V	電圧上昇時
リセット検出電圧	V_{detl}		1.39	1.55	1.71	V	電圧下降時
リセット解除遅延時間	T_{ond}		—	—	10	ms	$dV/dt \geq 0.1\text{ mV}/\mu\text{s}$
リセット検出遅延時間	T_{offd}		—	—	0.4	ms	$dV/dt \geq -0.04\text{ mV}/\mu\text{s}$

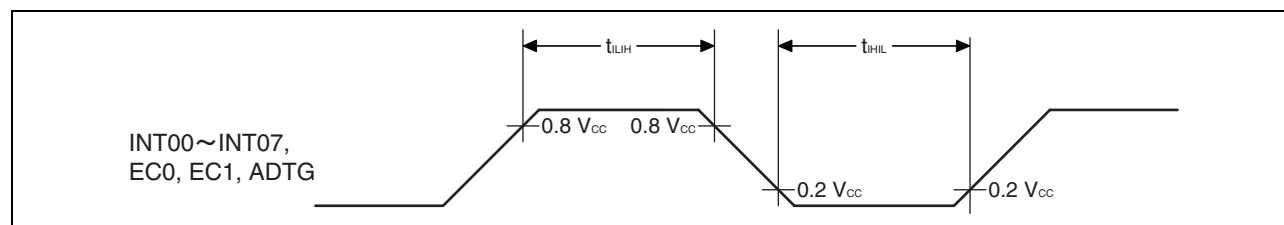


22.4.5 周辺入力タイミング

 $(V_{CC} = 3.0\text{ V} \sim 5.5\text{ V}, V_{SS} = 0.0\text{ V}, T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C})$

項目	記号	端子名	規格値		単位
			最小	最大	
周辺入力“H”パルス幅	t_{LH}	INT00 ~ INT07, EC0, EC1, ADTG	$2 t_{MCLK}^*$	—	ns
周辺入力“L”パルス幅	t_{HL}		$2 t_{MCLK}^*$	—	ns

*: t_{MCLK} については、「22.4.2 ソースクロック / マシンクロック」を参照してください。



22.4.6 低電圧検出

• 通常モード

 $(V_{CC} = 1.8\text{ V} \sim 5.5\text{ V}, V_{SS} = 0.0\text{ V}, T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C})$

項目	記号	規格値			単位	備考
		最小	標準	最大		
リセット解除電圧	V_{PDL+}	1.88	2.03	2.18	V	電源上昇の場合
リセット検出電圧	V_{PDL-}	1.8	1.93	2.06	V	電源降下の場合
割込み解除電圧 0	V_{IDL0+}	2.13	2.3	2.47	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 0	V_{IDL0-}	2.05	2.2	2.35	V	電源降下の場合
割込み解除電圧 1	V_{IDL1+}	2.41	2.6	2.79	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 1	V_{IDL1-}	2.33	2.5	2.67	V	電源降下の場合
割込み解除電圧 2	V_{IDL2+}	2.69	2.9	3.11	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 2	V_{IDL2-}	2.61	2.8	2.99	V	電源降下の場合
割込み解除電圧 3	V_{IDL3+}	3.06	3.3	3.54	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 3	V_{IDL3-}	2.98	3.2	3.42	V	電源降下の場合
割込み解除電圧 4	V_{IDL4+}	3.43	3.7	3.97	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 4	V_{IDL4-}	3.35	3.6	3.85	V	電源降下の場合
割込み解除電圧 5	V_{IDL5+}	3.81	4.1	4.39	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 5	V_{IDL5-}	3.73	4	4.27	V	電源降下の場合
電源開始電圧	V_{off}	—	—	1.6	V	
電源到達電圧	V_{on}	4.39	—	—	V	
電源電圧変化時間 (電源上昇の場合)	t_r	697.5	—	—	μs	リセット解除信号が規格内 (V_{PDL+}/V_{IDL+}) で発生する電源の傾き
電源電圧変化時間 (電源降下の場合)	t_f	697.5	—	—	μs	リセット検出信号が規格内 (V_{PDL-}/V_{IDL-}) で発生する電源の傾き
リセット解除遅延時間	t_{dp1}	—	—	30	μs	
リセット検出遅延時間	t_{dp2}	—	—	30	μs	

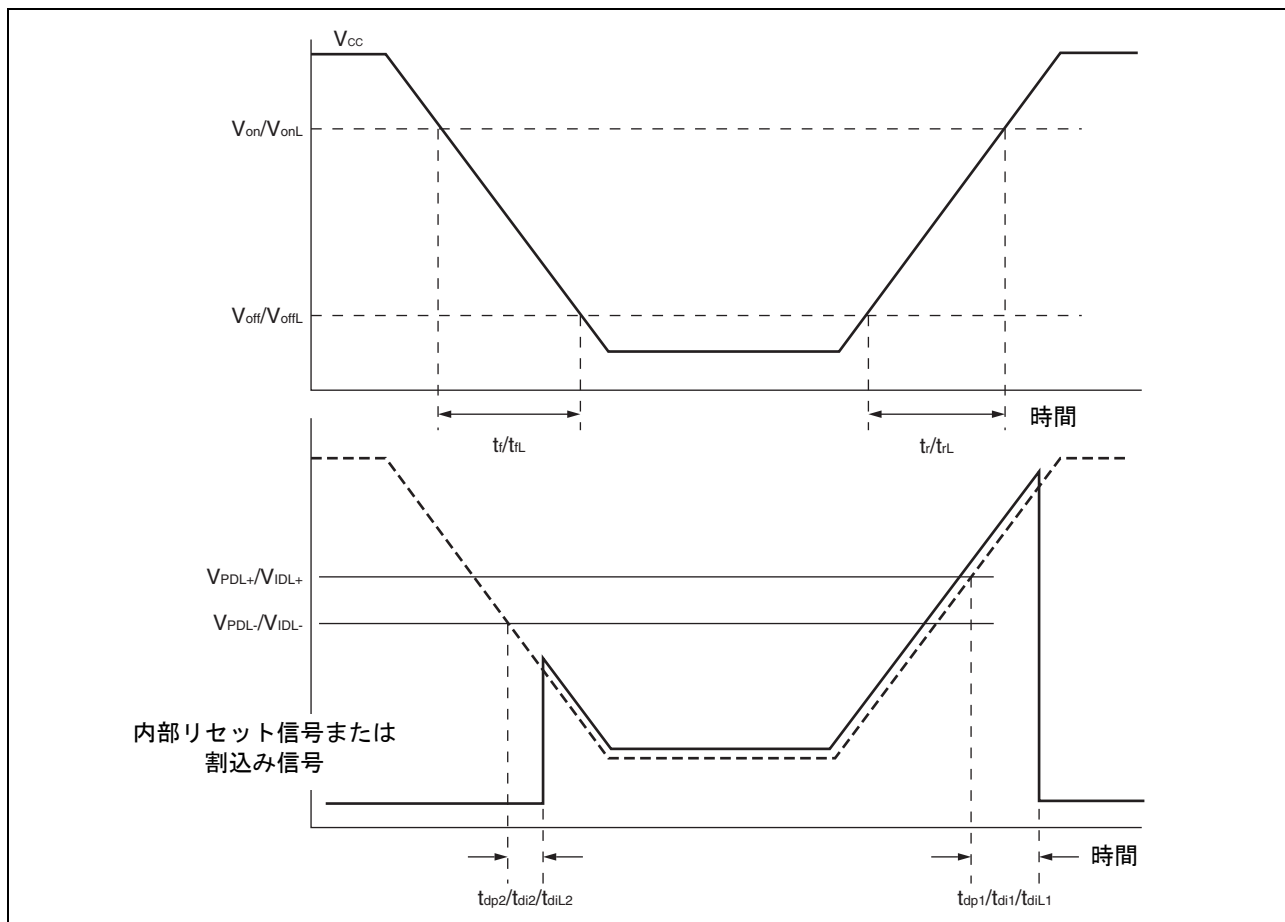
項目	記号	規格値			単位	備考
		最小	標準	最大		
割込み解除遅延時間	t_{di1}	—	—	30	μs	
割込み検出遅延時間	t_{di2}	—	—	30	μs	
割込みしきい値電圧遷移安定時間	t_{stb}	—	—	30	μs	

• 低消費電力モード

($V_{CC} = 1.8 V \sim 5.5 V$, $V_{SS} = 0.0 V$, $T_A = -40 ^\circ C \sim +85 ^\circ C$)

項目	記号	規格値			単位	備考
		最小	標準	最大		
割込み解除電圧 0	V_{IDLL0+}	2.06	2.3	2.54	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 0	V_{IDLL0-}	1.98	2.2	2.42	V	電源降下の場合
割込み解除電圧 1	V_{IDLL1+}	2.33	2.6	2.87	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 1	V_{IDLL1-}	2.25	2.5	2.75	V	電源降下の場合
割込み解除電圧 2	V_{IDLL2+}	2.6	2.9	3.2	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 2	V_{IDLL2-}	2.52	2.8	3.08	V	電源降下の場合
割込み解除電圧 3	V_{IDLL3+}	2.96	3.3	3.64	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 3	V_{IDLL3-}	2.88	3.2	3.52	V	電源降下の場合
割込み解除電圧 4	V_{IDLL4+}	3.32	3.7	4.08	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 4	V_{IDLL4-}	3.24	3.6	3.96	V	電源降下の場合
割込み解除電圧 5	V_{IDLL5+}	3.68	4.1	4.52	V	電源上昇の場合
割込み検出電圧 5	V_{IDLL5-}	3.6	4	4.4	V	電源降下の場合
電源開始電圧	V_{offL}	—	—	1.6	V	
電源到達電圧	V_{onL}	4.52	—	—	V	
電源電圧変化時間 (電源上昇の場合)	t_{rL}	7300	—	—	μs	割込み解除信号が規格内 (V_{IDLL+}) で発生する電源の傾き
電源電圧変化時間 (電源降下の場合)	t_{fL}	7300	—	—	μs	割込み検出信号が規格内 (V_{IDLL-}) で発生する電源の傾き
割込み解除遅延時間	t_{diL1}	—	—	400	μs	
割込み検出遅延時間	t_{diL2}	—	—	400	μs	
割込みしきい値電圧遷移安定時間	t_{stbL}	—	—	400	μs	
割込み用低電圧検出モード遷移時間	t_{mdsw}	—	—	400	μs	通常モード⇔低消費電力モード

(注意事項) 低電圧検出回路は、割込みに使用するとき、通常モードと低消費電力モードをレジスタ設定により切り換えられます。低消費電力モードでは、通常モードに比べ検出・解除電圧精度および検出・解除遅延時間が劣る代わりに、消費電力を削減できます。通常モードと低消費電力モードにおける消費電流の違いについては、「22.3 直流規格」を参照してください。また、通常モードと低消費電力モードの切換え方法については、「New 8FX MB95710L/770L シリーズハードウェアマニュアル」の「第 16 章 低電圧検出回路」を参照してください。



22.4.7 I²C バスインタフェースタイミング

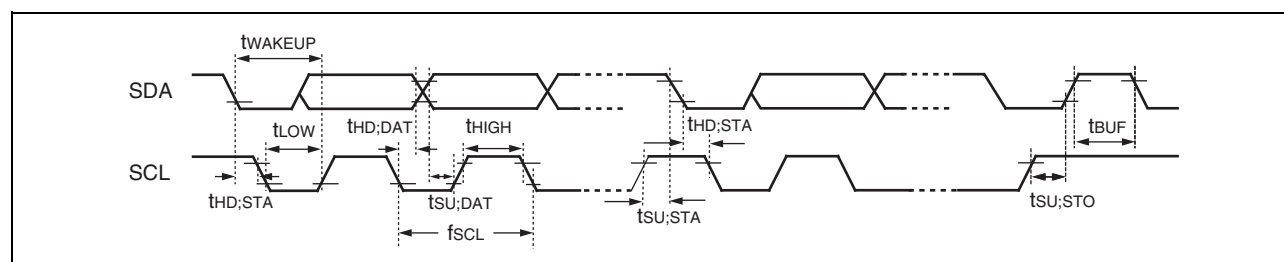
($V_{CC} = 3.0\text{ V} \sim 5.5\text{ V}$, $AV_{SS} = V_{SS} = 0.0\text{ V}$, $T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C}$)

項目	記号	端子名	条件	規格値				単位
				標準モード		高速モード		
				最小	最大	最小	最大	
SCL クロック周波数	f _{SCL}	SCL	R = 1.7 kΩ, C = 50 pF*1	0	100	0	400	kHz
(反復) スタート条件ホールド時間 SDA ↓ → SCL ↓	t _{HD;STA}	SCL, SDA		4.0	—	0.6	—	μs
SCL クロック “L” 幅	t _{LOW}	SCL		4.7	—	1.3	—	μs
SCL クロック “H” 幅	t _{HIGH}	SCL		4.0	—	0.6	—	μs
(反復) スタート条件セットアップ時間 SCL ↑ → SDA ↓	t _{SU;STA}	SCL, SDA		4.7	—	0.6	—	μs
データホールド時間 SCL ↓ → SDA ↓ ↑	t _{HD;DAT}	SCL, SDA		0	3.45*2	0	0.9*3	μs
データセットアップ時間 SDA ↓ ↑ → SCL ↑	t _{SU;DAT}	SCL, SDA		0.25	—	0.1	—	μs
ストップ条件セットアップ時間 SCL ↑ → SDA ↑	t _{SU;STO}	SCL, SDA		4	—	0.6	—	μs
ストップ条件とスタート条件との間の バスフリー時間	t _{BUF}	SCL, SDA		4.7	—	1.3	—	μs

*1: R, C はそれぞれ SCL, SDA ラインのプルアップ抵抗, 負荷容量です。

*2: $t_{HD;DAT}$ の最大値は, デバイスが SCL 信号の “L” 区間 (t_{LOW}) を延長していないときにのみ適用されます。

*3: 高速モード I²C バスデバイスを標準モード I²C バスシステムに使用できますが, 要求される条件 $t_{SU;DAT} \geq 250\text{ ns}$ を満足しなければなりません。



$(V_{CC} = 3.0\text{ V} \sim 5.5\text{ V}, AV_{SS} = V_{SS} = 0.0\text{ V}, T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C})$

項目	記号	端子名	条件	規格値 *2		単位	備考
				最小	最大		
SCL クロック “L” 幅	t_{LOW}	SCL	R = 1.7 k Ω , C = 50 pF*1	$(2 + nm/2)t_{MCLK} - 20$	—	ns	マスタモード
SCL クロック “H” 幅	t_{HIGH}	SCL		$(nm/2)t_{MCLK} - 20$	$(nm/2)t_{MCLK} + 20$	ns	マスタモード
START 条件 ホールド時間	$t_{HD;STA}$	SCL, SDA		$(-1 + nm/2)t_{MCLK} - 20$	$(-1 + nm)t_{MCLK} + 20$	ns	マスタモード最大値は m, n = 1, 8 時に適用。 それ以外の設定は最小 値を適用。
STOP 条件 セットアップ時間	$t_{SU;STO}$	SCL, SDA		$(1 + nm/2)t_{MCLK} - 20$	$(1 + nm/2)t_{MCLK} + 20$	ns	マスタモード
START 条件セット アップ時間	$t_{SU;STA}$	SCL, SDA		$(1 + nm/2)t_{MCLK} - 20$	$(1 + nm/2)t_{MCLK} + 20$	ns	マスタモード
「ストップ」条件と 「スタート」条件との 間のバスフリー時間	t_{BUF}	SCL, SDA		$(2nm + 4)t_{MCLK} - 20$	—	ns	
データ ホールド時間	$t_{HD;DAT}$	SCL, SDA		$3t_{MCLK} - 20$	—	ns	マスタモード
データ セットアップ時間	$t_{SU;DAT}$	SCL, SDA		$(-2 + nm/2)t_{MCLK} - 20$	$(-1 + nm/2)t_{MCLK} + 20$	ns	マスタモード SCL の “L” が引き延ばされて いないと仮定した場 合。最小値は連続デー タの第 1 ビットに適 用。それ以外は最大値 を適用。
割込みクリアから SCL 立上りまでの セットアップ時間	$t_{SU;INT}$	SCL		$(nm/2)t_{MCLK} - 20$	$(1 + nm/2)t_{MCLK} + 20$	ns	最小値は 9th SCL↓ 時 の割込みに適用。最大 値は 8th SCL↓ 時の割 込みに適用。
SCL クロック “L” 幅	t_{LOW}	SCL		$4t_{MCLK} - 20$	—	ns	受信の場合
SCL クロック “H” 幅	t_{HIGH}	SCL		$4t_{MCLK} - 20$	—	ns	受信の場合
「スタート」条件 検出	$t_{HD;STA}$	SCL, SDA		$2t_{MCLK} - 20$	—	ns	受信に $1t_{MCLK}$ が使用 される場合, 「スター ト」条件が未検出
「ストップ」条件 検出	$t_{SU;STO}$	SCL, SDA		$2t_{MCLK} - 20$	—	ns	受信に $1t_{MCLK}$ が使用 される場合, 「ストッ プ」条件が未検出
「再スタート」条件 検出条件	$t_{SU;STA}$	SCL, SDA		$2t_{MCLK} - 20$	—	ns	受信に $1t_{MCLK}$ が使用 される場合, 「再ス タート」条件が未検出
バスフリー時間	t_{BUF}	SCL, SDA		$2t_{MCLK} - 20$	—	ns	受信の場合

$(V_{CC} = 3.0\text{ V} \sim 5.5\text{ V}, AV_{SS} = V_{SS} = 0.0\text{ V}, T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C})$

項目	記号	端子名	条件	規格値 *2		単位	備考
				最小	最大		
データホールド時間	$t_{HD;DAT}$	SCL, SDA	$R = 1.7\text{ k}\Omega$, $C = 50\text{ pF}^{*1}$	$2 t_{MCLK} - 20$	—	ns	スレーブ送信 モードの場合
データセットアップ時間	$t_{SU;DAT}$	SCL, SDA		$t_{LOW} - 3 t_{MCLK} - 20$	—	ns	スレーブ送信 モードの場合
データホールド時間	$t_{HD;DAT}$	SCL, SDA		0	—	ns	受信の場合
データセットアップ時間	$t_{SU;DAT}$	SCL, SDA		$t_{MCLK} - 20$	—	ns	受信の場合
SDA↓ → SCL↑ (ウェイクアップ機能時)	t_{WAKEUP}	SCL, SDA		発振安定待ち時間 $+2 t_{MCLK} - 20$	—	ns	

*1: R, C はそれぞれ SCL, SDA ラインのプルアップ抵抗, 負荷容量です。

*2: t_{MCLK} については, 「22.4.2 ソースクロック / マシクロック」を参照してください。

- m は I²C クロック制御レジスタ ch. 0 (ICCR0) の CS[4:3] ビットです。
- n は I²C クロック制御レジスタ ch. 0 (ICCR0) の CS[2:0] ビットです。
- I²C バスインタフェースの実際のタイミングは, マシクロック (t_{MCLK}) および ICCR0/ICCR1 レジスタの CS[4:0] にて設定される m, n の値により決定されます。
- 標準モード:
 $0.9\text{ MHz} < t_{MCLK}$ (マシクロック) $< 16.25\text{ MHz}$ の範囲で m, n の設定が可能です。
 m, n の設定によっては, 下記のように使用できるマシクロックが決まります。
 (m, n) = (1, 8) : $0.9\text{ MHz} < t_{MCLK} \leq 1\text{ MHz}$
 (m, n) = (1, 22), (5, 4), (6, 4), (7, 4), (8, 4) : $0.9\text{ MHz} < t_{MCLK} \leq 2\text{ MHz}$
 (m, n) = (1, 38), (5, 8), (6, 8), (7, 8), (8, 8) : $0.9\text{ MHz} < t_{MCLK} \leq 4\text{ MHz}$
 (m, n) = (1, 98), (5, 22), (6, 22), (7, 22) : $0.9\text{ MHz} < t_{MCLK} \leq 10\text{ MHz}$
 (m, n) = (8, 22) : $0.9\text{ MHz} < t_{MCLK} \leq 16.25\text{ MHz}$
- 高速モード:
 $3.3\text{ MHz} < t_{MCLK}$ (マシクロック) $< 16.25\text{ MHz}$ の範囲で m, n の設定が可能です。
 m, n の設定によっては, 下記のように使用できるマシクロックが決まります。
 (m, n) = (1, 8) : $3.3\text{ MHz} < t_{MCLK} \leq 4\text{ MHz}$
 (m, n) = (1, 22), (5, 4) : $3.3\text{ MHz} < t_{MCLK} \leq 8\text{ MHz}$
 (m, n) = (1, 38), (6, 4), (7, 4), (8, 4) : $3.3\text{ MHz} < t_{MCLK} \leq 10\text{ MHz}$
 (m, n) = (5, 8) : $3.3\text{ MHz} < t_{MCLK} \leq 16.25\text{ MHz}$

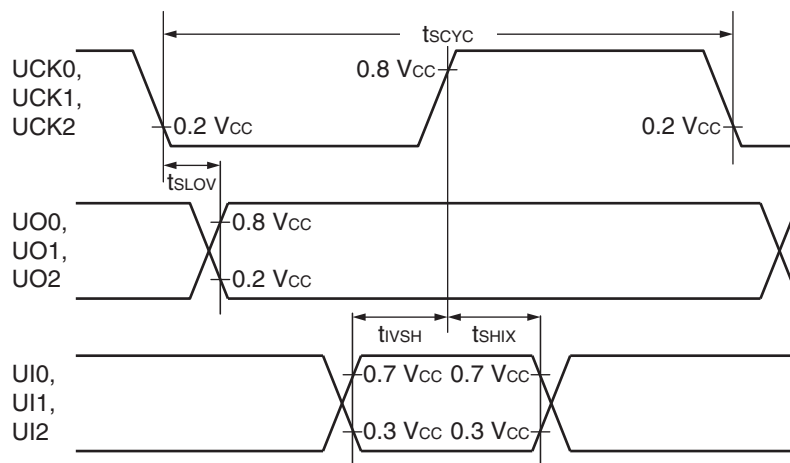
22.4.8 UART/SIO, シリアル入出力タイミング

($V_{CC} = 3.0\text{ V} \sim 5.5\text{ V}$, $AV_{SS} = V_{SS} = 0.0\text{ V}$, $T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C}$)

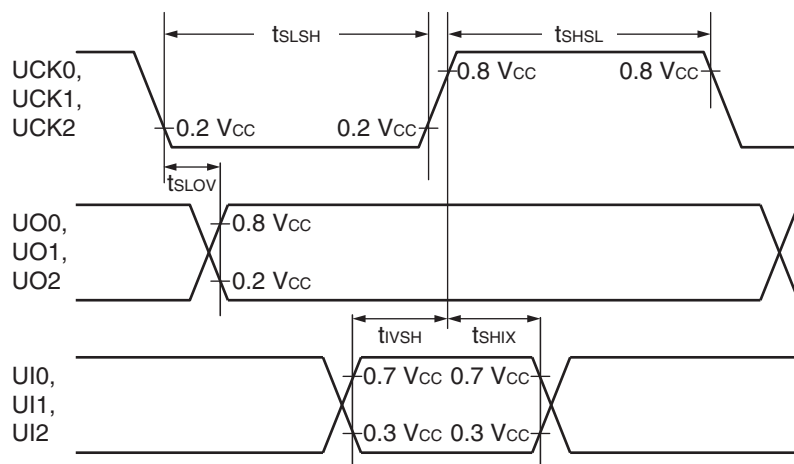
項目	記号	端子名	条件	規格値		単位
				最小	最大	
シリアルクロックサイクルタイム	t_{SCYC}	UCK0, UCK1, UCK2	内部クロック動作 出力端子 : $C_L = 80\text{ pF} + 1\text{ TTL}$	$4\ t_{MCLK}^*$	—	ns
UCK ↓ → UO 時間	t_{SLOV}	UCK0, UCK1, UCK2, UO0, UO1, UO2		-190	+190	ns
有効 UI → UCK ↑	t_{IVSH}	UCK0, UCK1, UCK2, UI0, UI1, UI2		$2\ t_{MCLK}^*$	—	ns
UCK ↑ → 有効 UI ホールド 時間	t_{SHIX}	UCK0, UCK1, UCK2, UI0, UI1, UI2		$2\ t_{MCLK}^*$	—	ns
シリアルクロック “H” パルス幅	t_{SHSL}	UCK0, UCK1, UCK2	外部クロック動作 出力端子 : $C_L = 80\text{ pF} + 1\text{ TTL}$	$4\ t_{MCLK}^*$	—	ns
シリアルクロック “L” パルス幅	t_{SLSH}	UCK0, UCK1, UCK2		$4\ t_{MCLK}^*$	—	ns
UCK ↓ → UO 時間	t_{SLOV}	UCK0, UCK1, UCK2, UO0, UO1, UO2		—	190	ns
有効 UI → UCK ↑	t_{IVSH}	UCK0, UCK1, UCK2, UI0, UI1, UI2		$2\ t_{MCLK}^*$	—	ns
UCK ↑ → 有効 UI ホールド 時間	t_{SHIX}	UCK0, UCK1, UCK2, UI0, UI1, UI2		$2\ t_{MCLK}^*$	—	ns

*: t_{MCLK} については、「22.4.2 ソースクロック / マシンクロック」を参照してください。

• 内部シフトクロックモード



• 外部シフトクロックモード



22.4.9 コンパレータタイミング

($AV_{CC} = 1.8 \text{ V} \sim 5.5 \text{ V}$, $AV_{SS} = 0.0 \text{ V}$, $T_A = -40 \text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85 \text{ }^{\circ}\text{C}$)

項目	端子名	規格値			単位	備考
		最小	標準	最大		
電圧範囲	CMP0_P, CMP0_N	0	—	AV_{CC}	V	
オフセット電圧	CMP0_P, CMP0_N	-20	—	+20	mV	
遅延時間	CMP0_O	—	600	1200	ns	オーバードライブ 5 mV
		—	120	420	ns	オーバードライブ 50 mV
パワーダウン遅延	CMP0_O	—	—	1200	ns	パワーダウンリカバリ PD: 1 → 0
		0	—	150	ns	パワーダウン PD: 0 → 1
パワーアップ安定時間	CMP0_O	—	—	1200	ns	パワーアップにおける出力安定時間
バンドギャップリファ レンス電圧	—	1.15	1.21	1.27	V	

22.5 A/D コンバータ

22.5.1 A/D コンバータ電気的特性

($AV_{CC} = 1.8\text{ V} \sim 5.5\text{ V}$, $V_{SS} = 0.0\text{ V}$, $T_A = -40\text{ }^{\circ}\text{C} \sim +85\text{ }^{\circ}\text{C}$)

項目	記号	規格値			単位	備考
		最小	標準	最大		
分解能	—	—	—	12	bit	
総合誤差		-6	—	+6	LSB	$V_{CC} \geq 2.7\text{ V}$
		-10	—	+10	LSB	$V_{CC} < 2.7\text{ V}$
直線性誤差		-3	—	+3	LSB	$V_{CC} \geq 2.7\text{ V}$
		-5	—	+5	LSB	$V_{CC} < 2.7\text{ V}$
微分直線性誤差		-1.9	—	+1.9	LSB	$V_{CC} \geq 2.7\text{ V}$
		-2.9	—	+2.9	LSB	$V_{CC} < 2.7\text{ V}$
ゼロトランジション電圧	V_{0T}	$V_{SS} - 6\text{ LSB}$	—	$V_{SS} + 8.2\text{ LSB}$	mV	
フルスケールトランジション電圧	V_{FST}	$AV_{CC} - 6.2\text{ LSB}$	—	$AV_{CC} + 9.2\text{ LSB}$	mV	
サンプリング時間	T_S	*	—	10	μs	
コンペア時間	T_{cck}	0.861	—	14	μs	$V_{CC} \geq 2.7\text{ V}$
		2.8	—	14	μs	$V_{CC} < 2.7\text{ V}$
動作許可状態への遷移時間	T_{stt}	1	—	—	μs	
アナログ入力電流	I_{AIN}	-0.3	—	+0.3	μA	
アナログ入力電圧	V_{AIN}	V_{SS}	—	AV_{CC}	V	

*: 最小サンプリング時間については、「22.5.2 A/D コンバータの注意事項」を参照してください。

22.5.2 A/D コンバータの注意事項

• アナログ入力の外部インピーダンスとサンプリング時間について

MB95710L/770L シリーズの A/D コンバータはサンプルホールド付きのものです。外部インピーダンスが高くサンプリング時間を十分に確保できない場合は、内部サンプルホールド用コンデンサに十分にアナログ電圧が充電されず、A/D 変換精度に影響を及ぼします。したがって、A/D 変換精度規格を満たすために、外部インピーダンスと最小サンプリング時間の関係から、サンプリング時間を最小値より長くなるようにレジスタ値と動作周波数を調整するか、外部インピーダンスを下げてください。また、サンプリング時間を十分に確保できない場合は、アナログ入力端子に 0.1 μ F 程度のコンデンサを接続してください。

• アナログ入力等価回路



V _{CC}	R _{in}	C _{in}
4.5 V ≤ V _{CC} ≤ 5.5 V	0.9 k Ω (最大)	13 pF (最大)
2.7 V ≤ V _{CC} < 4.5 V	1.6 k Ω (最大)	13 pF (最大)
1.8 V ≤ V _{CC} < 2.7 V	4.0 k Ω (最大)	13 pF (最大)

(注意事項) 数値は参考値です。

• 外部インピーダンスと最小サンプリング時間の関係

必要なサンプリング時間は外部インピーダンスによって変わります。サンプリング時間を設定するとき、以下の条件を満たしてください。

$$T_s \geq (R_{in} + R_{ext}) \times C_{in} \times 9$$

T_s : サンプリング時間

R_{in} : A/D コンバータの入力抵抗

C_{in} : A/D コンバータの入力容量

R_{ext} : 外部回路の出力インピーダンス

• A/D 変換誤差について

|V_{CC} - V_{SS}| が小さくなるに従って、A/D 変換の誤差は大きくなります。

22.5.3 A/D コンバータの用語の定義

- 分解能

A/D コンバータにより識別可能なアナログ変化を示します。

12 ビットならば、アナログ電圧を $2^{12} = 4096$ の部分に分解可能です。

- 直線性誤差 (単位: LSB)

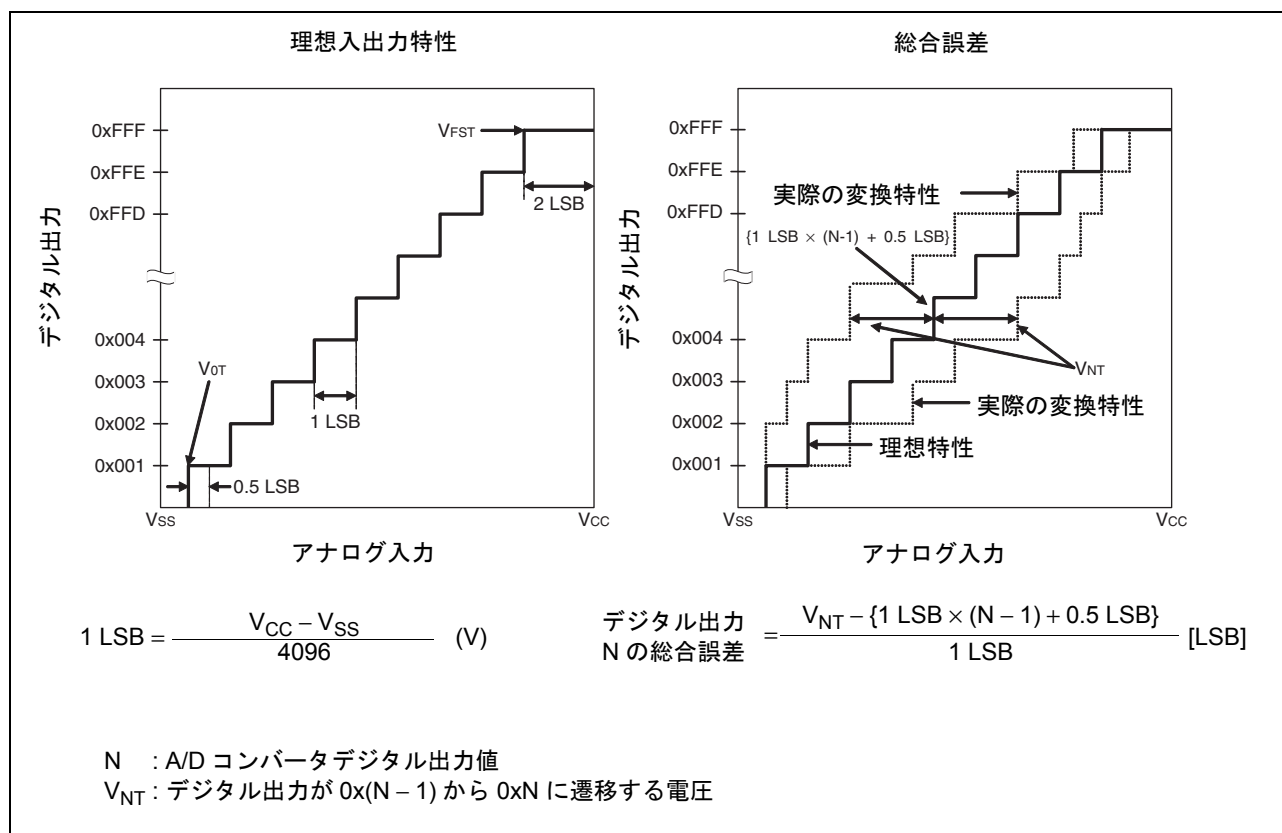
デバイスのゼロトランジション点 (“0000 0000 0000” ←→ “0000 0000 0001”) と、同じデバイスのフルスケールトランジション点 (“1111 1111 1111” ←→ “1111 1111 1110”) とを結んだ直線と、実際の変換値との誤差がどの程度かを示します。

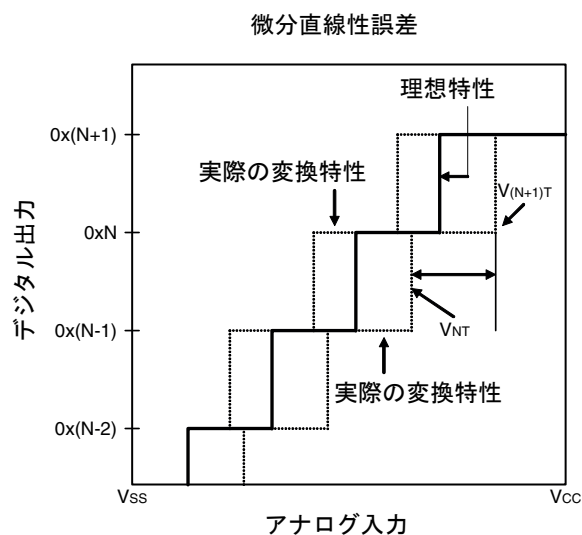
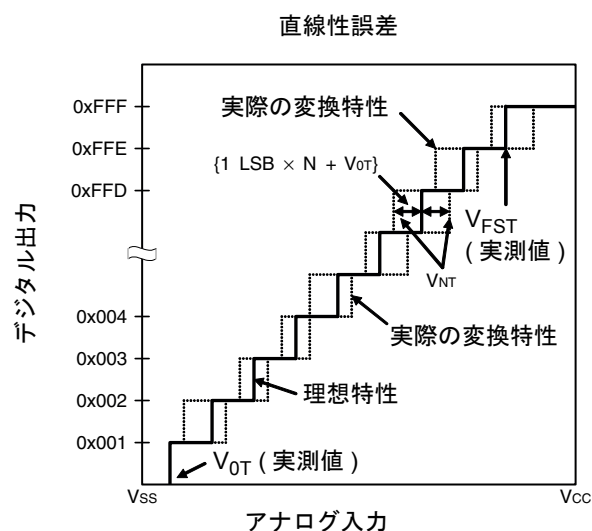
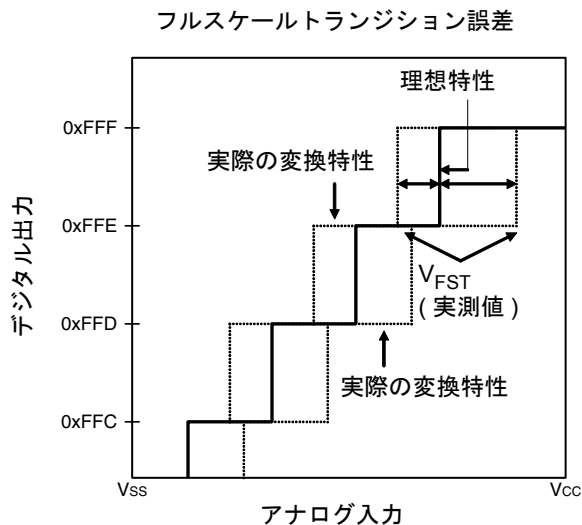
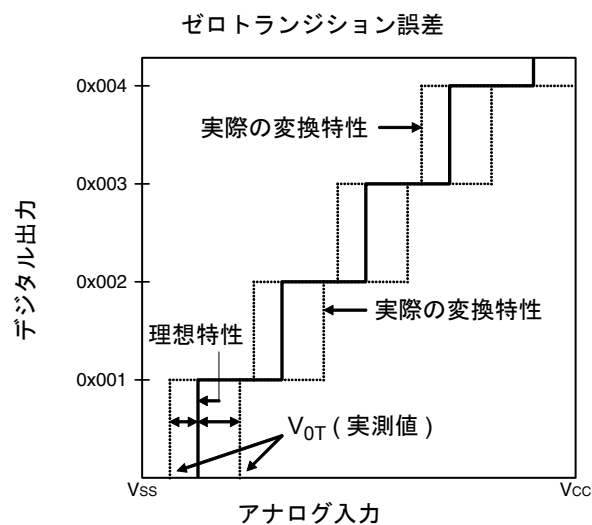
- 微分直線性誤差 (単位: LSB)

出力コードを 1 LSB 変化させるのに必要な入力電圧の理想値からの偏差がどの程度かを示します。

- 総合誤差 (単位: LSB)

実際の値と理論値との差を示し、ゼロトランジション誤差 / フルススケールトランジション誤差 / 直線性誤差 / 量子誤差および雑音に起因する誤差です。





$$\text{デジタル出力 } N \text{ の直線性誤差} = \frac{V_{NT} - \{1 \text{ LSB} \times N + V_{0T}\}}{1 \text{ LSB}}$$

$$\text{デジタル出力 } N \text{ の微分直線性誤差} = \frac{V_{(N+1)T} - V_{NT}}{1 \text{ LSB}} - 1$$

N: A/D コンバータ デジタル出力値

V_{NT} : デジタル出力が $0x(N-1)$ から $0xN$ に遷移する電圧

V_{0T} (理想値) = $V_{ss} + 0.5 \text{ LSB [V]}$

V_{FST} (理想値) = $V_{cc} - 2 \text{ LSB [V]}$

22.6 フラッシュメモリ書き込み / 消去特性

項目	規格値			単位	備考
	最小	標準	最大		
セクタ消去時間 (2 K バイトセクタ)	—	0.3 ^{*1}	1.6 ^{*2}	s	消去前 “0x00” 書き込み時間は除きます。
セクタ消去時間 (24 K バイトセクタと 32 K バイトセクタ)	—	0.6 ^{*1}	3.1 ^{*2}	s	消去前 “0x00” 書き込み時間は除きます。
バイト書き込み時間	—	17	272	μs	システムレベルのオーバヘッド時間は除きます。
書き込み / 消去サイクル	100000	—	—	cycle	
書き込み / 消去時の電源電圧	1.8	—	5.5	V	
フラッシュメモリデータ保持時間	20 ^{*3}	—	—	year	平均 T _A = +85 °C, 書き込み / 消去サイクルが 1000 回以下の場合
	10 ^{*3}	—	—		平均 T _A = +85 °C, 書き込み / 消去サイクルが 1001 回以上, 10000 回以下の場合
	5 ^{*3}	—	—		平均 T _A = +85 °C, 書き込み / 消去サイクルが 10001 回以上の場合

*1: V_{CC} = 5.5 V, T_A = +25 °C, 0 サイクル

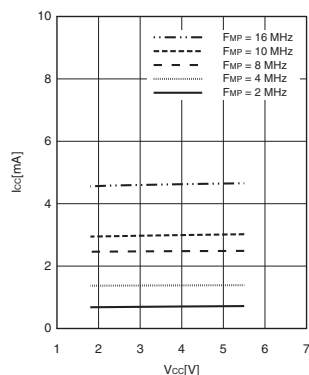
*2: V_{CC} = 1.8 V, T_A = +85 °C, 100000 サイクル

*3: テクノロジ信頼性評価結果からの換算値です (アレニウスの式を使用し, 高温加速試験結果を平均温度 +85 °C へ換算しています)。

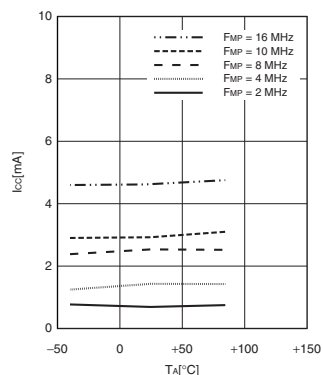
23. 特性例

• 電源電流・温度特性

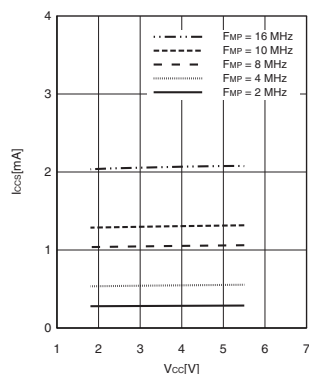
$I_{CC} - V_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MP} = 2, 4, 8, 10, 16\text{ MHz}$ (2 分周)
 メインクロックモード, 外部クロック動作時



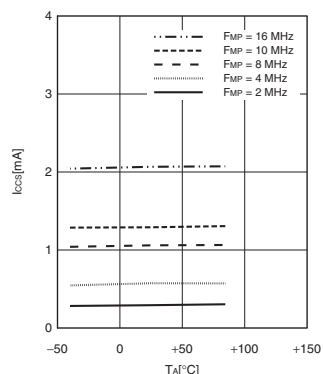
$I_{CC} - T_A$
 $V_{CC} = 3.3\text{ V}$, $F_{MP} = 2, 4, 8, 10, 16\text{ MHz}$ (2 分周)
 メインクロックモード, 外部クロック動作時



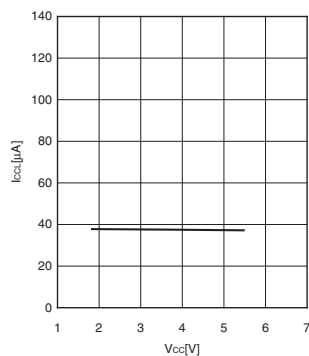
$I_{CCS} - V_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MP} = 2, 4, 8, 10, 16\text{ MHz}$ (2 分周)
 メインスリープモード, 外部クロック動作時



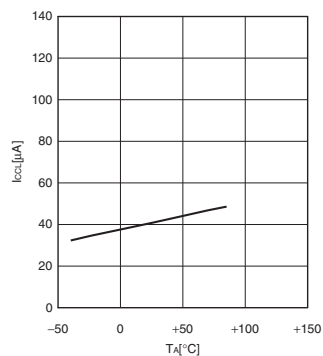
$I_{CCS} - T_A$
 $V_{CC} = 3.3\text{ V}$, $F_{MP} = 2, 4, 8, 10, 16\text{ MHz}$ (2 分周)
 メインスリープモード, 外部クロック動作時



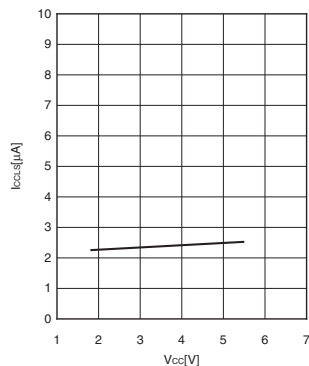
$I_{CCL} - V_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MPL} = 16\text{ kHz}$ (2 分周)
 サブクロックモード, 外部クロック動作時



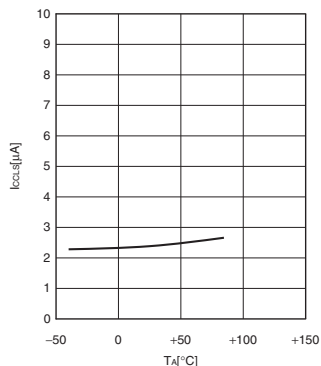
$I_{CCL} - T_A$
 $V_{CC} = 3.3\text{ V}$, $F_{MPL} = 16\text{ kHz}$ (2 分周)
 サブクロックモード, 外部クロック動作時



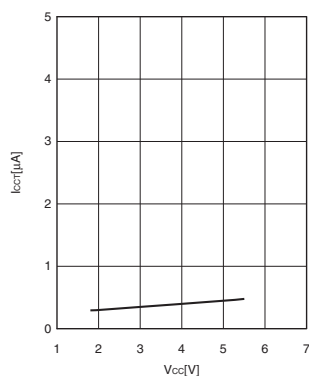
$I_{CCLS} - V_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MPL} = 16\text{ kHz}$ (2 分周)
 サブスリープモード, 外部クロック動作時



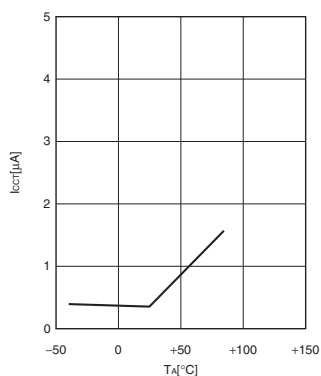
$I_{CCLS} - T_A$
 $V_{CC} = 3.3\text{ V}$, $F_{MPL} = 16\text{ kHz}$ (2 分周)
 サブスリープモード, 外部クロック動作時



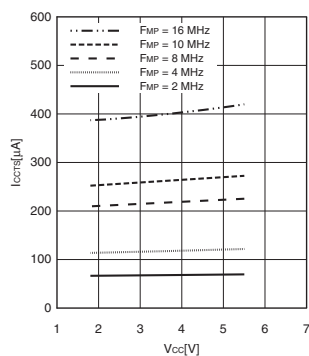
$I_{CCT} - V_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MPL} = 16\text{ kHz}$ (2 分周)
 時計モード, 外部クロック動作時



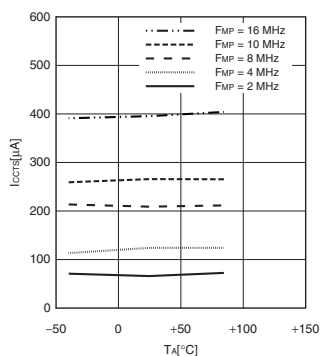
$I_{CCT} - T_A$
 $V_{CC} = 3.3\text{ V}$, $F_{MPL} = 16\text{ kHz}$ (2 分周)
 時計モード, 外部クロック動作時



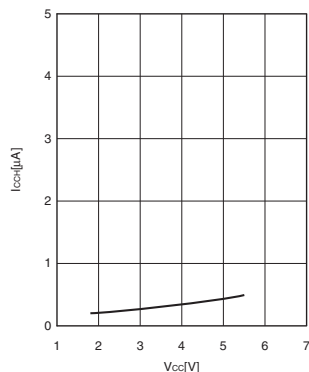
$I_{CCTS} - V_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MP} = 2, 4, 8, 10, 16\text{ MHz}$ (2 分周)
 タイムベースタイマモード, 外部クロック動作時



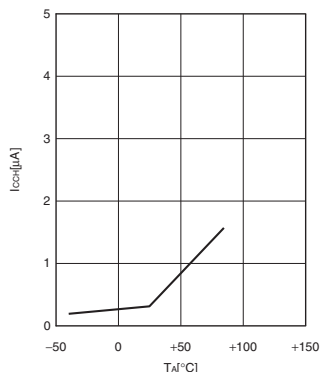
$I_{CCTS} - T_A$
 $V_{CC} = 3.3\text{ V}$, $F_{MP} = 2, 4, 8, 10, 16\text{ MHz}$ (2 分周)
 タイムベースタイマモード, 外部クロック動作時



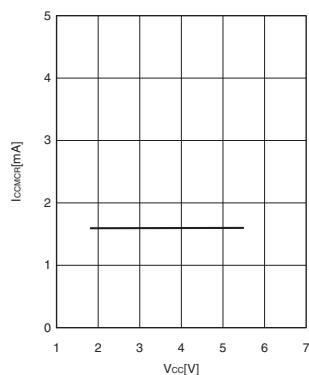
$I_{CCH} - V_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MPL} = (\text{停止})$
 サブストップモード, 外部クロック停止時



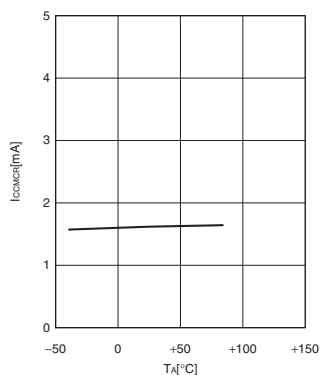
$I_{CCH} - T_A$
 $V_{CC} = 3.3 V$, $F_{MPL} = (\text{停止})$
 サブストップモード, 外部クロック停止時



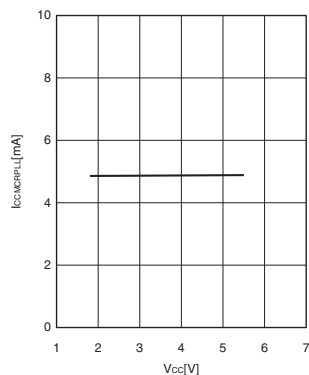
$I_{CCMCR} - V_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MP} = 4 \text{ MHz}$ (分周なし)
 メインCRクロックモード



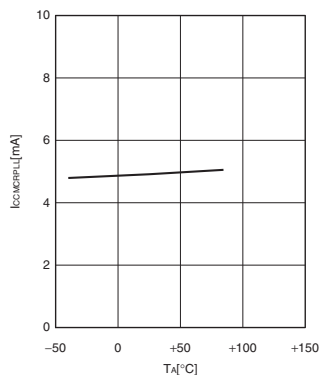
$I_{CCMCR} - T_A$
 $V_{CC} = 3.3 V$, $F_{MP} = 4 \text{ MHz}$ (分周なし)
 メインCRクロックモード



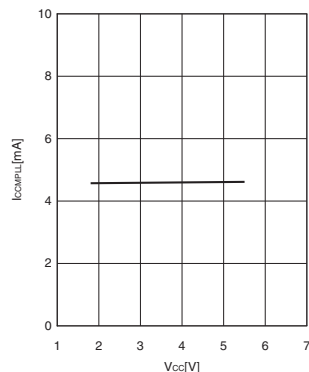
$I_{CCMCRPLL} - V_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MP} = 16 \text{ MHz}$ (PLL 通倍率: 4)
 メインCR PLL クロックモード



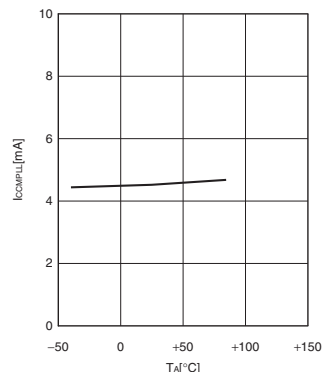
$I_{CCMCRPLL} - T_A$
 $V_{CC} = 3.3 V$, $F_{MP} = 16 \text{ MHz}$ (PLL 通倍率: 4)
 メインCR PLL クロックモード



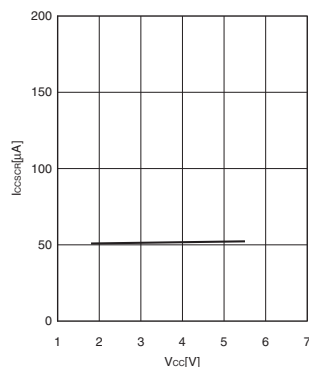
$I_{CCPLL} - V_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MP} = 16\text{ MHz}$ (PLL 通倍率 : 4)
 メイン PLL クロックモード



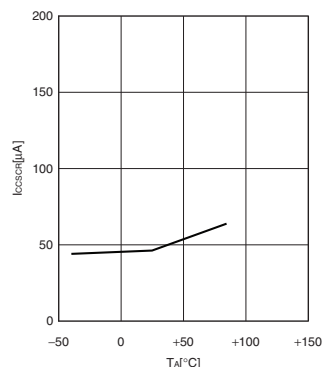
$I_{CCPLL} - T_A$
 $V_{CC} = 3.3\text{ V}$, $F_{MP} = 16\text{ MHz}$ (PLL 通倍率 : 4)
 メイン PLL クロックモード



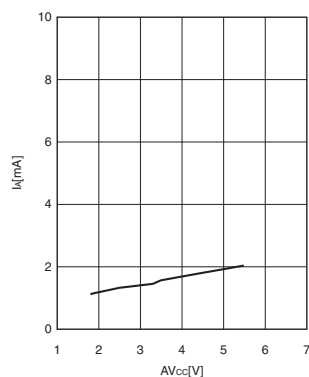
$I_{CCSCR} - V_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MPL} = 50\text{ kHz}$ (2 分周)
 サブ CR クロックモード



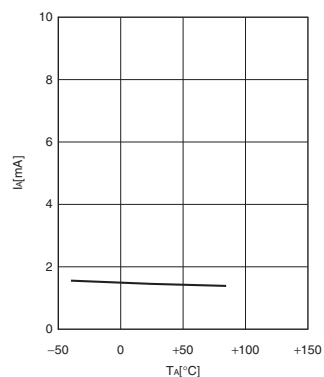
$I_{CCSCR} - T_A$
 $V_{CC} = 3.3\text{ V}$, $F_{MPL} = 50\text{ kHz}$ (2 分周)
 サブ CR クロックモード



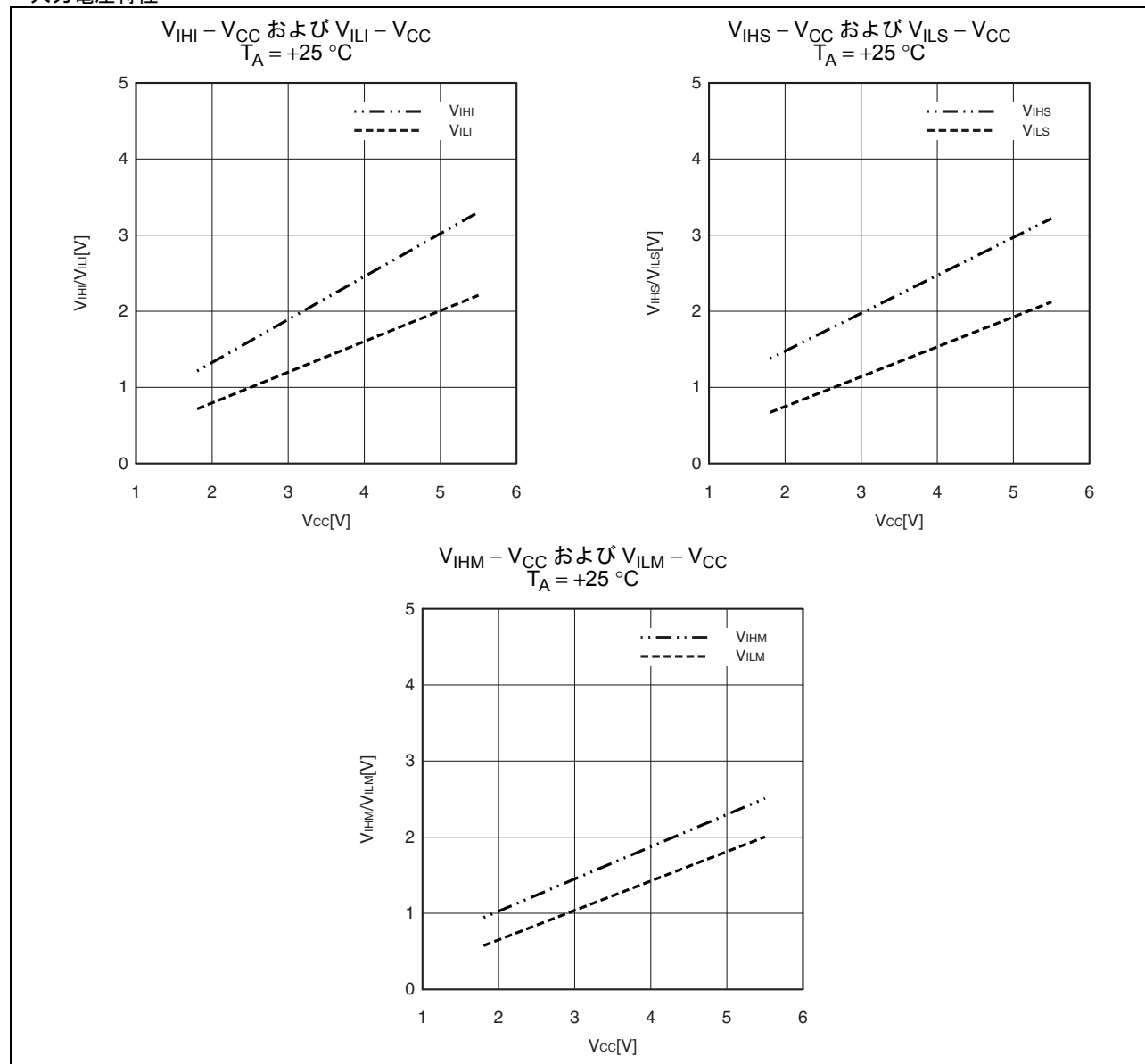
$I_A - AV_{CC}$
 $T_A = +25^\circ\text{C}$, $F_{MP} = 16\text{ MHz}$ (2 分周)
 メインクロックモード, 外部クロック動作時



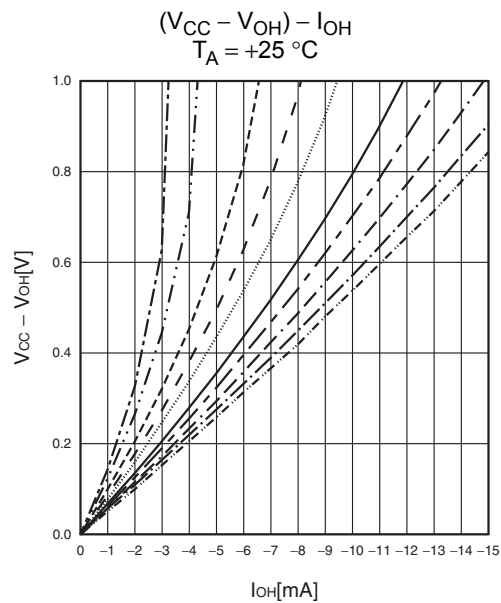
$I_A - T_A$
 $V_{CC} = 3.3\text{ V}$, $F_{MP} = 16\text{ MHz}$ (2 分周)
 メインクロックモード, 外部クロック動作時



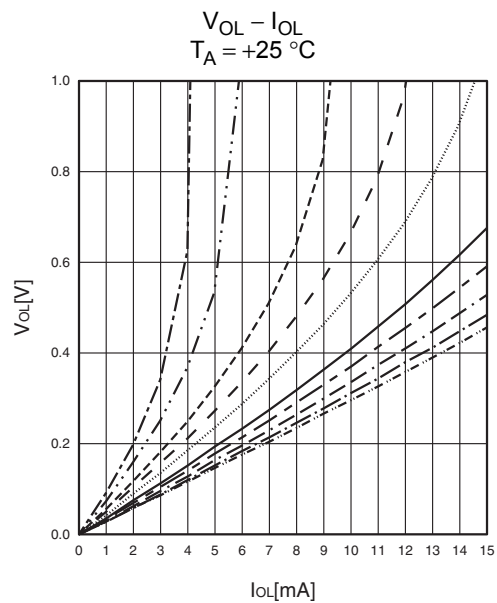
• 入力電圧特性



• 出力電圧特性

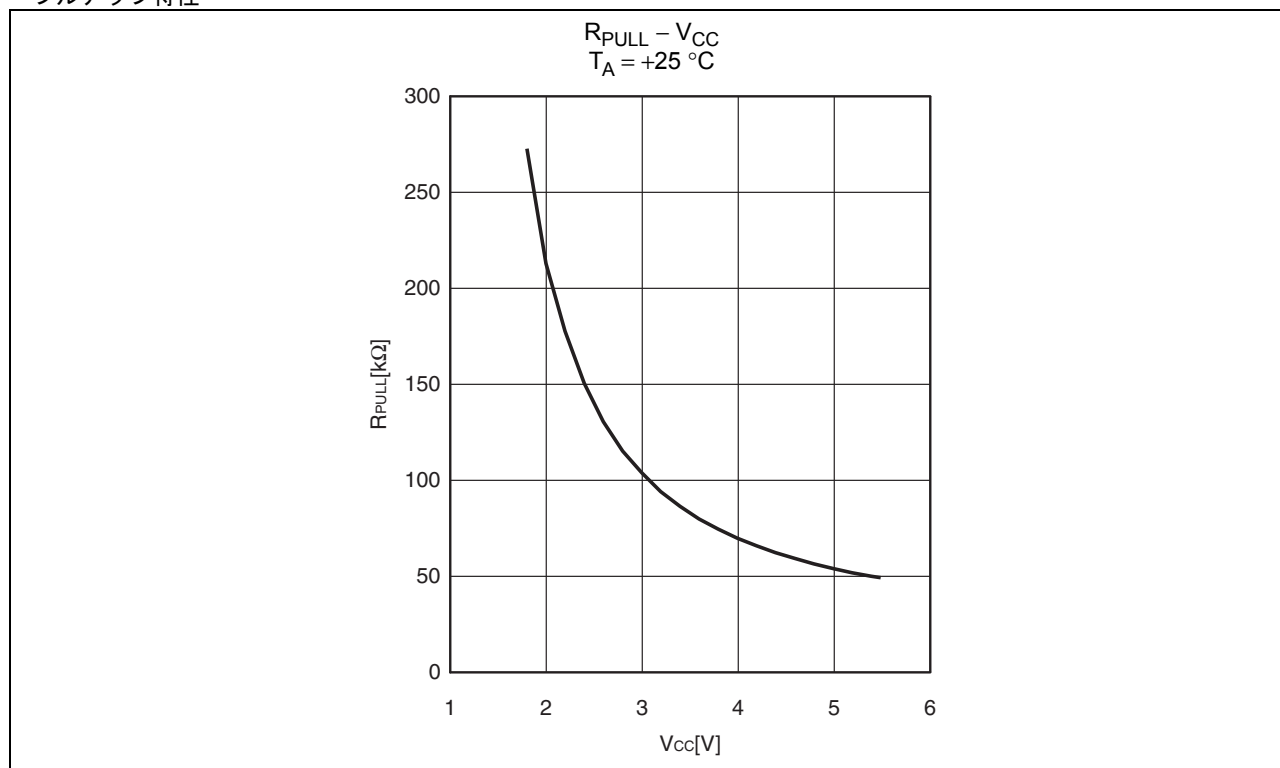


- - - - - $V_{CC} = 1.8\text{ V}$
 - · - · - $V_{CC} = 2.0\text{ V}$
 - - - - - $V_{CC} = 2.4\text{ V}$
 - - - - - $V_{CC} = 2.7\text{ V}$
 ········· $V_{CC} = 3.0\text{ V}$
 ————— $V_{CC} = 3.6\text{ V}$
 - - - - - $V_{CC} = 4.0\text{ V}$
 - · - · - $V_{CC} = 4.5\text{ V}$
 - - - - - $V_{CC} = 5.0\text{ V}$
 - · - · - $V_{CC} = 5.5\text{ V}$



- - - - - $V_{CC} = 1.8\text{ V}$
 - · - · - $V_{CC} = 2.0\text{ V}$
 - - - - - $V_{CC} = 2.4\text{ V}$
 - - - - - $V_{CC} = 2.7\text{ V}$
 ········· $V_{CC} = 3.0\text{ V}$
 ————— $V_{CC} = 3.6\text{ V}$
 - - - - - $V_{CC} = 4.0\text{ V}$
 - · - · - $V_{CC} = 4.5\text{ V}$
 - - - - - $V_{CC} = 5.0\text{ V}$
 - · - · - $V_{CC} = 5.5\text{ V}$

• プルアップ特性



24. マスクオプション

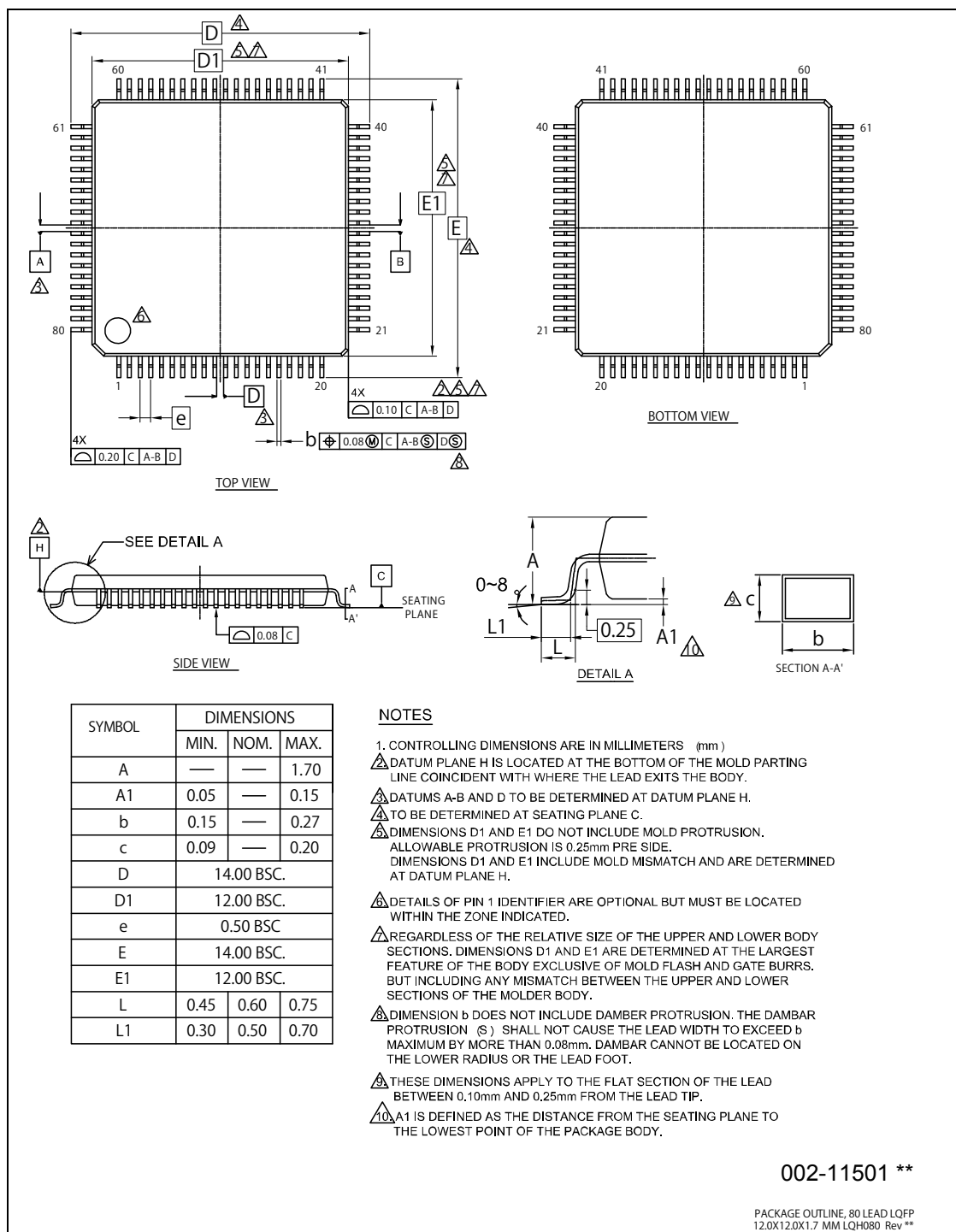
No.	品種名	MB95F714E MB95F716E MB95F718E MB95F774E MB95F776E MB95F778E	MB95F714L MB95F716L MB95F718L MB95F774L MB95F776L MB95F778L
	選択方法	設定不可	
1	低電圧検出リセット	低電圧検出リセットあり	低電圧検出リセットなし
2	リセット	専用のリセット入力なし	専用のリセット入力あり

25. オーダ型格

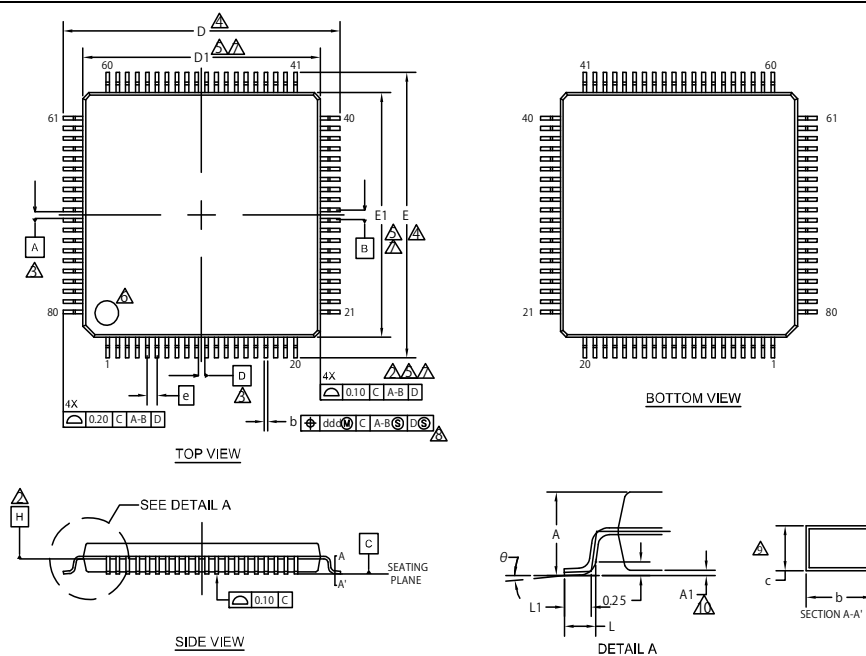
型格	パッケージ
MB95F714ENPMC-G-SNE2 MB95F714LNPMC-G-SNE2 MB95F716ENPMC-G-SNE2 MB95F716LNPMC-G-SNE2 MB95F718ENPMC-G-SNE2 MB95F718LNPMC-G-SNE2	プラスチック・LQFP, 80 ピン (LQH080)
MB95F774ENPMC1-G-SNE2 MB95F774LNPMC1-G-SNE2 MB95F776ENPMC1-G-SNE2 MB95F776LNPMC1-G-SNE2 MB95F778ENPMC1-G-SNE2 MB95F778LNPMC1-G-SNE2	プラスチック・LQFP, 64 ピン (LQD064)
MB95F774ENPMC2-G-SNE2 MB95F774LNPMC2-G-SNE2 MB95F776ENPMC2-G-SNE2 MB95F776LNPMC2-G-SNE2 MB95F778ENPMC2-G-SNE2 MB95F778LNPMC2-G-SNE2	プラスチック・LQFP, 64 ピン (LQG064)
MB95F718ENPMC1-G-UNE2	プラスチック・LQFP, 80 ピン (LQJ080)

26. パッケージ・外形寸法図

Package Type	Package Code
LQFP 80	LQH080



Package Type	Package Code
LQFP 80	LQJ080



SYMBOL	DIMENSIONS		
	MIN.	NOM.	MAX.
A	—	—	1.70
A1	0.00	—	0.20
b	0.16	0.32	0.38
c	0.09	—	0.20
D	16.00 BSC		
D1	14.00 BSC		
e	0.65 BSC		
E	16.00 BSC		
E1	14.00 BSC		
L	0.45	0.60	0.75
L1	0.30	0.50	0.70
θ	0°	—	8°

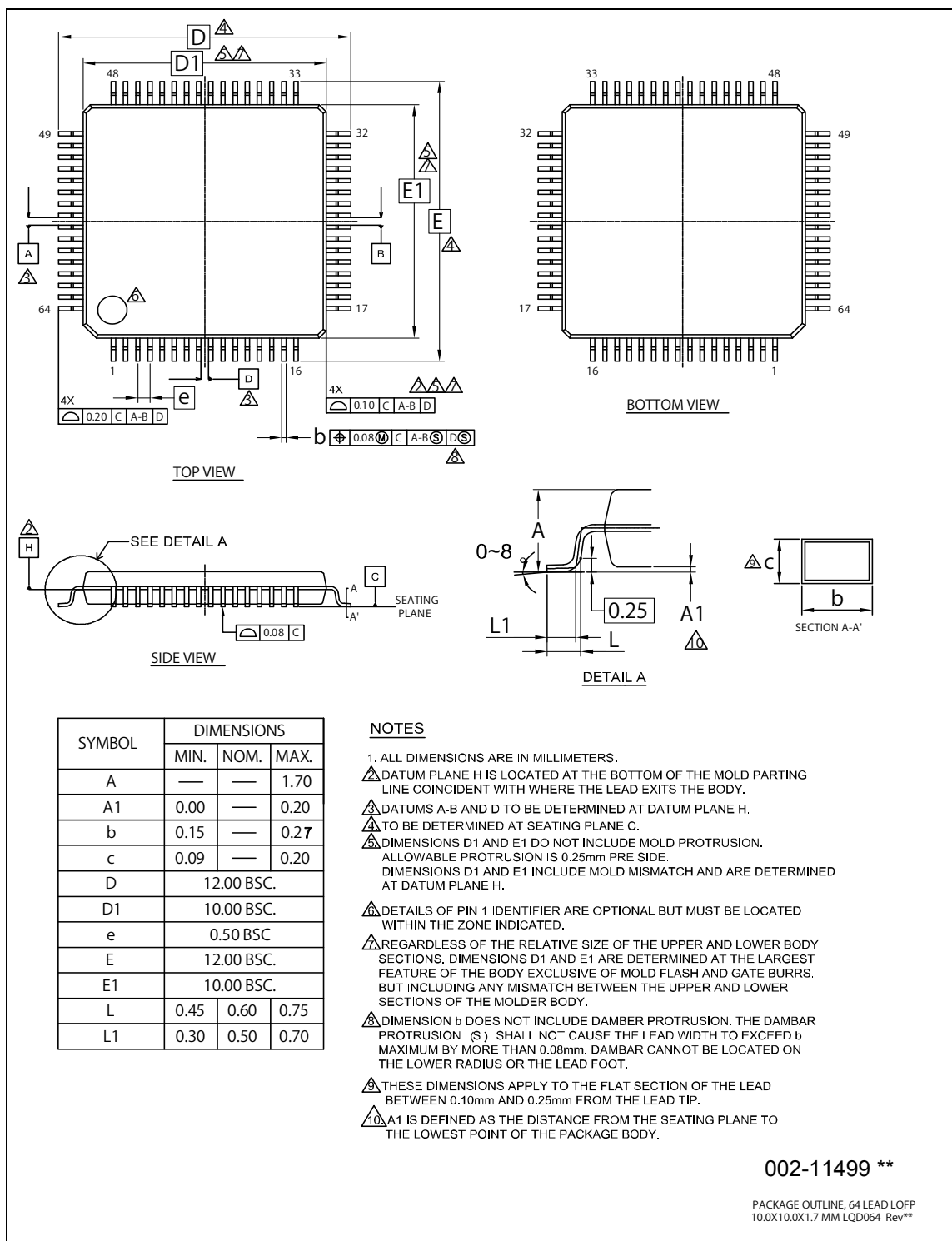
NOTES

- ALL DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS.
- DATUM PLANE H IS LOCATED AT THE BOTTOM OF THE MOLD PARTING LINE COINCIDENT WITH WHERE THE LEAD EXITS THE BODY.
- DATUMS A-B AND D TO BE DETERMINED AT DATUM PLANE H.
- TO BE DETERMINED AT SEATING PLANE C.
- DIMENSIONS D1 AND E1 DO NOT INCLUDE MOLD PROTRUSION. ALLOWABLE PROTRUSION IS 0.25mm PRE SIDE. DIMENSIONS D1 AND E1 INCLUDE MOLD MISMATCH AND ARE DETERMINED AT DATUM PLANE H.
- DETAILS OF PIN 1 IDENTIFIER ARE OPTIONAL BUT MUST BE LOCATED WITHIN THE ZONE INDICATED.
- REGARDLESS OF THE RELATIVE SIZE OF THE UPPER AND LOWER BODY SECTIONS, DIMENSIONS D1 AND E1 ARE DETERMINED AT THE LARGEST FEATURE OF THE BODY EXCLUSIVE OF MOLD FLASH AND GATE BURRS. BUT INCLUDING ANY MISMATCH BETWEEN THE UPPER AND LOWER SECTIONS OF THE MOLDER BODY.
- DIMENSION b DOES NOT INCLUDE DAMBER PROTRUSION. THE DAMBER PROTRUSION (S) SHALL NOT CAUSE THE LEAD WIDTH TO EXCEED b MAXIMUM BY MORE THAN 0.08mm. DAMBAR CANNOT BE LOCATED ON THE LOWER RADIUS OR THE LEAD FOOT.
- THESE DIMENSIONS APPLY TO THE FLAT SECTION OF THE LEAD BETWEEN 0.10mm AND 0.25mm FROM THE LEAD TIP.
- A1 IS DEFINED AS THE DISTANCE FROM THE SEATING PLANE TO THE LOWEST POINT OF THE PACKAGE BODY.

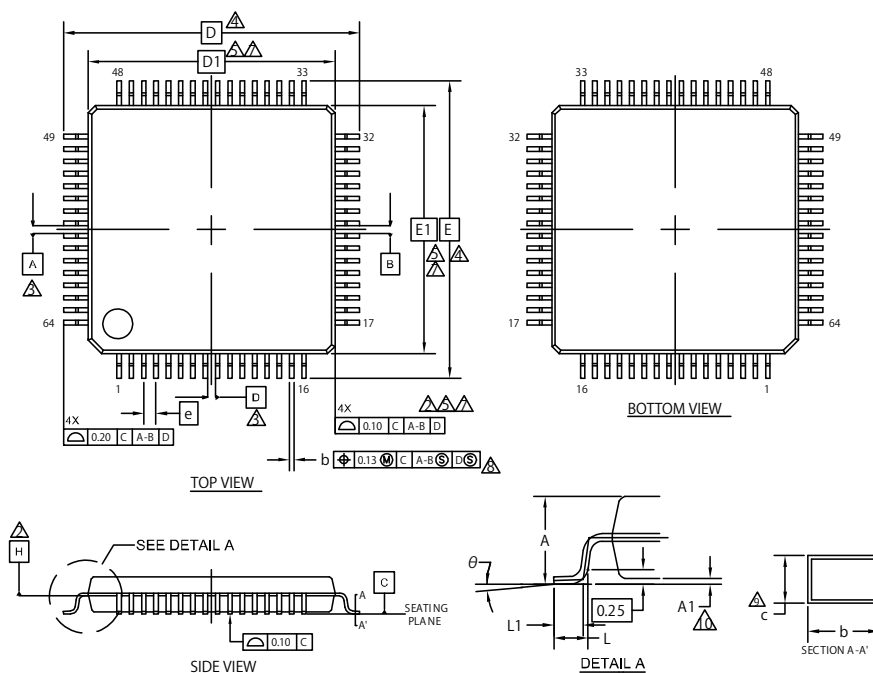
002-14043 **

PACKAGE OUTLINE, 80 LEAD LQFP
14.0X14.0X1.7 MM LQJ080 REV**

Package Type	Package Code
LQFP 64	LQD064



Package Type	Package Code
LQFP 64	LQG064



SYMBOL	DIMENSION		
	MIN.	NOM.	MAX.
A	—	—	1.70
A1	0.00	—	0.20
b	0.27	0.32	0.37
c	0.09	—	0.20
D	14.00 BSC		
D1	12.00 BSC		
e	0.65 BSC		
E	14.00 BSC		
E1	12.00 BSC		
L	0.45	0.60	0.75
L1	0.30	0.50	0.70
θ	0°	—	8°

NOTES

- ALL DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS.
- DATUM PLANE H IS LOCATED AT THE BOTTOM OF THE MOLD PARTING LINE COINCIDENT WITH WHERE THE LEAD EXITS THE BODY.
- DATUMS A-B AND D TO BE DETERMINED AT DATUM PLANE H.
- TO BE DETERMINED AT SEATING PLANE C.
- DIMENSIONS D1 AND E1 DO NOT INCLUDE MOLD PROTRUSION. ALLOWABLE PROTRUSION IS 0.25mm PRE SIDE. DIMENSIONS D1 AND E1 INCLUDE MOLD MISMATCH AND ARE DETERMINED AT DATUM PLANE H.
- DETAILS OF PIN 1 IDENTIFIER ARE OPTIONAL BUT MUST BE LOCATED WITHIN THE ZONE INDICATED.
- REGARDLESS OF THE RELATIVE SIZE OF THE UPPER AND LOWER BODY SECTIONS, DIMENSIONS D1 AND E1 ARE DETERMINED AT THE LARGEST FEATURE OF THE BODY EXCLUSIVE OF MOLD FLASH AND GATE BURRS, BUT INCLUDING ANY MISMATCH BETWEEN THE UPPER AND LOWER SECTIONS OF THE MOLDER BODY.
- DIMENSION b DOES NOT INCLUDE DAMBER PROTRUSION. THE DAMBER PROTRUSION (S) SHALL NOT CAUSE THE LEAD WIDTH TO EXCEED b MAXIMUM BY MORE THAN 0.08mm. DAMBAR CANNOT BE LOCATED ON THE LOWER RADIUS OR THE LEAD FOOT.
- THESE DIMENSIONS APPLY TO THE FLAT SECTION OF THE LEAD BETWEEN 0.10mm AND 0.25mm FROM THE LEAD TIP.
- A1 IS DEFINED AS THE DISTANCE FROM THE SEATING PLANE TO THE LOWEST POINT OF THE PACKAGE BODY.

002-13881 **

PACKAGE OUTLINE, 64 LEAD LQFP
 12.0X12.0X1.7 MM LQG064 REV**

27. 本版での主な変更内容

Spansion Publication Number: DS702-00018-1v0-J

ページ	場所	変更内容
28	■ 端子接続について • 電源端子	セラミックコンデンサの容量値を変更 0.1 μ F \rightarrow 1.0 μ F
29	• C 端子	以下の記述を訂正 V_{CC} 端子のバイパスコンデンサは, C_S より大きい容量値のコンデンサを使用してください。 \rightarrow V_{CC} 端子のバイパスコンデンサは C_S 以上の容量値のコンデンサを使用してください。
151	■ 電気的特性 3. 直流規格	項目「電源電流」の I_{CCMCR} の最大規格値を変更 5.1 \rightarrow 3.4
155	4. 交流規格 (1) クロックタイミング	項目「入力クロックの立上り時間と立下り時間」の端子名を訂正 $X0 \rightarrow X0, X0A$
172	5. A/D コンバータ	項目「コンペアクロック周期」を「コンペア時間」に改名
	(1) A/D コンバータ電気的特性	項目「コンペア時間」の単位を訂正 ns \rightarrow μ s
177 ~ 183	■ 特性例	「■ 特性例」を追加

注意事項: 以降の変更点に関しては、「改訂履歴」を参照してください。

改訂履歴

文書名 : MB95710L シリーズ, MB95770L シリーズ, New 8FX 8-bit Microcontrollers 文書番号 : 002-04701				
版	ECN	変更者	発行日	変更内容
**	-	AKIH	05/30/2013	サイプレスとしてドキュメントコード 002-04701 に登録しました。 本版の内容およびフォーマットに変更はありません。
*A	5462773	AKIH	10/05/2016	これは英語版の 002-04700 Rev. *A を翻訳した日本語版です。
*B	5774568	YSAT	06/15/2017	Cypress の新ロゴを適用。
*C	5900839	YSKA	09/29/2017	これは英語版の 002-04700 Rev. *E を翻訳した日本語版です。 パッケージコードを以下のように変更、"LQJ080" を追加。 "FTP-80P-M37" -> "LQH080" "FTP-64P-M38" -> "LQD064" "FTP-64P-M39" -> "LQG064" [関連する箇所] 1. 品種構成 [P7, P9] 2. パッケージと品種対応 [P10] 4. 端子配列図 [P11, P12] 25. オーダ型格 [P160] 26. パッケージ外形寸法図 [P161 - P164] 以下の型格を追加 MB95F718ENPMC-G-UNE2 [P160]

セールス、ソリューションおよび法律情報

ワールドワイドな販売と設計サポート

サイプレスは、事業所、ソリューション センター、メーカー代理店、および販売代理店の世界的なネットワークを保持しています。お客様の最寄りのオフィスについては、[サイプレスのロケーション ページ](#)をご覧ください。

製品

ARM® Cortex® Microcontrollers	cypress.com/arm
車載用	cypress.com/automotive
クロック & バッファ	cypress.com/clocks
インターフェース	cypress.com/interface
IoT (モノのインターネット)	cypress.com/iot
メモリ	cypress.com/memory
マイクロコントローラ	cypress.com/mcu
PSoC	cypress.com/psoc
電源用 IC	cypress.com/pmic
タッチ センシング	cypress.com/touch
USB コントローラー	cypress.com/usb
ワイヤレス/ RF	cypress.com/wireless

PSoC® ソリューション

[PSoC 1](#) | [PSoC 3](#) | [PSoC 4](#) | [PSoC 5LP](#) | [PSoC 6](#)

サイプレス開発者コミュニティ

[フォーラム](#) | [WICED IOT Forums](#) | [Projects](#) | [ビデオ](#) | [ブログ](#) | [トレーニング](#) | [Components](#)

テクニカル サポート

cypress.com/support

ARM and Cortex are the registered trademarks of ARM Limited in the EU and other countries.

© Cypress Semiconductor Corporation, 2012-2017. 本書面は、Cypress Semiconductor Corporation 及び Spanion LLC を含むその子会社 (以下「Cypress」という。)に帰属する財産である。本書面 (本書面に含まれ又は言及されているあらゆるソフトウェア若しくはファームウェア (以下「本ソフトウェア」という。)を含む) は、アメリカ合衆国及び世界のその他の国における知的財産法令及び条約に基づき Cypress が所有する。Cypress はこれらの法令及び条約に基づく全ての権利を留保し、本段落で特に記載されているものを除き、その特許権、著作権、商標権又はその他の知的財産権のライセンスを一切許諾しない。本ソフトウェアにライセンス契約書が付属しておらず、かつ Cypress との間で別途本ソフトウェアの使用方法を定める書面による合意がない場合、Cypress は、(1) 本ソフトウェアの著作権に基づき、(a) ソースコード形式で提供されている本ソフトウェアについて、Cypress ハードウェア製品と共に用いるためにのみ、かつ組織内部でのみ、本ソフトウェアの修正及び複製を行うこと、並びに (b) Cypress のハードウェア製品ユニットに用いるためにのみ、(直接又は再販売者及び販売代理店を介して間接のいずれかで) 本ソフトウェアをバイナリーコード形式で外部エンドユーザーに配布すること、並びに (2) 本ソフトウェア (Cypress により提供され、修正がなされていないもの) が抵触する Cypress の特許権のクレームに基づき、Cypress ハードウェア製品と共に用いるためにのみ、本ソフトウェアの作成、利用、配布及び輸入を行うことについての非独占的で譲渡不能な一身専属的ライセンス (サブライセンスの権利を除く) を付与する。本ソフトウェアのその他の使用、複製、修正、変換又はコンパイルを禁止する。

適用される法律により許される範囲内で、Cypress は、本書面又はいかなる本ソフトウェア若しくはこれに伴うハードウェアに関しても、明示又は黙示を問わず、いかなる保証 (商品性及び特定の目的への適合性の保証を含むがこれらに限られない) も行わない。適用される法律により許される範囲内で、Cypress は、別途通知することなく、本書面を変更する権利を留保する。Cypress は、本書面に記載のある、いかなる製品若しくは回路の適用又は使用から生じる一切の責任を負わない。本書面で提供されたあらゆる情報 (あらゆるサンプルデザイン情報又はプログラムコードを含む) は、参照目的のためのみに提供されたものである。この情報で構成するあらゆるアプリケーション及びその結果としてのあらゆる製品の機能性及び安全性を適切に設計、プログラム、かつテストすることは、本書面のユーザーの責任において行われるものとする。Cypress 製品は、兵器、兵器システム、原子力施設、生命維持装置若しくは生命維持システム、蘇生用の設備及び外科的移植を含むその他の医療機器若しくは医療システム、汚染管理若しくは有害物質管理の運用のために設計され若しくは意図されたシステムの重要な構成部分としての使用、又は装置若しくはシステムの不具合が人身傷害、死亡若しくは物的損害を生じさせるようなその他の使用 (以下「本目的外使用」という。) のためには設計、意図又は承認されていない。重要な構成部分とは、その不具合が装置若しくはシステムの不具合を生じさせるか又はその安全性若しくは実効性に影響すると合理的に予想できるような装置若しくはシステムのあらゆる構成部分をいう。Cypress 製品のあらゆる本目的外使用から生じ、若しくは本目的外使用に関連するいかなる請求、損害又はその他の責任についても、Cypress はその全部又は一部を問わず一切の責任を負わず、かつ Cypress はそれら一切から本書により免除される。Cypress は Cypress 製品の目的外使用から生じ又は本目的外使用に関連するあらゆる請求、費用、損害及びその他の責任 (人身傷害又は死亡に基づく請求を含む) から免責補償される。

Cypress, Cypress のロゴ, Spanion, Spanion のロゴ及びこれらの組み合わせ, WICED, PSoC, CapSense, EZ-USB, F-RAM, 及び Traveo は、米国及びその他の国における Cypress の商標又は登録商標である。Cypress のより完全な商標のリストは、cypress.com を参照すること。その他の名称及びブランドは、それぞれの権利者の財産として権利主張がなされている可能性がある。